



福島まで(新幹線)……大学まで

- 東京から約1時間40分
- 小山から約1時間10分
- 宇都宮から約45分
- 仙台から約30分
- 山形から約1時間10分
- JR／東北本線金谷川(かなやがわ)駅下車 徒歩10分
- バス／福島駅から二本松方面行き乗車 福島大学下車 徒歩10分

高速バス

- 仙台駅から福島駅まで約1時間20分
- 会津若松駅/バスターミナルから福島駅まで約1時間30分
- 新潟駅から郡山駅まで約2時間50分

茨城方面からお越しの場合

- 高萩駅よりJR常磐線特急でいわき駅まで約35分
- 日立駅よりJR常磐線特急でいわき駅まで約45分
- 水戸駅よりJR常磐線特急でいわき駅まで約1時間10分
- いわき駅より高速バスで福島駅まで約2時間



福島大学
公式マスコットキャラクター

めばえちゃん

プロフィール

4歳の女の子。4月7日生まれ。
出身地 福島県阿武隈高地
性 格 のんびり屋 いつもニコニコ
お 仕 事 福島っ子の応援・福島県産品のPR
福島県の復旧・復興のお手伝い
福島大学のPR

福島大学入試課

公式LINE



入試に関する
お問い合わせ先

福島大学入試課 〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

TEL. **024-548-8064** (平日/9:00~17:00)

※お問い合わせは、できるだけ受験者本人が行ってください。



このフレットは環境に配慮した
「水なし印刷」により印刷しております。



環境にやさしい「植物油インキ」
「VEGETABLE OIL INK」で
印刷しております。

福島大学

大学案内 2024

FUKUSHIMA

福島イズム

UNIVERSITY

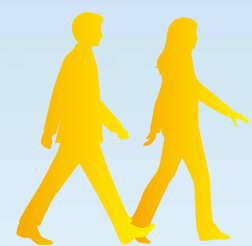
この地とともに

学び、歩む。



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

**GUIDE
2024**



この地とともに
学び、歩む。

Fukushima Ism

福島イズム

街へ出よう。仲間と共に地域（フィールド）に入ろう。

ここでずっと暮らしてきた人々の声に耳をすまそう。

それがどんなに小さな声で、実現が容易ではないことであっても。

君たちが歩むのは、まだ誰も歩いたことのない道。

復興への想いと、難題に立ち向かう精神があれば、きっと越えていける。

青空に高く高く、希望の旗を掲げよう。



INDEX

01	福島イズム
03	学長メッセージ
05	福島大学の研究紹介
07	forR プロジェクト
09	「解のない問い」にチャレンジ
21	学類・コースINDEX
23	人間発達文化学類
24	社会で活躍する卒業生
25	カリキュラムの特長
27	学類長メッセージ
28	実習ピックアップ・教員紹介
29	コース紹介
33	行政政策学類
34	社会で活躍する卒業生
35	カリキュラムの特長
37	学類長メッセージ・教員紹介
38	学びピックアップ
39	1年次の学び
40	2年次の学び
	地域政策と法コース
	地域社会と文化コース
42	3年次・4年次の学び
43	夜間主紹介
45	経済経営学類
46	社会で活躍する卒業生
47	カリキュラムの特長
49	学類長メッセージ・教員紹介
50	活動ピックアップ
51	経済学コース
52	経営学コース
54	コース横断プログラム
55	共生システム理工学類
56	社会で活躍する卒業生
57	カリキュラムの特長
59	学類長メッセージ・教員紹介
60	1年次の学び
61	コース紹介
65	食農学類
66	社会で活躍する卒業生
67	カリキュラムの特長
69	学類長メッセージ
70	1年次の学び・教員紹介
71	2年次の学び
72	コース紹介
73	2年次前期～3年次の学び
75	大学院
77	キャンパスマップ
79	フクニチャージ図書館・食堂・生協・年間スケジュール
81	福大生が語る「福大キャンパスライフ」
83	STUDENT'S LIFE
85	クラブ・サークル活動の紹介
87	就職・進路支援
88	進路状況
89	入試データ
90	学費・奨学金

表紙・撮影協力

塙 章馬さん (経済経営学類 4年)	高林 桃子さん (経済経営学類 4年)
塚原 聖さん (人間発達文化学類 4年)	浅野 瑞愛さん (経済経営学類 4年)
照井 大稀さん (共生システム理工学類 3年)	渋谷 珠さん (共生システム理工学類 3年)

President
Message

地域と共に 21世紀的課題に 立ち向かう福島大学

福島大学学長 三浦 浩喜



福島大学は、福島県唯一の国立大学法人として、長きにわたり地域とともに歩みを進めてきた大学です。本学は、人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類、共生システム理工学類、食農学類の5学類からなる総合大学で、各学類は、学問分野に沿って細分化されたコースで編成され、それぞれカリキュラムの下で学生が学び、専門性を深めています。

本学は学際性を重視しています。独自の「学類」制は、一般的な「学部」と比べてカリキュラムにより柔軟性を持たせることができます。他学類の授業を受講するなどして、今日強く求められている幅広いものの見方や多視点的な学びを得ることを目指しています。「問題解決を基盤とした教育」を理念とし、「解のない問いにチャレンジできる人材」の育成を目標に掲げています。今から12年前の東日本大震災、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故で、本学は防災直後から、避難所の開設と運営、県内外での学生ボランティア活動、地域の放射線の測定、被災地の実態調査など多面的に支援活動を行い、これらは本学の大きな財産となりました。

「問題解決を基盤とした教育」には、震災復興の様々な

活動で得た知見を教育課程に組み込んでいくと同時に、教科書の中に閉じ込められている知識を一方的に教わるだけではなく、学生自らが複雑な現実社会に飛び込み、一人ひとりが自分なりのアプローチで問題を発見し、仲間とともに探究し合い、自分自身の生き方や社会のあり方を熟考してもらいたいという願いがこめられています。この理念を実現するカリキュラムとして、「地域実践特修プログラム」をあげることができます。これは、主として講義科目「ふくしま未来学入門Ⅰ/Ⅱ」とフィールドワーク科目「むらの大学」などの問題探究科目で学んだ事柄を、自主学修プログラムや各学類の専門科目に広げていく科目群です。大学の教室で、また、浜通りの被災地で、過疎化に直面している町で、様々な講師や現地の人々に学び、震災からの復興の歩み、地域の生の課題などを立体的に学ぶことができ、これを通して、新しい社会のあり方を考え実行するイノベーターの育成を目指しています。

もう一つの「グローバル特修プログラム」は、語学学習の強化、国際交流機会の提供、海外留学の支援などを通して、グローバル人材の育成を目指す科目群です。本学学生が、海外留学生の福島県内視察をサポートし、意見

交換・交流を行う体験型被災地学習「Fukushima Ambassadors Program(F.A.P.)」を行っており、福島の復興にも大きく貢献しています。

福島大学は、福島市南部の金谷川キャンパス内に全ての学類がまとまって設置されており、主として1、2年生が受講する基盤教育科目は学類を超えて多様な学生が授業に参加します。課外活動(部活動、サークル等)も盛んで、ユニークな活動に取り組む学生同士が出会い、そこからまた新しい活動が日々生まれています。本学は、開学以来学生の自主性を尊重する伝統が貫かれ、加えて、学生と教職員が互いに権利を守り、協力して大学を発展させる自治の精神が生きており、キャンパスの中には社会の多様性や自律性を考える機会がたくさんあります。大震災を乗り越えてきた本学は、12年を経ても様々な困難や課題に寄り添う姿勢が息づいており、今なお活発なボランティア活動にその片鱗を見ることができます。

さて、3年にわたって社会に脅威を与えてきた新型コロナウイルス禍が次第に遠のきつつあります。しかし、昨年2月のロシア軍によるウクライナ侵攻によって、世界の平和を維持するしくみが揺るがされ、政治や経済が大きく混

乱しています。国際社会における日本の在り方や位置づけも、変化の時代を迎えています。

東日本大震災は1000年に一度の大災害と言われ、新型コロナウイルスとの闘いは100年に一度の災禍、ウクライナ紛争は第二次大戦後最大の危機と言われています。足元では、人口減少・少子高齢化、環境問題が深刻化しています。福島大学は困難を乗り越えて発展してきた大学、言わば「レジリエンス(復元力・反発力)の大学」ともいえます。「ピンチの時こそがチャンスの時」、このようなときこそ、幅広いものの見方、深い問題意識、最先端の技術、それらを社会に実装する実践力等を身につけるべき格好の機会です。様々な困難に直面する時代に生まれ、成長する皆さんこそが、本学での学びを糧にして、これからの新しい社会を作る原動力になるものと確信しています。

「福島大学でしか学べないこと」がたくさんあります。本学での学びや経験は、よりよい自分自身のあり方、よりよい社会のあり方を実現する基礎となります。共に福島大学で学びましょう。

革新と協働で 様々な課題に取り組む

PICK UP

電子顕微鏡で米の構造を明らかにし、 農家と共により美味しい米を目指す。

副学長(学術情報・大学間連携担当)・食農学類 **新田 洋司** 教授
専門: 作物学、栽培学、熱帯農学

日本の米づくりは時代の要請や減反政策もあって、単位面積当たりの収量が多い品種から、高品質で食味の良い米づくりに方向転換してきました。私の研究室では、炊いた米を独自の方法と装置を使って加工し、電子顕微鏡でその表面や内部を観察します。それで美味しい米の構造や特徴がわかるので、農家の皆さんや自治体と連携し、良食味米を作るための品種改良や栽培方法に取り組んでいます。山形県の「つや姫」、福井県の「いちほまれ」などのブランド米の開発にも関わってきました。生産技術面はもちろんですが、未だに残る風評を払拭する科学的根拠を明らかにして、地域の方々と一緒に、より美味しい米づくりに取り組んでいます。

福島大学の食農学類は、農業の現場の課題に対応した研究を積極的に進めています。全国から集まった若手からベテランまでの教員・研究者が、国内・外で研究をリードしています。



米の表面や内部構造から 品質や食味を解析

凍結乾燥した米をプラチナでコーティングし、電子顕微鏡で観察。粘りや弾力など美味しい米の特徴がわかる。



世界で唯一の 特殊乾燥装置

炊いた米を液体窒素で急速凍結し、この装置で凍結乾燥。新田教授が編み出した独自の加工方法。



2020年福島県産 「コシヒカリ」炊飯米の表面

典型的な良食味米の表面の構造です。表面では糊が糸状になって絡み合い、網目状構造になっています。少し奥の部分では、スポンジの穴のような多孔質構造が発達しています。これらの構造は、食べた際に、やわらかさ、なめらかさ、弾力をもたらします。



2020年福島県産 「コシヒカリ」炊飯米の表層部分

これも、典型的な良食味米の表層部分の構造です。上部の横に伸びている部分が表面で、薄い糊の層になっています。表面から下の部分(内部)では、スポンジの穴のような多孔質構造が発達しています。これらの構造は、食べた際に、表面的なねばり、やわらかさ、弾力をもたらします。

地域と共に在るために

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故によってもたらされた様々な問題はもとより、人口減少や少子高齢化の問題は震災により10年早まったと言われています。東北を始め、これから日本全体で起こる社会の変容や問題に対応し、福島大学では地域の方々と共に地域の課題解決に取り組むのはもちろん、自治体や企業と協働してこれからの「新しい社会」を実現する研究に取り組んでいます。ここで学び、研究したことを社会に還元し、役立てること———それこそが福島大学がこの地に存在するゆえんです。

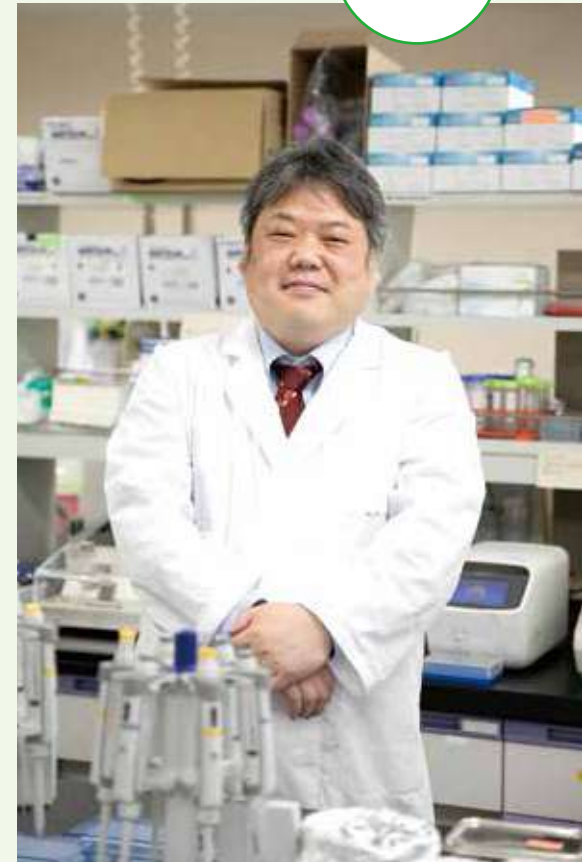
PICK UP

生き物の生き様や動きを DNA分析によって明らかに

共生システム理工学類 **兼子 伸吾** 准教授
専門: 分子生態学、保全生態学

私は基本的にDNAの分析屋なので、様々な生き物のDNAを調べる研究に取り組んでいます。例えば、ナナフシという翅をもたない昆虫の卵が、鳥によって分散されているという仮説をDNAのデータで検証しています。福島県内での研究としては、近年個体数を急増させているニホンジカがどこから入って来ているのかを特定したり、帰還困難区域で増加したイノシシと家畜ブタの交雑の状況なども調べたりしています。また、私は2012年に福島大学に来たのですが、地域の方々と話すうちに放射線が塩基配列に与える影響も誰かがやらないといけないと思い研究を始めました。シロイヌナズナというモデル植物への照射実験や帰還困難区域内の植物を対象に研究していますが、帰還困難区域内であっても放射線被ばくによる塩基配列の突然変異の増加はないという結果が得られています。

私は広島と京都を経て福島大学に来ました。西日本では珍しいカタクリがキャンパスに咲いていたり、クマガイソウの大群落が近くにあったり、自然の豊かさに驚きました。また、先生方が非常に協力的で、共同研究がやりやすいところが魅力です。



キャンパス内で採取された ナナフシの幼生

細い体で木の葉や枝に擬態するナナフシ。自然豊かなキャンパスには、ナナフシも生息しており、それを採取して研究します。



親が鳥に食べられても 卵は死なず分散する?

植物の種子のような硬い殻に覆われた卵。ナナフシは親が鳥に食べられても、親が持っていた卵は生きて排泄され、分散しているという仮説があり、それをDNAで検証しています。



地域の人たちと協働して環境や生態を守る

よく「これを調べてみませんか?」と声をかけられるという兼子先生。その分析力を用いて何かを明らかにしたいという方々の熱意やご縁を大事にして研究に取り組んでいます。

foR 福島県が抱える課題を解決へプロジェクト



福島大学では「福島での課題解決」に結びつく研究を、重点研究分野「foR プロジェクト」に指定しました。
震災や原発事故による深刻な地域課題の解決に向け、研究が加速することが期待されます。

令和5年度 foRプロジェクト採択事業(4件) 3カ年計画の3年目

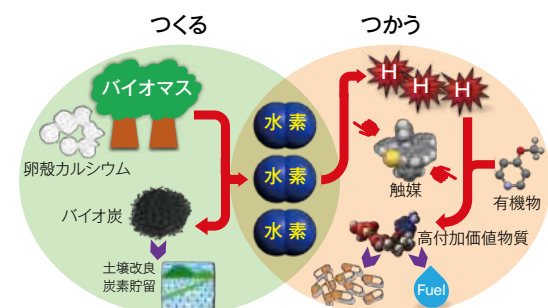
■脱炭素型エネルギーシステムの構築:水素をつくる・つかう技術の多様化	共生システム理工学類:大山 大(代表)、浅田 隆志 森林総合研究所:小井土 賢二 福島県立医科大学:田辺 真
■ゲノム科学・技術を援用した栽培・発酵好適性イネ系統の開発基盤研究	食農学類:松田 幹(代表)、松岡 信、小山 良太、藤井 力、高橋 秀和、吉田 英樹、菅波 真央、客員教授:北野 英己、吉田 晋弥
■福島型 STEAM 教育の開拓	人間発達文化学類:中田 文憲(代表)、新井 浩、初澤 敏生、渡邊 晃一、鳴川 哲也 共生システム理工学類:岡田 努、馬場 一晴
■官学連携による「住民参加型行財政システム」の構築に向けた実証的研究 -人材育成に向けた「公共政策プログラム」の開設を通して-	経済経営学類:藤原 遥(代表)、村上 早紀子 行政政策学類:岸見 太一 法政大学:林 嶺那

PICK UP!

◆ 脱炭素型エネルギーシステムの構築:水素をつくる・つかう技術の多様化

世界中の国々はカーボン・ニュートラルヘシフトしています。日本でも、特に福島県は利用時にCO₂を発生しない“水素”という新エネルギーに注目し、全国に先んじて水素社会の実現に挑戦しています。私たちは、木材等の生物資源(バイオマス)から水素を製造する手法、製造した水素を化学原料として様々な物質へ導入する手法を研究しています。

プロジェクトの全体構想



●カーボン・ニュートラルに向けた水素の役割

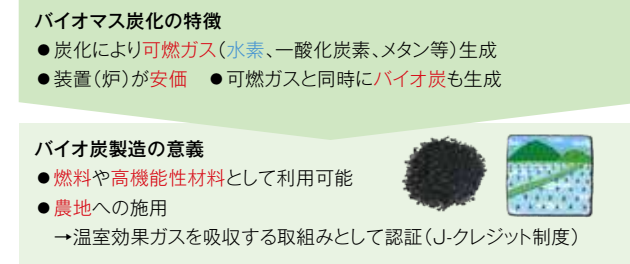
- (1) 燃料・原料としての化石資源を代替する役割
- (2) 再エネ由来の電力余剰分あるいは未利用分を貯蔵する役割

●プロジェクトの目的

- 水素をつくる
- 現在、主流となっている水の電気分解による製造から、県内に広く分布する**バイオマス**を起源とした新たな水素製造法の開発
- 水素をつかう
- 現在、燃料電池として主に使われている**水素を化学原料**として導入し、高付加価値な工業原料に転換

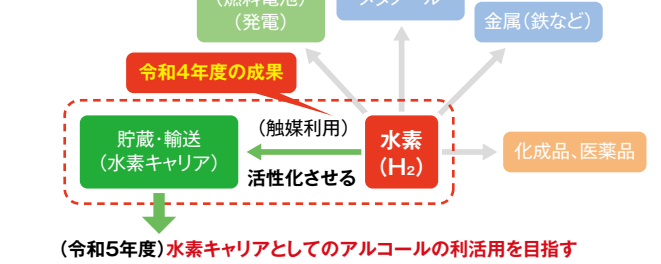
水素をつくる

●炭化によるバイオマスからの水素製造



水素をつかう

●水素の使い道



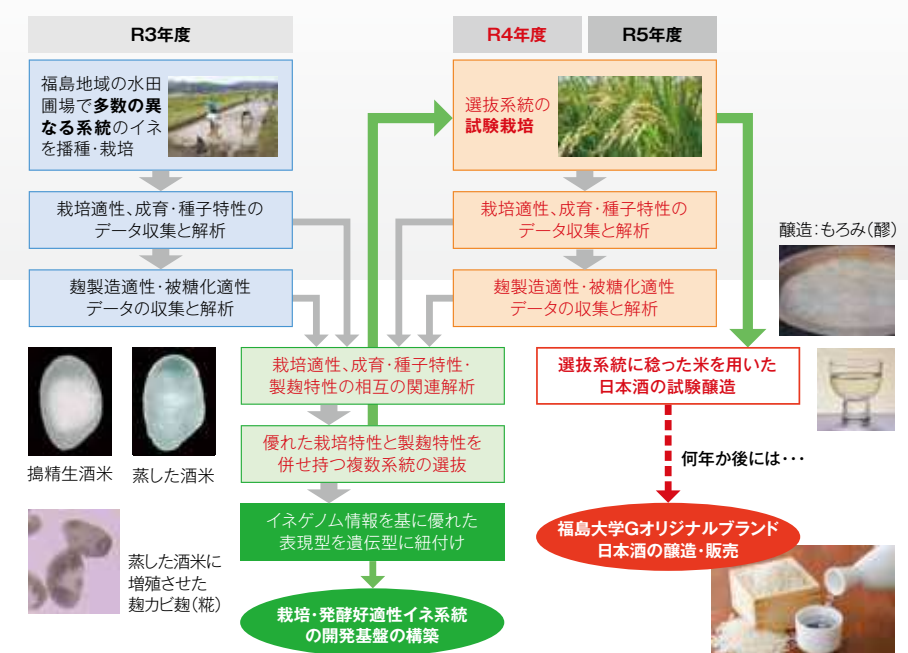
研究計画および今後の展開

研究体制	1年目(2021)・2年目(2022)	3年目(2023)	2024~
水素製造技術の開発(浅田G)	●バイオマス炭化時の卵殻カルシウム添加効果の検証 ●生成ガスの定量評価(H ₂ 、CO)	●卵殻添加バイオマスの炭化 ●熱分解時の炉内ガス雰囲気の影響検討 ●バイオ炭の農地施用に向けた炭素貯留効果推定と土壌改良材評価	1. 共同研究への展開 ●大型予算の獲得(NEDO、JST、エネ庁、F-REI、県、企業) <一部進行中> 2. 水素研設置に向けた基盤構築 ●国や県の水素関連政策への対応(水素基本戦略など) 2050年カーボン・ニュートラル実現へ
水素利用技術の開発(大山G)	●水素分子活性化に向けた触媒開発とプロセス解明 ●移動水素化反応による水素化	●可視光照射による水の直接分解反応: 高効率な水素生成反応の経路開拓 ●水の分解反応における水素生成効率向上と新規水素利用法の創出	

◆ ゲノム科学・技術を援用した栽培・発酵好適性イネ系統の開発基盤研究

研究対象とするイネ(米)は、麹カビ(*Aspergillus oryzae*)を生育させ酵素を作らせる(麹を製造する)ための優れた発酵素材作物です。本研究では、好適な発酵素材用米を開発するための学術基盤を構築することを目的としています。令和3年度は、生育の良好な早生の性質を持つ系統を中心に選抜して次年度の栽培に用いる種籾を確保しました。令和4年度は、その選抜有望株の酒米を用いて、純米吟醸酒の試験醸造を行いました。令和5年度は、今回の有望株を親株として次世代を栽培し、醸造特性に加えて栽培特性にも優れる系統を選抜してさらに改良を進めます。

また、ゲノム科学・技術を援用した開発基盤研究の成果として、イネの発芽を制御する遺伝子を突き止めたり、食味などを決定づける遺伝子の位置を効率よく特定する新手法を確立しました。



選抜有望株の酒米を用いた純米吟醸酒の試験醸造



日本酒の仕込み(醸造り)

精米工程: 碎米等で特に問題は無し。
製麴工程: 親系統の製麴特性を保持(特徴が感じられる)。
仕込み(醸造り): 溶けは良く順調に発酵が進む。親系統同様の「溶けやすさ」の性質も保持。



さわやかな
マスカットの香りと
キレのある味わい

福島大学の教育



解のない問いに チャレンジ

解のない問いに
チャレンジ

自分を知る

自分自身のことを知る

福島大学が大切にしているものの一つに「自己の振り返り」があります。自分自身の長所や特徴を知ることが、学びと自立の第一歩だと考えるからです。自分はどんなことが得意なのか、特に何に関心があるのかを客観的に見つめることは、自分がどんな社会を創造したいのか、その未来にどんな方法で関わっていききたいのかに気づくきっかけにもなります。

在学中は Semesterごとに学修目標を自分で設定し、どのような能力を伸ばすのか、どのように伸びたかを「見える化」し、自己評価(振り返り)を行います。この一連のサイクルを4年間繰り返すことで、学びと自己研鑽を深化させ、自身の取り組むべき課題を発見することができます。



解のない問いに
チャレンジ

未来を考える

自分の、地域の、 世界の未来を想像してみよう

皆さんが「未来」を考える土台を形成するために、本学では高校までの学びと大学での学修をつなげる教育体系として、「基盤教育」を充実させています。大学で学ぶ上で必要な基礎能力を身につけるための「接続領域」、幅広い教養の基礎を形成する「教養領域」、現実の問題をフィールドワークやグループ学修を通して解きほぐしていく「問題探究領域」を設定し、現状を分析する力や問題解決のための能力を丁寧に育みます。そして文系・理系を問わず、分析や問題解決のツールとしての基礎的な数学や理工学を理解し、社会に有益な知見を引き出すデータサイエンス教育にも力を入れています。

未来をつくるのは、皆さん一人ひとりの力です。自分が何をしたいのか、何ができるのか。地域や世界で、どんな未来を創造していくのか。福島大学でともに考え、学んでいきましょう。



解のない問いに
チャレンジ

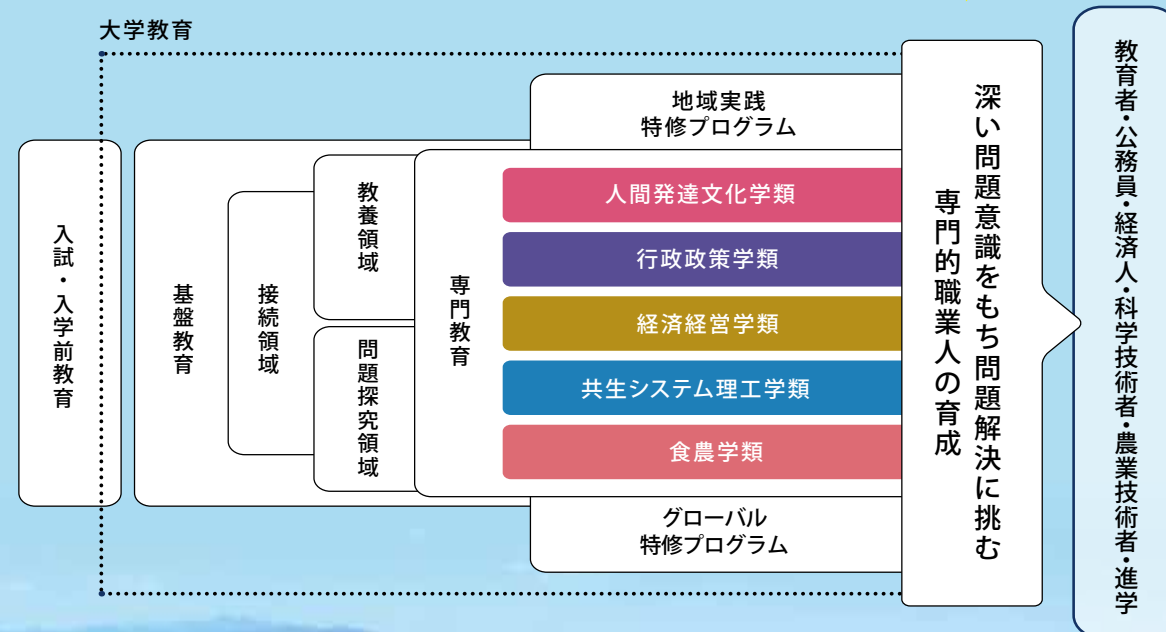
福島大学でしか 学べないことを学ぶ！

福島県は、2011年3月東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故に見舞われ、甚大な被害を被り、「Fukushima」は世界に知れ渡ることとなりました。

福島大学は東日本大震災以降、被災地のフィールドワークや地域おこし、自然再生エネルギー人材育成などに取り組み、ユニークな教育を進めてきました。

世界も、日本も、地域も、大きな変化の中にあり、たくさんの課題を抱え、容易に「答え」を導き出せない問題に満ちあふれています。福島大学は「解のない問い」にチャレンジする学生を育てる教育を創造します。

福島大学における教育体系のイメージ



1
入学から卒業まで、
手厚く教職員が
サポートします。



入学前教育—入学後のサポート—授業・学習—サークルやボランティア—留学などの各種活動—就職支援—卒業研究、などの4年間の学生生活を、一貫した体制でサポートしていきます。これによって、誰でも目標に向かって意欲的に大学生活を送ることができ、さまざまな活動にチャレンジできます。

2
情報教育を
実践的に
変えていきます。



現代の情報化社会にふさわしい教育体系に変えていきます。各自がパーソナルコンピュータを通して、学内外のさまざまな情報にアクセスし、情報の収集や分析、まとめ、プレゼンテーションを実践します。21世紀の読み・書き・算を身につけます。

3
初年次の
基盤教育を充実させます。



1年次生が学ぶ初年次教育(教養教育)は、本学独自の教育体系です。高校までの学び(教科書に書かれた知識を学ぶ)を大学での学修(自ら主体的に学ぶ)につなげる教育体系として「基盤教育」を充実させました。入学後、大学での学びを身につけるためのスタートアップとしての「接続領域」、幅広い教養の基礎を形づくる「教養領域」、現実の問題をフィールドワークやグループを通し、時には一人で、時には学生間で意見を交わし課題を深く掘り下げ、そして解きほぐしていく「問題探究領域」が設定されています。

4
地域に学ぶ活動を
強化します。



地域は多様な課題を抱えています。「地域実践特修プログラム」の「ふくしま未来学」を中心として、本学で学べる地域学習を広げ、地域の現状に触れ地域で活動する学習を増やし、問題探究・問題解決の力を伸ばします。

5
身につけた力を
「見える化」します。



科目や科目群の学習目標を明示して、どのような能力を伸ばすのか、どのように伸ばしたのかを情報技術を使って「見える化」します。アクティブ・ラーニングや実践的な学習を取り入れ、学生の学びを活性化させます。

6
グローバル教育を
充実させます



学類を超えて、語学教育をグレードアップし、欧米圏やアジア圏との国際交流の機会や、海外留学を希望する学生にさまざまな情報や機会を提供します。

7
キャリア教育と
就職支援を
強化します。



本学で先進的に取り組んできたキャリア教育をさらに発展させます。自治体や企業との連携を強化し、インターンシップの機会や就職支援を充実させて、就職に強い人材、社会に出て魅力的な仕事ができる人材を育てていきます。

解のない問いに
チャレンジ

地域に学ぶ

授業の動画を
配信中!



地域実践特修プログラム

ふくしま未来学

— 福島だから学べること —

福島大学は「地域実践特修プログラム」を通じて、
未来を創造できる人材の育成と、原子力災害からの地域再生を目指します。
文系・理系の全ての学類が一つのキャンパスに集まる
福島大学ならではの特修プログラムです。

学生が身につける 6つの力

「地域実践特修プログラム」では次の6つの力の養成を目指し、
学習効果のデータ収集と、エビデンスに基づいた教育プログラムの改善を行っています。

※対象となる科目群の単位を取得することで修了と認定される本学独自のプログラムです。科目群の詳細などは、入学後にシラバスや学修案内を参照してください

1 地域を知り、関係性を築く力

地域の多様な価値観を尊重し、
多くの住民と関係性を構築する

2 地域課題を発見する力

複数のエビデンスに基づいて
地域の特徴や課題を分析する

3 地域を構造の中で考える力

地域を日本や世界の構造の中に
位置づけて未来を考える

4 地域を興す力

長期的視野で地域のための
活動を自ら企画・実行する

5 地域ネットワークを構築する力

地域でネットワークのハブとなり
積極的に協働する

6 地域を伝える力

媒体を駆使して地域の情報を
自ら継続的に発信する



多様な視点で学ぶ福島の「いま」と「これから」

講義「ふくしま未来学入門」

ふくしま未来学入門 Ⅰ

5学類オムニバス講義で 復興の最前線を知る

2011年の東日本大震災と東京電力福島第一原発事故は、人びとの暮らしに甚大な影響をおよぼし、今なお現在進行形の課題として私たちの前に存在しています。「ふくしま未来学入門Ⅰ」は、地域とともに歩む総合大学・福島大学の特性を活かした、全5学類の教員によるオムニバス講義。人類が初めて経験する福島の諸課題に、それぞれの学問分野でどのような取り組みがなされ、学問知が実践知としてどのように活用されているのかを学ぶことで、多角的な視点と課題解決型の思考を養うことを目指します。そこで得られる力は福島に限定されず、今後世界が直面する様々な課題に応用可能なものとなるはずです。

ふくしま未来学入門 Ⅱ

地域で活躍する ゲスト講師陣と考える課題解決

「ふくしま未来学入門Ⅱ」では、復興の現場で活躍しておられる多彩なゲスト講師をお招きし、地域で実際に行われている取り組みについて具体的に学びます。震災と原発事故は人類の歴史に残る大きな出来事ですが、福島県内各地で多くの人びとの手によって取り組まれている復興と地域再生の歩みもまた、歴史に刻まれる力強いものです。その一端に触れることで、課題解決型の思考を養うとともに、自らの進路についても考える契機となります。

1年 復興の現場を繰り返し訪れ
学ぶフィールドワーク

地域実践学習 『むらの大学』



原発事故により避難を余儀なくされ、現在、復興と地域再生に取り組む地域(双葉郡川内村・大熊町、南相馬市小高区)を繰り返し訪れ、地域住民の方々との交流・調査(フィールドワーク)、そして地域の課題解決に向けた活動(サービス・ラーニング)を行う授業です。5月のガイダンスから1月の現地報告会まで、年間を通して学びを深めます。



2~4年 「むらの大学」で学んだ後は、
自分たちで実践!

自主学修 プログラム



1年次に「むらの大学」を履修した学生の多くは、2年次に「自主学修プログラム」として地域(双葉郡川内村・大熊町、南相馬市小高区)での活動を継続しています。自主学修プログラムは、学生が自主的にグループを組織してテーマ・内容を設定し、教員の指導のもとで学修することにより、単位が認定される制度です。多くの学生たちが、1年次に発見した地域の魅力や課題について「自分たちに何ができるか」を考え、自主的なプロジェクトを継続しています。

学生のプロジェクト例

- 地域の特産品を使った六次化商品の開発
- 菜の花キャンドルの製造とイベントでの活用
- 災害公営住宅への定期的な訪問と交流
- 子どもたちとのふれあいを通じた地域活性化
- 祭礼やイベントの支援活動とアンケート分析
- 働く女性へのインタビュー冊子編集…など



2~4年 学類の枠を超え、
活動を通して学ぶ

協働プロジェクト 学修



文系・理系の5つの学類が、一つのキャンパスで学ぶ福島大学。その特性を活かし、2年生以上を対象に「協働プロジェクト学修(学類を超えたプロジェクト学修)」を実施しています。被災地域の復興や地域再生に関わるプロジェクトを、学類の垣根を超えて実施することで、学生の専門性や地域問題の解決能力、他の専門性を有するメンバーとの協働力・学際性などを伸ばすことを目標としています。

プロジェクトの例

- 農村地域居住における若者の選好の調査解析(飯館村)
- 除染後農地の肥沃度低下調査と回復を考える(飯館村)
- 農スポ@南相馬(南相馬市)
- 南相馬市の特産物の高付加価値化を考える(南相馬市)
- 除染廃棄物の中間処理を考える(大熊町)
- 大熊町と営農再開:
復興に向けたストーリーを考える(大熊町)……など



全学年 地域を学ぶ、
授業外のスタディツアー

みらいバス



地域と大学をつなぐ「みらいバス」は、学生・教職員を対象とした日帰りのスタディツアー。授業以外で地域を訪問するきっかけをつくるため、年間10回程度実施しています。被災地域の訪問・見学やボランティア活動を通じ、それぞれの地域の現状を学びます。

過去の「みらいバス」

- 東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉郡双葉町)
- 震災遺構請戸小学校(双葉郡浪江町)
- JPR大野駅および周辺市街地(双葉郡大熊町)
- 中間貯蔵施設(双葉郡大熊町)
- 川内村「かえるマラソン」ボランティア
- 浪江町 田植え体験と住民協働ワークショップ…など



解のない問いに
チャレンジ

世界で学ぶ

国際交流

福島大学には、多彩な国際交流の機会が用意されています。
多くの留学生が在籍しているのも本学の特徴。国際交流は、キャンパスの中からはじまっています。

今の自分から、一歩前へ バディ制度

活動期間：数日～6ヶ月程度

海外に留学してみたいけど不安がある。身近な場所で語学力を試したい。そんな皆さんに対応できるよう、福島大学には学生交流協定校から来る交換留学生・短期留學生達のサポートをする「バディ」制度があります。バディとして留學生達と関わることで、彼らの文化を直接感じ、福島にしながら国際交流ができます。グローバル人材へのファーストステップとして貴重な機会となります。



多彩なプログラムで世界を学ぶ 短期研修・演習

開催期間：10日～3ヶ月

長期休暇を利用して行う短期研修・演習では、海外の協定締結大学で語学を学んだり、フィールドワークを体験することができます。例えば、コロラド州立大学ではアメリカの放射線研究について学ぶことができます。このほか韓国、中国、台湾、カナダ、ドイツでの語学研修など、多彩なプログラムが用意されています。



協定締結校への長期留学 交換留学

開催期間：半年～1年

本学は、大学間交流協定に基づき、海外の35大学と学生交流協定を締結し、「交換留学」を実施しています。「交換留学」とは学生交流協定校への長期留学で、福島大学のみに学費を納める必要がある留学を指します。国際交流センターが留学先との調整役を務めるので、留学の準備から留学中の相談、帰国後の単位の互換まで、さまざまな手続きも安心して行うことができます。



海外で働くために必要なことを学ぶ 海外インターンシップ

開催期間：約2ヶ月

2016年度からスタートした海外インターンシップ講座「WEA」は、「実際の現場で英語を使うことにより実用的な英語を身につける」がテーマです。海外で仕事をするには何が必要なのかを考えながら、海外で働くためのスキルや知識を学びます。その後、夏休みに渡米して、現地でインターンシップを行います。

例 Real English Business Internshipプログラム(テキサス・ヒューストンでの8週間のインターン)など



専門家の指導も受けられる 語学力強化

開催期間：毎日(月曜～金曜)

英語圏への交換留学などをを目指す学生に求められるのが、IELTSTMやTOEFL[®]などの語学試験で目標スコアをクリアすることです。福島大学では、少数数制の語学力強化プログラムや、語学試験のコーチングで語学力アップをサポートしています。中でも国際交流センターが提供する「C1 Project」は、語学試験対策の専門家によるきめ細やかな受験指導に人気が集まっています。



奨学金制度について

「留学の費用に不安がある」という方も安心してください。福島大学には経済的な負担軽減を目的とした給付型の奨学金制度が準備されています。2022年度は、交換留学、短期研修、海外インターンシップに参加したすべての学生が奨学金を受給しました。

詳しくは、国際交流センターにお問い合わせください！

世界は広く、様々な視点や考え方があります。
留学はそれを体感するチャンスです。

食農学類 生産環境学コース 3年
[日本大学東北高等学校出身]

熊澤 帆夏さん

留学先 中東工科大学(2022年9月～2023年6月)



中東工科大学は理系の学生が比較的多く、トルコでトップレベルの国立大学です。授業は全て英語のため、交換留學生でも自分の専門や興味に沿った授業を履修することができます。食農学類では主に生態系と農林業の関係を学ぶ一方、こちらでは生態系の授業に加え、進化学や植物生物学なども学んでいます。

留学は高校の頃からの夢で、一番の目標は様々なバックグラウンドを持つ人々と関わり、自分の視野を広げることでした。ここには先進国から発展途上国までの学生が集まっており、その方達との会話を通して、様々な側面から物事や

社会問題を考察することができるようになりました。現在はキャンパス内の寮で暮らしており、生活のほとんどは英語ですが、街に出ると基本トルコ語なので、この7ヶ月で授業や友人から学んだ言葉を駆使しています。福島大学に戻った際には、こちらで学んだグローバルな生態系における課題等も念頭に置き、福島や日本において自然と人間の関係性をよりよくするために学んでいけるのではないかと思います。また所属している国際交流サークルでは、留學生と日本人の学生の輪を更に広げ、仲を深められるようなサークルづくりをサポートしたいと思います。



大学内で留學生の友人と



アフターディナーに参加



アンタルヤの地中海にて

Fukushima Ambassadors Program

Fukushima Ambassadors Program(通称F.A.P.)とは、アメリカ、ドイツなどの海外の協定大学から福島に関心を持った留學生(これまで延べ209名)を約2週間のプログラムに招き、福島大学の学生とともに被災地をまわる短期留学プログラムです。2023年4月現在、福島大学を中心に600名以上の県内の大学生がプログラムアシスタントとして参加してきました。さまざまな背景を持つ学生たち同士が、ともに英語で福島の「過去」、「現在」、そして「未来」の課題について学び、理解を深めています。



Fukushima University International Center

国際交流センター

平日 9:00～12:30 / 13:30～17:00

福島大学国際交流センターは、国際交流の窓口として学生の皆さんのサポートや、情報発信を行っています。ここでは、本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学の報告書なども閲覧することができます。また留学や語学学習に関する図書の貸出や、希望者には語学試験対策学習指導も提供しています。留学に関わる生活や学習の相談、在留資格、地域のイベント案内、手続きなどもここで確認することができます。



オンラインで留学生と一緒に学ぶ

国際共修 (ICL)

言語や文化が異なる背景を持つ学生同士がそれぞれ違いを受入れ、相互理解を深めあう学修活動を国際共修(Intercultural Collaborative Learning)といいます。連携加盟大学(東北大学、福島大学、東京外国語大学、信州大学、大阪大学、神戸大学)が提供する特色のある科目を、オンラインで受講することができます。履修したICL科目は、福島大学での単位として認められます。

ICL科目履修者の声



異文化に触れ、 より広い視点や考え方を学ぶチャンス

人間発達文化類 卒業
[東京都立本所高等学校出身]

大和田 諒さん

国際交流に興味があり、英語も磨き上げたいと思い履修しました。異文化交流を目的に、コロナやウクライナ侵攻など時事的な題材を取り扱い、日本人学生と留学生とで学び合うアクティブラーニングを取り入れた授業です。ウクライナ出身の方に現地の状況を伺ったり質問するなど貴重な機会もありましたし、基本的には日本語でしたが、留学生の方がわからない時には私がサポートする機会が多く、それをきっかけに一緒に出かけるなど、交友関係も広がりました。また授業を通じた異文化の学びから、他者の視点や考え方を受け入れる自分のキャパシティが広がりました。卒業後は住宅系の会社に就職しますが、将来的には海外との交流に結びつく事業展開をマネジメントする立場になればと思っています。



英語を学ぶだけでなく 英語で学びたい人のために

行政政策学類 地域社会と文化コース 3年
[新潟県立燕中等教育学校出身]

岩間 弓菜さん

私は中高一貫校で英語には積極的に取り組んできたのですが、最初は躊躇することもありました。でも話さないと学びにならないので、後半は積極的に発言するようになりました。週1回、定期的にしっかり英語を話せる環境に身を置けることがとても嬉しく、楽しい時間でした。

これまで2つの授業を受け、自分とは異なるバックグラウンドを持った方々とどう接していくか考える「異文化交流」、もうひとつは人権教育に関することでした。ドイツ、イギリス、ポーランド、中国などからの留学生たちとその問題や解決策を一緒に考えました。私は人権や労働問題に興味があるのですが、ニュースなどを見る時にもこの授業で聞いた話を参考にしながら、もっと社会問題に向き合っていけたらと思います。

世界に通用する英語を学ぶ

C1 Project

国際交流センターでは、英語圏の大学での学修や大学院での研究に必要な4技能を徹底的に鍛える、インタラクティブな自主学修プログラム科目「C1 Project」を提供しています。C1 Projectでは、CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)のC1レベル(英検1級に相当するレベル)の語学試験のスコア取得を目標に、世界に通用する英語力を日々鍛えています。これまでC1 Projectを履修しC1を達成した学生の中には、卒業後に海外の大学院に進学した先輩もいます。

C1 Project履修者の声

英語力とともに手に入れた、 もっと上へという自信

経済経営学類 卒業
[仙台市立仙台高等学校出身]

杉浦 矢功正さん

留学しなくても英語力を伸ばせることを実感し自信に繋がりました。これなら専門領域ももっと伸ばせるし、大学院ももっと上を目指せるのではないかと希望が持て、自分で決めてしまっていた限界を突破できました。まず英語力を確実に伸ばし、オンラインでグアム大学の会計の単位を取り、米国公認会計士の試験を受け、そして大学院へと、一つひとつ積み上げていきました。将来は会計士か財務コンサルタントとして、企業の繁栄を通して地域や国の成長に役立ちたいと考えています。



より高みを目指す仲間たちとの 刺激的な時間

経済経営学類 卒業
[群馬県立前橋商業高等学校出身]

佐々木 駿さん

英語ができればキャリアが広がると考え、交換留学制度を目標に1年の夏からC1 Projectに参加しました。1年の最初に受けたTOEICのスコアはかなり低かったのですが、授業後は閉館まで図書館に籠るなど学習を継続するうちに、留学の目安にしていたIELTS™のスコアが取れました。何よりC1 Projectにはレベルも質も高い人たちが集まっているので、その刺激的な環境に身を置けたことが大きかったと思います。ここで出会った友人たちとは、メルボルン大学院進学後も繋がっていけると思います。

英語の学習を通して 論理的思考を手に入れる。

共生システム理工学研究科
博士前期課程 1年
[福島県立会津高等学校出身]

長岡 瞬さん

大学の授業は受動的なものが多いかもしれませんが、C1 Projectは主体的・能動的に意見を発言したり、表現することが求められるので、脳みそから汗が出るような、疲れるけれど楽しい時間でした。4技能のうちリーディングがメインですが、ライティングでは講師の方に1対1で表現や内容を指導していただき、英語の学習を通して、論理や筋道を立てて考える力が身に付きました。自分の専攻では英語の論文を読む機会も多いですが、英文に対しての抵抗がなくなったので、これからの研究でも役立つと思います。



文化や歴史を学び
人を育て
地域を支えたい

生涯を通じた学びや
人の成長を支える人材を育成

人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture

- コース
- ▶ 教育実践コース
 - ▶ 心理学・幼児教育コース
 - ▶ 特別支援・生活科学コース
 - ▶ 芸術・表現コース
 - ▶ 人文科学コース
 - ▶ 数理自然科学コース
 - ▶ スポーツ健康科学コース

- 学びのキーワード
- | | |
|----------|------|
| 学校教員 | 教育 |
| 心理学 | 幼児教育 |
| 発達支援 | 生活科学 |
| 音楽 | 美術 |
| 言語・歴史・文化 | 学校教員 |
| 自然科学 | 数学 |
| 健康 | 地域貢献 |

想定される
将来の活躍フィールド

- 保育士・幼稚園教員
- 小・中・高校教員
- 社会教育主事
- 学童保育指導員
- 医療・福祉関連
- 専門コンサルタント など

学類の
HPはこちら



詳しくは
P.23

持続可能な
地域づくりに
貢献したい

「地域・自治の時代」のニーズへ
学際的に取り組む

行政政策学類

Faculty of Administration and Social Sciences

- コース
- ▶ 地域政策と法コース
 - ▶ 地域社会と文化コース
 - ▶ 夜間主(社会人教育)

- 学びのキーワード
- | | |
|------|-------|
| 自治 | まちづくり |
| 地域社会 | 地域活性化 |
| 地域問題 | 社会福祉 |
| 考古学 | 法律 |

想定される
将来の活躍フィールド

- 国家公務員
- 地方公務員
- 教員(公立学校、私立学校)
- 司法書士・行政書士
- 法人職員 など

学類の
HPはこちら



詳しくは
P.33

経済・経営の世界で
グローバルに
活躍したい

グローバルな視野で
経済社会をリードする人材を創出する

経済経営学類

Faculty of Economics and Business Administration

- コース
- ▶ 経済学コース
 - 経済理論モデル
 - グローバル経済モデル
 - ▶ 経営学コース
 - 地域経営モデル
 - 会計ファイナンスモデル

- 学びのキーワード
- | |
|---------|
| 経済理論 |
| 地域経営 |
| 地域経済 |
| ファイナンス |
| グローバルEP |

想定される
将来の活躍フィールド

- 公共機関・各種団体
- 金融機関
- 鉄道・航空・観光
- エネルギー
- 建設・不動産 など

学類の
HPはこちら



詳しくは
P.45

理工系人材として
21世紀的課題を
解決したい

21世紀の課題を
「共生の科学・技術」で解決する

共生システム理工学類

Faculty of Symbiotic Systems Science

- コース
- ▶ 数理・情報科学コース
 - ▶ 経営システムコース
 - ▶ 物理・システム工学コース
 - ▶ 物質科学コース
 - ▶ エネルギーコース
 - ▶ 生物環境コース
 - ▶ 地球環境コース
 - ▶ 社会計画コース
 - ▶ 心理・生理コース

- 学びのキーワード
- | | |
|------------|-------------|
| 数学 | 進化・系統 |
| 情報工学 | 自然災害の予測・防災 |
| 経営工学 | 文理融合 |
| 物理・機械・電気 | 生理学 |
| 化学 | ソフトウェア |
| 再生可能エネルギー | 企業等の経営 |
| 生態学 | ものづくり |
| 地球科学 | 新素材開発 |
| 持続可能性 | 省エネ・創エネ・蓄エネ |
| 心理学 | 生物保全 |
| マネジメント | 地球温暖化 |
| 生体・メカトロニクス | 計画 |
| 先端材料 | 心と脳 |
| 地球温暖化対策 | |

想定される
将来の活躍フィールド

- 大学院進学
- 情報通信・ソフトウェア関連企業
- 製造業・家電・自動車関連企業
- 医療・福祉関連企業
- 化学・エネルギー・流通関連企業
- 水・環境・防災・建設関連企業
- 国家・地方公務員
- 中学・高校教員、学芸員 など

学類の
HPはこちら



詳しくは
P.55

現場と共に
食と農の課題解決に
取り組みたい

主体的・創造的に対応する
地域リーダーの育成

食農学類

Faculty of Food and Agricultural Sciences

- コース
- ▶ 食品科学コース
 - ▶ 農業生産学コース
 - ▶ 生産環境学コース
 - ▶ 農業経営学コース

- 学びのキーワード
- | | |
|---------|-----------|
| 食品加工学 | 稲作学 |
| 栄養 | 農業経営 |
| 発酵・醸造 | 地域農村社会 |
| 地域の食の伝統 | 農業経済 |
| 作物栽培 | 生産資源 |
| 農業生産 | 森林・農地・水環境 |
| 農業被害管理 | 里山管理 |

想定される
将来の活躍フィールド

- 食品関連企業
- 農業生産法人
- 農林技術系公務員
- 農業・農村起業家
- バイオマス関連企業 など

学類の
HPはこちら



詳しくは
P.65



人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture



子どもたちに寄り添い、
成長を支える学校教員や、文化を通じて、
地域の人々を支える人を養成します。

学類紹介MOVIEを
チェック!



■ 教育実践コース

■ 人文科学コース

■ 心理学・幼児教育コース

■ 数理自然科学コース

■ 特別支援・生活科学コース

■ スポーツ健康科学コース

■ 芸術・表現コース

こんな人に学んでほしい

- 保育士、幼稚園や小学校・中学校・高校・特別支援学校の先生になりたい人
- わかりやすく教えられる先生になりたい人
- 人間の心理や行動の不思議について学びたい人
- 現代生活に関わる衣食住や生活経営について学びたい人
- 音楽や美術について学びたい人
- 日本・アジア・欧米の言語や文学について学びたい人
- 地域や世界の地理・歴史・経済・社会・思想について学びたい人
- 数理科学や自然科学について学びたい人
- スポーツ科学や健康科学について学びたい人

SHINING GRADUATES



社会で
活躍する
卒業生

Interview

いわき市立平第五小学校
人間発達文化学類 人間発達専攻 教育探究クラス 2021年卒業 佐久間 勇気さん

子どもの目線に立って 考えることのできる先生に

入学当初は高校の日本史の先生を志望していました。大学に入ってから小学生と関わる機会が多く、学びの一番最初である小学生に関わる楽しさを感じて小学校の先生になりました。大学1年生の時に、小中学生が参加する自然体験のキャンプを0ベースから企画する自然体験実習は、大きな転機となりました。この経験をきっかけとして、県内各地の学校を見学したり、学習支援のボランティアなどで様々な子どもたちと関わったりできたことは、福大に入っての一番の収穫でした。また、仲間と立ち上げた学習支援のサークルでは、年齢や興味関心の違う子どもたちどう関われば一緒に成長していけるのかや子どもたちの関係づくりを学ぶことができました。そのことは今の教室での関係づくりにも活きていると思います。ゼミでお世話になった坂本先生とは



随分一緒に飲みましたし、今も相談に乗っていただいています。

今でも深く心に刻んでいる言葉は、教育実習の時に指導教員の先生がおっしゃった「子どもの目線に立ちなさい」という言葉です。今年で3年目、今後も目の前にいる子どもたちが何を考えどう感じているのかを考えながら、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

卒業後の 主な進路

- 保育士
- 幼稚園教員
- 小・中・高校教員
- 特別支援学校（盲学校・聾学校・養護学校）教員
- 社会教育主事
- 児童館専門員
- 学童保育指導員
- 塾講師
- 国家公務員
- 地方公務員
- 専門コンサルタント
- 医療・福祉関連
- 一般企業
- 英会話講師
- NGO職員
- 銀行員
- SE、マスコミ・出版業
- 旅行・サービス業
- 不動産業
- 商社・企業（国際交流・海外事業担当）
- 社会人教育サービス
- 大学院進学 など
- 音楽教室講師
- 音楽サークル指導者
- イベント企画者
- 劇伴・コマーシャル音楽制作者
- 印刷・広告業
- イラストレーター
- インテリア用品デザイナー
- スポーツ選手
- スポーツ指導者
- フィットネスクラブ
- マスコミ・出版業（スポーツ分野）
- スポーツマネジメント業
- 健康増進産業 など

カリキュラムの特長

コース専門プログラム制による確かな学力と実践的な応用力の形成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しています。学類生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次からいずれかのコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学んでいきます。それにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができます。**公認心理師および保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成しています。**



- 幼稚園教諭一種免許状
 - 小学校教諭一種免許状
 - 中学校教諭一種免許状
(国語/社会/数学/音楽/美術/保健体育/家庭/英語/理科 ※1)
 - 高等学校教諭一種免許状
(国語/地理歴史/公民/数学/音楽/美術/保健体育/家庭/英語/理科 ※1)
- 特別支援学校教諭一種免許状 ※2
 - 社会教育主事(基礎資格) ※3・社会教育士
 - 保育士 ※4
 - (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 ※5
 - 社会福祉主事(任用資格) ※6
 - 公認心理師 ※7

※ 1 理科については他学類で開講されている授業の単位を取得する必要があります。 ※ 2 特別支援学校教諭の免許状は単独では取得できず、小学校、中学校、高等学校及び幼稚園教諭免許状のいずれかを併せて取得しなければなりません。
※ 3 必要単位を修得し、卒業後1年以上の社会教育主事補あるいは5年以上の学校教員などの教育関係職に従事することが必要です。
※ 4 15名の定員があります。心理学・幼児教育コースに所属する学生のみ取得可能です。他のコースに所属する学生は取得できません。同時に取得可能な免許は幼稚園と小学校の教員免許のみです。
※ 5 指定する科目を修得することにより「スポーツリーダー」資格を取得できます。また各種スポーツ指導者資格の取得に必要な講習の免除資格が、指定された科目を修得することにより取得できます。この制度は、スポーツ健康科学コースに所属する学生が対象となります。
※ 6 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。
※ 7 国家資格「公認心理師」の受験資格取得に必要な科目を開講します。公認心理師の受験資格取得に必要な学類の科目を全て履修するためには、心理学・幼児教育コースに所属する必要があります。
また保育士資格や教員免許を同時取得することはできません。実習先の受け入れ可能数を超える場合には選考することがあります。最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。
なお、編入学・学士入学で入学された方は、公認心理師の資格取得は出来ません。

		1年次 		2年次 		3年次 		4年次 		
学びの目標		発達・文化のリテラシー(基礎・基本)を学ぶ 学びのプログラムを選択する		発達・文化の専門的な知識・技術を学ぶ 問題解決型学習の基礎を学ぶ		自ら課題を立て、専門的知識・技術を活用して課題を 解決するなかで、専門的知識・技術の実践力を身につける		専門的知識・技術をさらに深めるとともに、 学びの集大成である卒業研究を完成させる		
		第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester	
専門教育		小・中・高教員は 全コースで養成		学類・教養科目	コース専門科目以外の学類科目を履修することで、発達・文化に関する学びの幅を広げる					
							卒業研究科目	■ 卒業研究基礎演習 ■ 卒業研究演習 ■ プレゼンテーション演習 ■ 卒業論文		
		コース専門科目	教育実践コース		・日本教育史 ・教育課程論	・社会科学習指導論 ・子どもと特別活動	・教育と社会 ・数学科教育法I・II	・国語科教育法IV ・生活科学習指導論	・生涯学習社会と学校・家庭・地域 ・外国の教育	
			心理学・幼児教育コース		・知覚・認知心理学 ・社会・集団・家族心理学	・障害者・障害児心理学 ・保育内容(人間関係)	・保育内容(環境) ・司法・犯罪心理学	・公認心理師の職責 ・保育カリキュラム論	・総合表現(劇) ・幼児理解・教育相談の理論と方法	
			特別支援・生活科学コース		・知的障害者教育課程論 ・知的障害者の行動観察とアセスメント	・重複障害・軽度発達障害教育総論 ・食物学	・生活経営学 ・知的障害者学級経営論	・知的障害者の心理・生理・病理 ・人間と衣服	・住生活学 ・食品加工学概論及び実習	
			芸術・表現コース		・器楽演奏研究 ・彫刻	・指揮法研究 ・絵画	・音楽史 ・映像メディア論	・声楽アンサンブル ・美術史	・ピアノアンサンブル ・芸術学	・音楽科教育法 ・美術科教育法
			人文科学コース		・日本古典文学演習 ・日本語の変異	・自然災害と人間 ・日本史史料講読	・英語学概論 ・初期近代英米文学	・英語学演習 ・英米文学演習	・現代日本経済論 ・ヨーロッパ古代・中世史	・書道
数理自然科学コース		・代数学II ・幾何学II	・確率論・統計学 ・理科学習指導論	・理科の実験指導 ・代数学続論	・幾何学続論 ・物質化学	・生命環境の科学 ・地球惑星の科学				
スポーツ健康科学コース		・スポーツ運動学 ・スポーツと文化	・体力トレーニング ・スポーツ政策論	・運動処方 ・健康科学演習	・野外活動 ・生理学	・コーチング論 ・スポーツ医学				
基盤教育		接続領域		・スタートアップ科目 ・ライフマネジメント科目				アドバイザー教員 学習や進路など大学生活全般のアドバイスをを行います。 下記の担当教員をアドバイザーとする小集団教育を行います。 1年次前期 スタートアップセミナー教員 1年次後期～3年次前期 問題探究セミナー教員 3年次後期～4年次 卒業研究指導教員		
		教養領域		外国語コミュニケーション科目						
				学術基礎科目 健康・運動科目 情報科目						
				外国語科目						
自由選択		問題探究領域		・問題探究セミナーI	・問題探究セミナーII					
				問題探究科目 自主学修プログラム						
自由選択		自らの興味・関心にしたがって、基盤教育及び学類内外の科目から選んで履修する								



主体的で実践的な学びを通して、 「成長を支えられる人」を目指します

「人の成長を支える専門家を育てる」ことを目標に、人間の発達を支援する教育や文化に関する基礎的・専門的知識、技術を学びます。それらを基盤に、社会における現代的、地域的課題解決に、実践的に取り組むことのできる人を養成します。学類生は、1年次から7つのコースに所属し、学類基礎、学類専門、学際・教養、卒業研究のカリキュラムを通じて学んでいきます。また、より深い学びと経験ができるコース専門プログラムを設置しています。

学類長 メッセージ

Message

本学類が研究対象とする「人間発達」とは、人間の誕生から死までのすべての期間を表します。また、「文化」は人間社会の基盤を形成するものです。つまり、人間発達文化学類は人間とそれが形成する社会そのものを研究対象とし、そのために役立つことのできる人間の育成を目指しているのです。この目的を達成するためには、非常に幅広い分野の学修が不可欠です。本学類では人文・社会・自然の諸分野を網羅する、幅広いカリキュラムが構成されています。皆さんは自分の学修したい分野、進みたい進路に合わせてコースを選択し、その中でさらにある分野に特化したプログラムを選択して専門性を深めることができます。自分を実現するための学びを深める、積極的な学修を期待します。

人間に関する学びを深め、 自分を実現する学修を



人間発達文化学類長 初澤 敏生 教授



1年前期

自然体験実習

☑ 伝える力、聴く力、そして企画力が身につく。

小中学生が参加する「自然体験学校」を企画運営します。8月の本番に向けて、仲間とともに企画を考え、話し合い、準備する中で、考えを伝える力や聴く力、企画力が身につく、子どもとの関わりのイメージがつかめるとともに、多くの仲間を得られます。

2年前期～

学校教育支援実習

☑ 教員としての資質能力を高める。

学校現場で教員の実務の補助にあたり、実践的指導力を養い、学校理解を深めます。2年次では3年次の教育実習への準備、3・4年次では教育実習で身につけた知識や技能を活かし、教員としての資質能力を高めます。教職登録をした2年生以上が対象です。



3年前期～

教育実習

☑ 培った理論を実践力につなげる。

理論を知っているだけでは教師は務まりません。理論を実践力として働かせる必要があります。実際の教育現場での「教育実習(4週間)」を通じて、理論を実践力につなげていきます。教員免許取得のための必修科目です。



教員紹介

※2023年4月1日現在

教育実践コース

天野 和彦 (社会教育学・教育社会学)
植田 啓嗣 (教育学・比較教育学)
太田 孝 (国語科教育学)
大橋 淳子 (学校経営)
小川 裕 (音楽科教育における指導法の追究)
神山 真由 (教育行政学・教育制度論)
菅家 礼子 (質の高い身体教育の探究)
坂本 篤史 (授業研究・教師論)
鈴木 昭夫 (理科教育)
谷 雅泰 (日本教育史・近代学校の起源)
鳴川 哲也 (学習指導法の研究と教材開発/理科教育)
宮武 泰 (道徳科授業論)
森本 明 (算数・数学の授業とカリキュラムの構成に関する研究)

心理学・幼児教育コース

安部 郁子 (児童虐待やDV被害者等、様々な困難を抱える人たちの支援)
市川 英雄 (福祉領域における心理支援)
伊藤 雅隆 (認知行動療法の効果と実践方法)
齋藤 美智子 (保護者支援・保育内容)
生島 浩 (少年非行・犯罪に関わる家族への援助実践)
住吉 チカ (認知心理学・認知機能障害、及び認知機能の発達)
高谷 理恵子 (乳幼児の身体制御に関する発達)
原野 明子 (幼児の仲間関係の発達)
保木 啓史 (集まりの場面で子どもと保育者の相互作用、保育者の専門性)

特別支援・生活科学コース

角間 陽子 (家庭教育の研究・生活経営学)
小椋山 宗浩 (特別支援教育における教育環境の整備)
佐藤 玲子 (快適な住生活と住環境について)
高橋 純一 (能力の多様性と障害理解・障害児・者の見え方と感じ方)
千葉 桂子 (快適で安全な衣服のデザインと機能)
鶴巻 正子 (発達障害児の読字・書字への支援)
中村 恵子 (調理のコツとおいしさについて)
柳沼 哲 (特別な教育的ニーズに応える支援)

芸術・表現コース

新井 浩 (彫刻制作・彫刻教材の研究)
今尾 滋 (声楽・オペラ)
加藤 奈保子 (西洋美術史・美学)
杉田 政夫 (音楽科教育の理論的・実践的研究)
中畑 淳 (音楽、ピアノ/演奏法、作品解釈研究)
横島 浩 (作曲・楽曲分析研究)
渡邊 晃一 (絵画、現代美術・制作学)
渡部 憲生 (図画工作科・美術科教育)

人文科学コース

朝賀 俊彦 (言語の仕組みについての研究)
飯嶋 良太 (言語芸術、特に英語・北米のもの)
井美 充史 (日本古典文学、古典教育)
小野原 雅夫 (戦争と平和の倫理学、科学技術と環境の倫理学)
鍵和田 賢 (ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会学)
川田 潤 (主に英語圏の文化の研究)
小松 賢司 (日本近世史)
佐久間 康之 (外国語活動・英語教育と心のメカニズム)
佐藤 佐敏 (国語科教育学、学習指導論)
佐藤 元樹 (理論言語学、統語論、意味論)
滋澤 尚 (漢文学、漢字文化、古代文学・思想・神話、本草学)
高木 修一 (英語リーディングのメカニズムを探る/英語テストを科学する)
高田 英和 (イギリス文学、文化研究)
高橋 優 (ドイツ・ロマン主義の文学と思想)
高橋 由貴 (日本近代文学・比較文学)
中村 洋介 (自然災害科学・防災教育)
野木 勝弘 (社会科教育学)
初澤 敏生 (地域文化構造的調査と分析)
半沢 康 (日本の方言の研究)
牧田 実 (コミュニティとまちづくり)
渡邊 健順 (社会科教育学)

数理自然科学コース

瀧口 和也 (和算の研究)
中田 文憲 (微分幾何学)
平中 宏典 (ICTを活用した理科教育・地域地質を活かした地学教育)
水澤 玲子 (鳥嶺生態学・植物の繁殖生態学)
村上 正義 (小学校理科教育)
和田 正樹 (解析学、確率論)

スポーツ健康科学コース

小川 宏 (体育・スポーツの意義と目的)
杉浦 弘一 (スポーツと健康の医科学)
竹田 隆一 (武道の独自性と国際化)
蓮沼 哲哉 (スポーツ社会学)
松本 健太 (体育科教育学・スポーツ教育学)
本嶋 良恵 (スポーツバイオメカニクス)
安田 俊広 (骨格筋の疲労と損傷のメカニズム)

学類附属 学校臨床支援センター 学校連携部門

教育相談部門

青木 真理 (臨床倫理学、教育臨床学)

岸 竜馬 (精神分析的心理療法・精神病理)

現職研修部門

宗形 潤子 (生活科における実践的研究)

高野 孝男 (特別活動と学級経営の研究)



専門知識・技術と実践的な応用力を身につける7つのコース

教育実践
コース

学校現場で活躍する
実践力のある学校教員を育成する

教育実践コースは、学校教員になることを目指す学生が中心になるコースです。学校現場は社会・地域の変化など複雑な環境に晒されています。その中で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける教員が求められています。本コースでは学校教員として求められる実践力をつけることを目指します。

主な科目

- カリキュラム・教育方法論
- 生涯学習社会と学校・家庭・地域
- 学校と教育の歴史
- 子どもと道徳
- 教育の方法・課程論A
- 国語科教育法
- 数学科教育法
- 音楽科学習指導論
- 理科学習指導論
- 体育科学習指導論
- 子どもの生活と遊び
- 子どもと自然
- 外国の教育
- 教育行政学

特徴的な学び

教育の方法・課程論A

これからの学校教育に向け、何をどのように教えるかについて広くかつ深く学びます。授業では、今まで受けてきた学校教育を教師側の視点に立って振り返りつつ、具体的な事例や文献資料を基にした学生同士での意見交流や話し合いを通して、自身の授業観を磨いていきます。

特徴的な学び

算数科学習指導論

算数科の学習指導に必要な基礎的・基本的な資質・能力を身につけます。小学校算数科の目的・目標、育成すべき資質・能力、学習指導の内容及び学習指導の方法について理解するとともに、指導案作成や模擬授業を通して、算数科授業を構成・実践できるようにします。

心理学・幼児教育
コース

人の行動・心理の研究と幼児期の教育を
研究する

本コースは、人の行動・心理についての知見を得るとともに、実験・調査・観察などの科学的手法によって研究を行う心理学の分野と、乳幼児の発達を学びつつ、幼児期に相応しい経験とは何かを探る幼児教育分野で成り立っています。なお、1年後期から心理と幼児教育のクラスにわかれま。小学校教員や心理専門職(公認心理師・公務員心理職)、幼稚園教諭や保育士を目指す人に向いています。

主な科目

- 発達心理学
- 公認心理師の職責
- 産業・組織心理学
- 心理学演習・実習
- 心理学的支援法
- 心理学統計法
- 社会・集団・家族心理学
- 保育原理
- 幼児発達心理学
- 保育カリキュラム論
- 保育内容(表現I)
- 幼児と音楽
- 保育方法実践論
- 総合表現(劇)

特徴的な学び

心理学に関する学び

実験、観察、調査など各研究手法、及びデータを分析するための統計手法を学びます。これらの知識を活かして、人の行動や発達、集団行動などについて研究を進めていきます。さらに、公認心理師を目指す人は実習を通して、臨床的な技能も学んでいきます。

特徴的な学び

幼児教育に関する学び

幼児教育分野では、保育・幼児教育についてのこれまでの歴史や思想、制度等の幼児教育、子どもの発達等に関する理論を学びます。これらの知識を活かして、保育現場で必要となる技術・技能を身につけ、実習や卒業研究等を通して、さらに研鑽を積んでいきます。

特別支援・生活科学
コース

障害のある子どもの教育や
家庭・地域に関わる生活科学を学ぶ

知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもの発達支援に関する理論や、家庭や地域に関わる生活科学の基礎について広く学び、実践を通して理解し身につけ、探究していきます。子どもたちの発達を支援し特別支援学校教諭を目指す人や、生活の基礎を学びたい人、家庭科教諭(小・中・高)を目指す人に向いています。

主な科目

- 特別支援教育概論
- 知的障害者の行動分析
- 病弱者の生理・病理・心理
- 知的障害者教育指導法
- 知的障害者教育課程論
- 食と健康
- 食生活論
- 衣服のデザインと機能
- 住生活学
- 家庭科教育法

特徴的な学び

特別支援教育概論

大学での学びを始めた、主に1年生を受講対象として「障害」に関する基礎的なことを広く学びます。障害特性や支援方法だけでなく、障害者政策や障害者差別など広い分野から「障害」に対してアプローチします。

特徴的な学び

衣服学概論及び実習

この授業では、現代の社会における安全で快適な衣生活をめざし、衣服の選択や管理に必要な知識を学びます。また衣服の生産・消費・廃棄における課題をとらえ、今後の衣生活のあり方について考えます。さらに衣服製作の実習を行い、製作に必要な知識と技術について学び、衣服における着心地や動きやすさの機能性を追究する力を身につけます。

芸術・表現
コース

芸術の意義を理解し、芸術関連の教員や
コーディネーターとして活躍する

芸術や表現の意義、本質を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的・実践的に身につけるための、芸術の薰り高いコースです。芸術表現者の育成とともに、芸術領域(音楽・美術)を活用できる学校教員(小・中・高)、さらにはアートコーディネーターといった芸術の力を地域で活かせる人材を育成します。

主な科目

- 子どもの音楽表現
- 作曲基礎
- 声楽演奏研究
- ピアノ演奏研究
- 音楽科教育法
- 器楽演奏研究
- 指揮法研究
- 子どもの造形活動
- 絵画
- 彫刻
- 工芸デザイン
- 美術史
- 芸術学
- 映像メディア論

特徴的な学び

素描

この授業では様々な美術、造形表現の基礎となる見方、考え方を学びます。現代のメディアから発信される現代的イメージを押さえながら、優れた表現者、教育者に必要な知識、技能とともに、興味を持って対象に迫る探究心を養います。

特徴的な学び

ピアノアンサンブル

この授業では、基本的な演奏技術を修得しながら、作品解釈を通じて伴奏法、共演形態の演奏法について学びます。1台4手(連弾)、2台4手(2台ピアノ)をはじめ、ピアノを含む共演形態の作品を幅広くとりあげ、各パートの理解を深めつつアンサンブルによる演奏表現を仕上げていきます。



専門知識・技術と実践的な応用力を身につける7つのコース

人文科学
コース

様々な文化を学び
地域の文化の継承・発展に貢献する

言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について深く学ぶことができます。そのような学びを踏まえて、地域の文化を継承し、発展させていく力を養います。人文学諸分野の知識を活用した仕事に就きたい人、国語・英語・社会に強い小学校教員や、中学・高校の国語・英語・社会の教員を目指す人に向いています。

主な科目

- 漢字・漢文学概論
- 日本文学特講
- 英語学概論
- 英米文学史
- ヨーロッパ言語文化論
- 日本近世社会史
- 都市とまちづくりの地理学
- 現代社会と文化
- 国語科・英語科・社会科教育法

特徴的な学び

言語文化や国語教育に関する学び

日本語学、日本文学（古典・近代）、漢文学、国語科教育学といった言語文化・言語教育（国語教育）について、文献を収集したり、実地調査をしたり、模擬授業をしたりして、その専門性を学びます。



特徴的な学び

外国語の言語文化や教育に関する学び

英語学、英語教育学、英米文学・文化、ドイツ文学・文化、異文化理解、英語コミュニケーション等について、文献調査やグループワークなどを通じて、その専門性を学びます。



特徴的な学び

歴史や地理や公民に関する学び

古文書や外国語文献から直接歴史を学んだり、現地で実際に調査することによって地理や経済や社会を学んだり、グループワークを通じて倫理について考えを深めたりしていきます。

数理自然科学
コース

自然や数学の問題を探究し
諸問題を解決する専門性を高める

身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを重ねていくことで専門性を高めていきます。社会において数学や自然科学に深く関わっていきたい人、算数や理科に強い小学校教員、中学・高校の数学教員を目指す人に向いています。

主な科目

- 行列とベクトル
- 基礎解析学
- 代数学
- 幾何学
- 確率論・統計学
- コンピュータ
- 数学科教育法
- 理科学習指導論
- 子どもと自然
- 物理学
- 物質化学
- 生命環境の科学
- 地球惑星の科学
- 地域理科実践演習I・II

特徴的な学び

解析学統論

高校で学んだ数列の極限や関数の連続性について厳密な定義を学びます。それにまつわる証明の方法や、関数列の極限などの新しい概念、それを踏まえた高度な計算の技術について学びます。



特徴的な学び

地域と学ぶ
未来の理科先生
特修プログラム

小学校・中学校での理科教育を支えるため、地域にある身近な自然を活かした教材の開発手法を学び、学校や科学館等で実践する経験を通じて、子どもとともに理科の学びを創っていく資質・能力を身につけます。

スポーツ健康科学
コース

スポーツ技術の向上と指導力を高め
体育教員や一流のアスリート、コーチを目指す

最新のスポーツ理論と実践を通して、スポーツ技能の向上と指導力を高めるとともに、生涯にわたり健康で豊かなスポーツライフを送るための技能や専門知識を学ぶことができます。体育教員になりたい人、一流のアスリート、コーチを目指す人、さらにスポーツを通して地域に活力を与える仕事に就きたい人に最適なコースです。

主な科目

- 生理学
- 解剖学
- 生涯スポーツ論
- 運動処方
- スポーツと文化
- スポーツ政策論
- スポーツ運動学
- 保健体育科教育法
- コーチング論
- スポーツ医学
- 生涯スポーツ演習
- 健康科学演習
- スポーツ指導論
- スポーツ実技各種

特徴的な学び

器械運動

マット・とび箱・鉄棒運動を対象に、段階的な練習方法と補助方法について実践的に学びながら、技の習得や習熟を目指します。さらに、学生同士で教え合いながら練習に取り組むことで、それぞれの技についての理解を深めるとともに、指導を行う上で必要となる運動観察力を身につけていきます。



特徴的な学び

スポーツ企画演習

受講生が地域の課題やニーズを調査したうえで、スポーツイベントを企画し、準備から当日の運営まで行う授業です。学外の団体や地域と連携しながら準備を進めていくことで、社会で必要な実践力を身につけていきます。

在学生からの
メッセージStudents
Message

数理自然科学コース 4年〔山形県立山形南高等学校出身〕

菅井 郁海さん

数理自然科学コースでは理科の教員免許が取れますし、福大での講義は教育現場に寄り添い、実際の現場を想定した指導が多いので、実践力が身に付き、教師になった時に生かしやすいと思います。3年後期から所属したゼミでは、私は授業の導入の部分での教師の問いかけについて研究しています。教育実習以外でも学校に先生方の授業を見に行き、最終的には私の研究成果を先生にお願いして実践していただく予定です。

教師になるための専門的な知識だけでなく、福島県について学ぶ授業も多くあります。小学校の先生志望なので、福島の様々なことや魅力も、子どもたちに教える上で意識していければと思います。

卒業生からの
メッセージ

芸術・表現コース 2023年卒業〔福島県立白河高等学校出身〕

森 帆乃花さん

中学から始めたクラリネットを専門に学び、音楽棟で夜遅くまで練習したり、管弦楽のサークルに入っていました。ゼミは音楽教育で、学校の音楽の授業でどうしても音楽を通して人と演奏する楽しさや協働する力を育てられるかを学びました。小学校や特別支援学校で演奏する機会もあり、また学校ボランティアとして福島市内の中学校で授業や勉強のお手伝いにも取り組みました。

卒業後は中学校の音楽の先生になります。福島大学は教員を志望している学生が多いので、福島県の教職試験対策に特化したセミナーがとても充実しています。同じ教員を目指す学生と一緒に、模擬授業や面接の練習ができたことも力になりました。

行政政策学類

Faculty of Administration and Social Sciences



震災からの復興、コミュニティの再生といった地域が抱えるさまざまな課題に取り組み、持続可能な地域づくりに貢献できる人を育てます。

学類紹介MOVIEを
チェック!



■ 地域政策と法コース

■ 地域社会と文化コース

■ 行政政策学類夜間主

(社会人教育)
・地域政策と法コース
・地域社会と文化コース

こんな人に学んでほしい

行政政策学類では、現代の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身につけたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、さまざまな社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- 法・政治・行政・社会・文化などの研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- 国・地域・社会における諸課題を自ら発見し、調査・分析する能力
- 発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- 学際的な創造力で社会に貢献する応用的な能力
- 修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力



SHINING GRADUATES

社会で
活躍する
卒業生

Interview

学生時代に培った力を 街づくりに生かしていきます

市役所に入って2年目、子ども会関係の仕事を担当し、子どもたちの他県との交流会などのサポートをしています。生まれ育った会津若松市がとても好きで、将来はここで貢献できる仕事がしたいと、高校時代から公務員を志望していました。大学3年の時にインターンシップで会津若松の県の出先や市役所に行き、街づくりに熱心な公務員の姿を見て、目標が定まりました。

地域と行政専攻の中で、映像制作をするゼミに所属していました。コロナの影響で個々でしか活動できませんでしたが、東北電力の「第3回TOHOKU LOVE GAKUSEI MOVIE CONTEST」ムービー部門のショートムービーの部で準グランプリになりました。撮影も出

会津若松市 教育委員会 あいづこ育成推進室
行政政策学類 2022年卒業

向山 寛人さん



演もすべて自分ひとりで撮った「あなたの暮らしによりそうマン!」という、東北を愛するパワーを描いた作品でした。

そういった活動や大学生活を通して、発想力や考える力が身に付いたと思います。それを生かして、公務員として市民の方々の暮らしに貢献し、会津の良さをもっと広く知っていただけるよう頑張りたいと思います。

卒業後の 主な進路

- 国家公務員(一般職、裁判所職員、国税専門官など)
- 地方公務員(都道府県庁、市町村職員、警察官など)
- 教員(公立学校、私立学校)
- 司法書士・行政書士などの法律専門職(法科大学院進学者を含む)
- 民間企業(建設、製造、運輸、情報通信、金融、医療、専門サービス業など)
- 法人職員(社会福祉法人、商工会議所など)
- NPO/NGOなどのスタッフ
- 大学院進学(福島大学、東北大学など)
- 民間プランナー
- 各種協同組合の職員
- 学芸員(博物館・埋蔵文化財)
- 社会教育関係(公民館)職員
- マスコミ

カリキュラムの特長

地域課題に取り組む「知と活動の拠点」、行政政策学類。
多様な「学びのかたち」で道を切り拓く！

行政政策学類では、理論研究からフィールドワークまで、さまざまな「学びのかたち」を使って、現代社会の課題や、地域が抱える問題の核心に迫ります。1年次には、幅広い教養を学びながら、「大学での学びの基礎（大学生としての基礎力）」を修得します。2年次には、それぞれの関心にしたがってコースを選択します。3、4年次には、教員＋少人数の学生で運営する「専門演習」を基盤に、自分が「解き明かしたい!」「解決策を提案したい!」と思う課題に、より専門的に迫ります。「卒業研究」は4年間の学生生活の総まとめ。斬新で個性あふれる研究成果が期待されています。

アドバイザー 教員

研究の方法や進路など大学生活全般のアドバイスをを行います。下記の担当教員をアドバイザーとする少人数教育(最大で20名程度)を行います。

1年次：スタートアップセミナー/問題探究セミナーI担当教員
2年次：問題探究セミナーII・III担当教員
3年次～4年次：専門演習担当教員

取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)
- 社会教育主事(基礎資格) ※1・社会教育士
- 学芸員 ※2
- 社会福祉主事(任用資格) ※3

※ 1 必要単位を修得し、卒業後1年以上、社会教育主事補としての職に従事する必要があります。

※ 2 「博物館に関する科目の単位」を修得する必要があります。

※ 3 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。

※ 行政政策学類夜間主では、教員免許状の取得はできません。

		1年次 		2年次 		3年次 		4年次 											
学びの目標		行政政策学類における学びの基礎を学ぶ				専門教育の本格的開始 アクティブ・ラーニングの実践				専門知識の応用力・実践力を身につける				専門知識を深めるとともに、 大学における研究の成果を示す					
		第1セメスター		第2セメスター		第3セメスター		第4セメスター		第5セメスター		第6セメスター		第7セメスター		第8セメスター			
専門教育		学類共通科目				学類基礎科目		■ 憲法 ■ 法社会学		■ 行政学 ■ 地方行政論		■ 社会計画論 ■ 地域社会学		■ 社会福祉論 ■ 社会調査論		■ 比較地域文化論 ■ 考古学		■ 文化史 ほか	
		・現代法学論 ・民法総則 ・現代政治論		・社会学原論 ・社会と文化の理論 ・現代社会のアプローチ		(2コースとも共通の科目群です)													
		問題探究セミナー				地域政策と法コース		問題探究 セミナーⅡ・Ⅲ		■ 地域政策と法コース型 ■ コース横断型 ■ 地域社会と文化コース型		コース専門科目		■ 地方自治法 ■ 労働法		■ 国際政治論 ■ 地方政治論		■ 社会保障法 ■ 民事裁判法 ほか	
						地域社会と文化コース				専門演習の選択				■ 地域史 ■ ジェンダー論		■ 欧米文化論 ■ 地域福祉論		■ 社会教育実習 ■ メディア論 ほか	
						コースの選択												卒業研究の提出	
																		学士(法学)	
																		学士(社会学)	
接続領域		・スタートアップ科目(スタートアップセミナー、社会とデータ科学の基礎) ・ライフマネジメント科目 ・外国語コミュニケーション科目																	
基盤教育		・学術基礎科目 ・健康・運動科目 ・外国語科目 ・情報科目				・キャリア設計科目													
問題探究領域		・問題探究科目 ・自主学修プログラム		・問題探究セミナーⅠ														専門演習	
														専門演習では、より高度で専門的な手法を用いてテーマや課題に迫ります。参加者はより少人数となり、教員も含めそれぞれの学生が、自らの研究テーマをもって演習に参加することが求められます。専門演習での学びを通じて、4年間の学生生活の集大成としての卒業研究をまとめ上げていきます。					
自由選択領域		自らの興味・関心にしたがって、基盤教育及び学類内外の科目から選んで履修する																	

「地域の時代」「分権化の時代」のニーズに 応えることができる人材の育成を目指します

学類長 メッセージ

Message

行政政策学類では、法学や政治学、社会学、歴史学、文化研究など、多彩な科目がカリキュラムに並んでいます。従来の学問体系の枠を超えて、社会科学・人文科学が互いに連携することによって、ひとつの視角ではとらえきれない地域の課題を発見し、解決の糸口を探ることを目指しているからです。

また演習や実習の中で、行政機関や地域の住民、団体等と連携したフィールドワークやワークショップなどを行うことを通じて、具体的な地域の課題をアツカフ機会をいくつも設けています。地域社会の実現に触れること、そしてそこで生きる人と交流することができるように、です。

知と地域と人。この3つの結びつきの力で、これからの地域と世界の、複雑で困難な課題に取り組むための人材を育てていくことを、行政政策学類は目指します。災害や生活上のさまざまなリスクの増大、多様性をふまえた人権のありかた、進化するテクノロジーとそれにとまう社会の変化などの新旧の問題について、一緒に考えていきましょう。

地域コミュニティの未来を構想 アクティブに、そして多角的に



行政政策学類長 高橋 準 教授

教員紹介 ※2023年4月1日現在

地域政策と法コース

荒木田 岳	(地方制度史、地方行政論)
上床 悠	(行政法、公法学、法政策)
垣見 隆植	(行政法、地方自治法)
金井 光生	(憲法、憲法哲学)
岸見 太一	(現代政治論、政治理論・政治哲学)
金 炳学	(民事手続法)
黒崎 輝	(国際政治学、国際政治史)
阪本 尚文	(憲法史)
塩谷 弘康	(法社会学)
鈴木 めぐみ	(国際法)
大黒 太郎	(政治過程論、先進産業社会の比較政治【ドイツ】)
高橋 有紀	(刑事法・刑事政策・司法福祉)
中里 真	(民法【特に契約法】・消費者法)
西田 奈保子	(行政学、都市行政、都市・地域政策)
長谷川 珠子	(労働法・社会保障法)
福島 雄一	(商法【特に保険法】)
山崎 暁彦	(民法、方法論)

地域社会と文化コース

浅野 かおる	(社会教育論、職業教育・訓練論、教育学)
阿部 浩一	(日本中世史)
板倉 有紀	(地域社会学、災害研究、ジェンダー論)
今西 一男	(都市計画論、都市社会学、社会調査論)
岩崎 由美子	(社会計画論、農村生活論)
菊地 芳朗	(考古学による古墳時代社会の復元)
金 敬雄	(言語文化交差論)
久我 和巳	(文芸社会学)
後藤 史子	(アメリカ文化・アメリカ文学)
坂本 恵	(スコットランド・イギリス文学、現代思想)
佐々木 康文	(情報社会学、情報経済論、災害情報論)
新藤 雄介	(メディア論)
鈴木 典夫	(地域福祉、地域援助技術【コミュニティワーク】)
高橋 準	(社会学【現代社会学、社会運動論、ジェンダー論】)
田村 奈保子	(フランス文化、フランス文学)
照沼 かほる	(アメリカ文化・文学と映画を中心に)
徳竹 剛	(日本近代史、地域史)
廣本 由香	(環境社会学、地域環境論、沖縄研究)
眞歩にしょう	(第二言語習得、英語教育、文学)
村上 雄一	(日豪関係史)

詳しい
経歴は
こちら



大学で学ぶ方法の修得を目指す スタートアップセミナー

学び
PICK UP!

☑ 日常の政治と原発事故

誰の声が聴かれ、誰の声が無視されてきたのか、という日常の政治に焦点をあてて、原発事故の問題について学びます。日常の政治における社会的な権力作用について文献から学ぶことに加えて、それぞれの立場で震災・原発事故に関わってきたゲストスピーカーの方々の話を傾聴し、議論をすることを通じて、日常の背後にある構造的な問題について学びます。



岸見ゼミ

☑ 文献から学び、これからの地域社会を考える

このセミナーでは、15名の1年生が、「これからの地域をどのような場所にしていくなか」というテーマで、文献を読み、議論しています。地域の衰退の現状とメカニズムを学び、この流れにどのように向かい合うべきかを考えています。加えて、「観光」「居場所」「子育て」などのような、地域に存在する、より細かいテーマも検討し、これからの地域をどのような場所にすべきかを考えています。



佐々木ゼミ

コースを選択し専門的に学ぶ 問題探究セミナーⅡ・Ⅲ

地域政策と 法コース

☑ 大学でまち探検？ ～まちの歴史を知ろう～

荒木田ゼミでは、特に江戸時代に城下町であった都市の近代化について研究しています。授業では、江戸時代の城下絵図を見ながら、現代の街並みとの比較をしたり、実際に外に出てフィールドワークを行い調査したりします。私たちが住むまちの"街並み"の歴史を深掘るための「まち探検」とも言えるでしょう。また、フィールドワークを通して、ゼミの仲間と仲良くなれること間違いなし！とても楽しく、学びのあるゼミです。



〔仙台育英学園高等学校出身〕
宮川 蒼平さん

地域社会と 文化コース

☑ 地域と時代の比較を通じた学び

新藤ゼミでは、これまで2011年3月と2012年3月の『福島民報』・『福島民友』・『河北新報』に掲載されている震災関連記事の比較を行ったり、現在の雑誌と20年前の雑誌の比較を行ったりしています。こうした比較を通して、同じ出来事でも視点が変わるとどのように描かれ方も変わるのかを学んでいます。



新藤ゼミ

古文書学実習

☑ 古文書類の記録保全の手法を実践的に学ぶ

古文書学実習では、古文書類のデジタル撮影や記録保全の手法を実践的に学びます。東日本大震災を機に、「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」や協定を結んでいる富岡町などと連携し、被災家屋から救出された古文書などの歴史資料の記録・整理に取り組んでいます。毎年夏には、2日間にわたる夏季集中作業を行っています。



行政政策学類 あぶくま学生支援事業

☑ 行政政策学類の学生および院生の取り組みを 支援します

あぶくま学生支援事業は、行政政策学類の学生および院生が、自主的に計画・実行する、学びと地域活動等に関わる取り組みを支援するものです。これまでに伊達市梁川をフィールドとした「地域まるごと博物館」や、福島県沖地震で被災した相馬市・新地町での資料記録整理等の活動を助成しました。行政政策学類の発展と地域課題の解決等のために、学生および院生の皆さんの豊かな発想を活かした企画を募集しています。



1 年次

新たな科目に心躍る1年
基礎を固めつつ、興味を広げる

行政政策学類生のはじめの1年は、学びの基礎をしっかりと築くもっとも重要な期間といえます。英語に加えて、第2外国語の授業もはじまります。高校では出会ったことのない新たな科目に心を躍らせながら、1年次から卒業後の進路や生活を考える時間もしっかり用意されています。特に1年次に意識しておきたいのは、2年次以降、どのような専門領域に進んでも必ず必要とされる基礎知識を、しっかりと自分の中に定着させるということです。重要な指定科目をはじめ、これまであまり関心を持っていなかった科目も含めて、幅広く学んで視野を広げることが大切です。



学生生活は自分たちでつくる!

学友会と学生自治



私たち学友会学生部会は学生自治の理念に基づき、行政政策学類に入学された皆さんの学生生活を少しでも豊かにするために活動しております。学類の「生徒会的立ち位置」が私たちだと捉えて頂けると幸いです。学類主催イベントの企画・運営やオープンキャンパスでの学類説明などが主な活動です。企画を一から考えていくので大変ではありますが、学類の皆さんに楽しんでもらった時にはやりがいや喜びを感じることができます。私たちと共に活動してみませんか?学友会室でお待ちしております!

地域社会と文化コース 2年 米倉 輝さん
[宮城県泉館山高等学校出身]

学生の自主的な活動

ウェブサイトはこちらから▶



合宿ガイダンスとシニター制度



シニターとは、行政政策学類の2年生を中心とした新入生サポート団体です。主に、新入生の履修指導や、新入生同士の仲を深めるためのイベントを企画・運営しています。キャンパス全体を知ってもらうとともに、スタートアップセミナー内の仲を深める「ウォークラリー」や、ゼミの垣根を越えた交流を目的とした「新企画」などを行っています。ぜひ、行政政策学類へお越しください。新入生の大学生活は、シニターが全力でサポートします。

地域政策と法コース 2年 石田 斗真さん
[盛岡市立高等学校出身]

新入生合宿ガイダンス

ウェブサイトはこちらから▶



2 年次

コース選択と
アクティブ・ラーニング

行政政策学類には、「地域政策と法コース」と「地域社会と文化コース」の2つのコースがあります。これらは「地域社会の課題に取り組み、よりよい地域社会に向けた新しい道を切り開く」といった目的に沿って設置されました。学生は、自らの関心に従ってコースを選択し、2年次(3セメスター)から研究に取り組みます。現代の地域社会が抱える課題は計り知れず、学生が興味を持つ研究テーマも無限にあります。そのため本学類では、学生一人ひとりの研究テーマに必要な講義を、コースの枠を超えて自由に受講することができる環境を整備しています。関連文献の検索、フィールドワークの計画と実施など、主体的に研究が進められるようになっています。



地域政策と法コース

地域政策と法コースにおいては、法学、政治学及び行政学を中心とした科目を履修していきます。その教育目標は、「新しい地域づくり」を目指し、①「法政治」及び「地域行政」にかかわる知識を総合的、多角的に身につけ、②国及び地域の課題を自ら発見し、必要な法令・判例や文献を紐解き、地域の調査に行ったりすることにより実情を十分に把握し、基本的なリテラシーを活用し、③市民としての政治参加、企業法務及び公務員としての政策形成などにあたり、国及び地域のさまざまな社会現象に対応する問題解決を、地域の諸主体とともに考え、社会貢献ができる、というような人材を養成することにあります。



主な専門科目

- 「現代政治論Ⅰ・Ⅱ」
(現代の政治の諸現象を考える際の基本的視点や方法を学ぶ)
- 「政治過程論Ⅰ・Ⅱ」
(政治・行政を動態的に学ぶ)
- 「行政学Ⅰ・Ⅱ」、「地方行政論」
(国と地方の行政について、歴史的・構造的な捉え方を学ぶ)
- 「国際政治論Ⅰ・Ⅱ」
(政治行政を国際的視点から学ぶ)
- 「憲法(人権)Ⅰ・Ⅱ」
(全世界の国民の平和的生存権に基づく人権について学ぶ)
- 「民法(不法行為)」
(私人間における損害賠償のルールと判例について学ぶ)
- 「刑法Ⅰ・Ⅱ」
(罪刑法定主義に基づき犯罪と刑罰について学ぶ)

「問題探究セミナーⅡ・Ⅲ」テーマ例

- 原発訴訟
- 医療問題を通して紛争解決と法の役割・機能を考える
- 交通事故の法律問題
- 災害と平時一住まいの観点からー
- 世界からみた日本の人権問題

「専門演習」テーマ例

- 憲法学の名著を読む
- 民法を使いこなす
- 労働問題・社会保障問題の法的な解決
- 高齢・障がい犯罪者の社会的包摂と権利擁護
- 原発事故からの避難と自己責任
- 復興行政の課題を探る
- 比較の視座で捉える日本の政策課題とその対策



地域社会と文化コース

地域社会と文化コースには、社会計画系の科目、社会学系の科目と、多様な文化研究系の科目（教育、歴史、ジェンダー、比較文化など）が置かれています。

このコースの大きな特長は、「新しい地域づくり」という課題に応えるために、社会学系の科目を基礎にすえつつ、社会や文化が直面している諸問題を地域に即して、歴史的にあるいはグローバルな視野から考えていく力をつけるために各科目が配置されていることです。こうした力を獲得すること——それは公務員／民間企業を問わず、これからの日本社会の担い手にとって必要不可欠なものです。また、このコースが提供する多様な学問領域や問題領域にわたる科目群は、皆さんの幅広い問題関心を受けとめる懐の深さがあります。自分の問題関心や将来の進路に合わせて時間割を組み、学修を主体的に進めていけるという魅力があります。1年次の学類基礎科目である「社会と文化の理論」と「社会学原論Ⅰ」が、「地域社会と文化」コースの導入的な科目です。2～4年次ではどのような科目を履修していけばいいのでしょうか？参考のために4つの分野を示し、説明します。

①「社会計画」分野を中心に学ぶ

まちづくりやコミュニティづくり、より良い地域環境の形成など新しい地域づくりに関連した科目や、高齢社会に対応した人々の基礎的なライフスタイルや社会福祉のあり方に関連する科目を配置しています。

主な専門科目

- 「社会計画論」
（社会計画的思考やその歴史と方法、望ましい計画のあり方などを学ぶ）
- 「社会調査論」
（計画づくりに不可欠な地域社会や住民生活の現状を、現地調査を通じて科学的に把握する方法を学ぶ）
- 「社会福祉論」
（高齢社会に対応した福祉社会・福祉政策のあり方、社会福祉の技術と方法について学ぶ）

②「社会学」分野を中心に学ぶ

激動する地域社会の動きや社会的な諸問題を総合的にとらえること、そしてそれらをよりよい方向に導いていくにはどうすればいいのかを追究することです。

主な専門科目

- 「社会と文化の理論」
- 「社会学原論Ⅱ」
- 「メディア論」
- 「社会学原論Ⅰ」
- 「地域社会学」

③「地域文化」分野を中心に学ぶ

地域社会の歴史や社会教育、ジェンダーといった問題を中心に学ぶことになります。

主な専門科目

- 「考古学」
- 「社会教育論（生涯学習論を含む）」
- 「古文書講読」
- 「文化史」
- 「ジェンダー論」
- 「古文書学実習」



④「比較文化」分野を中心に学ぶ

地域社会の国際化にともなってきた諸問題を解決するために、多文化を理解するとはどういうことか、多文化受容とはどうあるべきかを追究することです。

主な専門科目

- 「比較地域文化論」
- 「英語コミュニケーション」
- 「言語文化論」
- 「English Presentations」
- 「欧米文化論」
- 「中国語コミュニケーション」
- 「国際文化交流論」

「問題探究セミナーⅡ・Ⅲ」テーマ例

- 地域再生と関係人口
- 映画館とまちづくり
- 孤立を防ぐ
- 他者のジェンダーに関する経験を聴く
- 雑誌から見える社会の一面とその変化

「専門演習」テーマ例

- “食”と“エネルギー”から生産と消費のあり方と地域の自立を考える
- 都市の再生と住民による「まちづくり」ーコミュニティ・空間・計画ー
- 「吾妻鏡」を輪読する
- 社会教育と生涯学習をめぐる諸問題
- 多文化主義の過去・現在・未来ーオーストラリアと日本、そして、世界ー
- 物語から文化&社会を知るーフィクションと社会の影響関係の考察
- 支援・ケアの社会学

3年次 | 4年次

4年間の学びと経験の集大成 個性あふれる「卒業研究」を完成

すべての行政政策学類生は、卒業時に「卒業研究」を提出します。「卒業研究」は、4年間の学びと経験、学生生活の集大成ともいうべき大切なものです。その作成に向けて、どのような講義を受講するのか、また専門演習を履修して、どのような調査やインターンシップを実施するかなど、学びのプロセスを自分の手で計画し、作りあげていくことになります。たくさんの先輩たちもそうであったように、途中で困難な状況に遭遇した場合は、アドバイザー教員がサポートします。個々の問題意識やテーマに従い、個性あふれる卒業研究をまとめることが求められます。



センパイの学び

「全世界の国民の平和的生存権」から 3.11以後の人権保障を考える

金井ゼミ(憲法)に所属。
学生サークル「災害ボランティア」での活動などに取り組んできました。

3年次に選択した科目

- 憲法(人権)Ⅰ・Ⅱ
- 行政法総論Ⅰ・Ⅱ
- 民法(不法行為)(債権総論)
- 憲法(統治)Ⅰ・Ⅱ
- 刑法Ⅰ・Ⅱ

4年次に選択した科目

- 行政救済法Ⅰ・Ⅱ
- 地方自治法Ⅰ・Ⅱ
- 民法(債権各論)・(家族)
- 国際法Ⅰ・Ⅱ

卒研のテーマ

これからの震災に備えて
ー東日本大震災は何を残したのかー

メディアづくりを学び、 地方創生への活かし方を考える

佐々木ゼミ(情報社会論)に所属。
映像制作やローカルメディア分析を通して、自治体支援のあり方を研究しました。

3年次に選択した科目

- 演習Ⅰ・Ⅱ
- 福祉国家論
- 情報社会論
- 地域史Ⅰ
- 地域福祉論
- 国際公共政策論
- 地方政治論Ⅰ
- 言語文化論Ⅰ
- 国際政治論Ⅰ
- 行政救済法Ⅰ
- 欧米文化論Ⅰ

4年次に選択した科目

- 演習Ⅲ・Ⅳ
- 卒業研究

卒研のテーマ

クリエイティブディレクターと挑む地方創生

Students Message

在学生からのメッセージ

地域政策と法コース 3年〔福島県立橋高等学校出身〕 熊田 愛莉さん



福大での学びから
視点と夢が
広がります。

公務員になってまちづくりに関わりたいと考えています。自治体の仕事は法律と密接に関わるし、暮らしの身近なところに意外と法律があると知り、法コースを選びましたが、3年からは飯館村の復興に関わるゼミに入り、地域での活動にも力を入れたいと思います。
以前から地方と都市の格差や、なぜ都市に人が集まるのかに興味がありました。私は高校の頃に興味のあった「まちづくり」の視点から入りましたが、福大で学んで様々な視点から物事を見ることができるようになりました。視点が広がれば、夢や将来の選択の幅も広がると思います。

在学生からのメッセージ

地域社会と文化コース 3年〔新潟県立柏崎高等学校出身〕 上村 光さん

地元である新潟県柏崎市の自治体職員として地域発展に貢献できるよう、震災を経験した福島でしか学べない災害復興と地域再生について学んできました。なぜならば、故郷の柏崎とは原発が立地している点と中越沖地震で被災し、復興に取り組んできたという点で共通しているからです。これまで「むらの大学」や環境社会学を専門としているゼミでの活動を通して、地域社会の課題と環境問題の解決策、そうした実践やノウハウを活かした地域づくりについて考えてきました。行政・NPO・大学・地域等の連携や地域の主体になりうる関係人口の創出について、地域の中から学習できることは行政政策学類の一つの魅力だと思います。



こころの学びを
地元の自然や資源の
活用に生かしたい。

講義だけじゃない！行政政策学類 まなびのかたち

法律討論会



行政政策学類「地域政策と法コース」では、法律系ゼミによって法律討論会を開催する年度があります。専門的な知識と論理が必要とされる法律に関する問題を学生が中心となって立論を作成し発表・討論していきます。難題をゼミの議論を通じてみんなで考え、立論を作成して、上手く伝えて討論することなど、生きた学びを体験できます。

学生論文集

「嶺風(れいふう)」



嶺風編集委員会では、学生が中心となり、行政政策学類の学生論文集「嶺風」を編集・発行しています。「嶺風」には、学生が執筆した論文をはじめとして、エッセイ・小説なども掲載されています。大学での学びの場のひとつに「嶺風」はなっています。ぜひ、「嶺風」を手にとってみてください。



Twitterは
こちらから

地域は大学生のフィールドだ

社会福祉課題研究



現場で福祉を学ぶ科目です。私は介護老人保健施設で5日間の実習を体験し、介護の役割の広さを知りました。また利用者さんとの接し方など自らの課題を見つける力も身につけることができました。

考古学実習



実測図や拓本などの基本的技術を学んだ後、夏休み中に福島県内外の遺跡の発掘調査を行います。後期には発掘調査成果を報告書にまとめます。これらを通じ、考古学の専門職に就けるだけの知識・技術の習得を目指します。

行政政策学類 夜間主

「学び」と「仕事」の両立をサポート
専門的に社会と向き合いたい人へ

夜間主は、「大学で専門的な知識を得て、キャリアアップを目指したい」、「仕事と学生生活を並行して、社会経験を豊かにしたい」など、「働きながら学びたい」という願いに応えるために開設されました。学ぶコースは「地域政策と法コース」と「地域社会と文化コース」の2つ。2年次(3セメスター)への進学時に、それぞれの関心と目標に合わせて、どちらかのコースに進みます。卒業時に得られる学位は、それぞれ「学士(法学)」(地域政策と法コース)と「学士(社会学)」(地域社会と文化コース)。長期履修制度や放送大学の活用、昼開講の授業の受講など、行政政策学類夜間主は、「学び」と「仕事」を両立させるための柔軟なカリキュラムを用意して、皆さんの大学生活を支えます。



Point!

1

夜間開講の授業の履修を基本としながら、柔軟な単位取得を可能にするカリキュラム

行政政策学類の昼開講授業の履修、放送大学や資格試験を利用した単位取得、長期履修制度などを組み合わせ(受講数に制限あり)、それぞれの就労状況に合わせて柔軟に学生生活を設計可能です。

2

入学科・授業料は半額

これまでの「現代教養コース」同様、入学科や授業料等は、半額となっています。

3

2つのコースから選んで地域課題に学際的にアプローチ

2年次(3セメスター)から、それぞれの関心と目標にしたがって、「地域政策と法コース」もしくは「地域社会と文化コース」を選択します。

4

卒業時に得られる学位は「学士(法学)」,もしくは「学士(社会学)」

卒業時には「学士(法学)」もしくは「学士(社会学)」が授与されます。

5

アルバイト・パートのみなさんもチャレンジ可能!

入学する年の3月31日時点で年齢が22歳に達している人、もしくは、年齢が22歳に達していなくとも入試出願時に就職している人(主婦・主夫業も含みます)、就職が内定している人、または、入学後に就業しながら大学に通う意思がある人は、受験・入学することができます。

※就職・就業にはアルバイト、パート等を含み、「労働時間が週平均20時間以上のもの」に限ります。詳しくは募集要項をご確認ください。

地域政策と法
コース

卒業時に得られる学位 学士(法学)



こんな人に学んでほしい

- 1 公共部門の仕事に関心があり、法律の運用や政策形成について学びたい人
- 2 職業で法律の専門知識を必要とする人や、地域や市民の合意形成に関心のある人
- 3 まちづくりや地域の活性化に興味があり、とくに法や政策の視点から学びを深めたい人

主な専門科目

- 日常生活と民法
- 裁判と法
- 行政と法I
- 地方自治と法
- 現代の地方行政
- 地域行政政策論
- 現代の国際政治
- ほか、指定された放送大学の科目など

地域社会と文化
コース

卒業時に得られる学位 学士(社会学)



こんな人に学んでほしい

- 1 農山村や地方都市の生活実態を知り、地域の持続可能性を高める施策や計画に関心のある人
- 2 地域社会や歴史・文化に関心があり、公共部門やNPOなどで専門的業務に携わりたい人
- 3 法律の運用や政策形成に社会の実態や課題をよりリアルに反映させたいと考える人

主な専門科目

- 社会計画論
- 地域福祉論
- ジェンダー論
- 地域史
- 言語文化論
- 国際文化交流論
- メディア論
- ほか、指定された放送大学の科目など

在学生からのメッセージ

Students Message

高卒で小中学校の事務職員になり、定年間近になって心の隅にあった「大学に行きたかったな」という気持ちに気づき、主人も背中を押してくれたので、自分の生活に関わる法律を学べたらと思い入学しました。法律だけでなく、社会学全般幅広く学べる学部です。社会人になってからのほうが勉強はやりがいがあって楽しいですね。

仕事を持っている社会人学生は2割程度なので、私くらいの方々にもっと入ってきて欲しいと思います。若いクラスメイトたちも年齢にこだわらず接してくれますし、必死に勉強して単位を取っています。今後は資格取得にも挑戦していこうかなと思っています。

地域政策と法コース 3年 滝田 秀子さん

「学び直し」ではなく
初めての挑戦で
大学へ!

在学生からのメッセージ

Students Message

国公立大学進学を考え、進路担当の先生から薦められて夜間主を受験しました。夜間の授業はもちろん、昼開講授業も履修して勉強し、空いている時間はバイトを入れています。社会に出るための知識を蓄えたり、自分なりの考えを持って受ける授業は面白く、グループワークで意見を交わす機会もあります。

故郷の山形は、人口減少や高齢化などの地域問題の緊急性が日本の中でも高く、その問題の解決に向けた取り組みを自分なりに考えたり、教授やほかの学生と討論して深めていきたいと思っています。そして福島での取り組みを山形に持ち帰り、地域問題の改善・解決を考えるような仕事に就きたいと思っています。

地域社会と文化コース 3年【山形市立商業高等学校出身】 山田 純也さん

自分なりの
考えを持ち
授業に取り組む
面白さ



経済経営学類

Faculty of Economics and Business Administration



100年の伝統と実績をもとに次の学びへ
幅広い教養と経済・経営の専門知識を身につけ、
グローバルに活躍する人材を育成します。

学類紹介MOVIEを
チェック!



■ 経済学コース

・経済理論モデル / ・グローバル経済モデル

■ 経営学コース

・地域経営モデル / ・会計ファイナンスモデル

こんな人に学んでほしい

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身に付け、
現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし、
卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 経済学と経営学の専門知識
- エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- グローバルに思考し実践に進む力
- キャリアを見据え自立し協働する力



SHINING GRADUATES



社会で
活躍する
卒業生

Interview

東北電力株式会社 ビジネスサポート本部 経理部
経済経営学類 経済学コース 2021年卒業 **國分 菜々子さん**

お客様の顔の見える場所で インフラから暮らしを支えたい

福島大学では地域経済を学び、交通政策で街づくりを考えるゼミ
に属していました。バスを使って高齢者の生活をどう変えていくかな
ど、フィールドワークを通して解決策を考えていました。地域の方々に
アポイントを取って取材したり、考案した企画への協力・協賛をお願
いしたので、相当コミュニケーション力が鍛えられました。実際に社会
に出て役立つ能力が身に付いたと思います。

東北電力に入社したほとんどの方がそうだと思うのですが、震災
をきっかけにインフラの大切さを痛感しました。当時郡山で暮らして
いた私も、電気や水道が止まり、家族で県外の親戚のところに避難し



ました。そのインフラを維持することで地域を支える仕事がしたいと
思い、こちらに入社しました。現在は経理部で会社の損益予算を管理
するチームにいます。決算の数字が最初に見えてくる部署なので、会
社全体の動きが見える場所かもしれません。弊社には様々な部門が
あり、いずれは直接お客様と関わり、より地域に近い部署で働きたい
と思っています。

卒業後の 主な進路

- 国家公務員
一般職(経済産業省、国土交通省、農林水産省、金融庁など)
国税専門官、財務専門官、労働基準監督官など
- 地方公務員
自治体(福島県、宮城県、仙台市、福島市、郡山市、山形市など)
県警、消防
- その他公共機関・各種団体(日本年金機構、農業協同組合など)
- 金融機関
都市銀行(三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行など)
地方銀行(七十七銀行、東邦銀行、山形銀行、足利銀行、常陽銀行など)
保険(東京海上日動、第一生命、住友生命、日本生命、かんぽ生命など)
証券(野村證券、大和証券など)
大手政府系金融機関(日本政策金融公庫、農林中央金庫など)
- エネルギー(東北電力、北海道電力、東京ガスなど)
- 鉄道・航空・観光(JR東日本、成田空港、JTBなど)
- 製造業(クボタ、小松製作所、福島キャノン、キーエンスなど)
- 建設・不動産
(三井不動産レジデンシャル、住友不動産販売、積水ハウスなど)
- メディア(福島放送、テレビユー福島、福島民報、福島民友など)
- 情報通信(NTT東日本、NTTドコモ、富士通など)
- コンサルタント、マーケティングリサーチ(アクセンチュア、マクロミルなど)
- 専門職(商業高等学校教諭、公認会計士、税理士、社会保険労務士など)
- 大学院進学
東北大学、一橋大学、筑波大学、神戸大学、福島大学など

カリキュラムの特長

小集団学習をベースにした積み上げ式の教育体系

経済経営学類に入学したらまず全員が「リテラシー科目」を第1 Semesterから第3 Semesterまで学び、経済経営の基本を身につけます。そのうえで第4 Semesterから専門演習に所属し、それぞれの活動や研究を展開します。第7 Semesterから卒業論文をまとめていきます。この積み上げ式のカリキュラムによってグローバルな思考と実践力を養成します。

取得できる
教員免許・資格

● 高等学校教諭一種免許状(商業)



		1 年次 		2 年次 		3 年次 		4 年次 															
		第1セメスター		第2セメスター		第3セメスター		第4セメスター		第5セメスター		第6セメスター		第7セメスター		第8セメスター							
経済学・経営学の 基礎を修め 垣根を越えて学ぶ		リテラシーA（必修：7科目）												経済学コース		経済理論モデル							
		・入門マクロ経済学 ・入門政治経済学 ・入門経営学 ・簿記概論I				・入門ミクロ経済学 ・簿記概論II				・入門統計学													
リテラシー科目（A・B） 経済経営学類の学生に、まずは必ず学んでほしい基本的な科目が「リテラシー科目」です。リテラシーAの7科目はすべて必修で、リテラシーBの9科目はそのうちの7科目を自分で選択して必修としています。入学から1年半の間に、順番に履修することになります。		リテラシーB（選択必修：9科目中7科目）												経営学コース		地域経営モデル							
		・歴史と経済 ・基礎経営学I ・多文化理解				・ミクロ経済学I ・マクロ経済学I ・世界経済論I ・地域と経済 ・基礎経営学II ・入門会計学																	
これからの 「働き方と暮らし方」 を考える		・キャリア形成論														・キャリアモデル学習 ・ワーキングスキル				専門演習（ゼミ）、卒業研究演習 2年次の後半から、自分の学びたい分野、教わりたい教員のゼミを選んで所属します。本を輪読して討論したり、国内外へ調査に行ったり、地域の課題に実践的に関わったりと、その活動はさまざまです。その成果を卒業論文へとまとめていくことになります。経済経営学類での小集団学習の中核となるもの。その充実した内容とヴァリエティには自信があります。			
																・組織行動論		・労働経済					
		アドバイザー教員 スタートアップセミナー、問題探究セミナー、専門演習の教員が学習や進路など大学生生活全般のアドバイスをを行います。専門演習に所属しない学生は別途アドバイザー教員となる教員を決定します。														調査・分析スキルズ							
フィールドで学ぶ、 アクティブに学ぶ		・社会とデータ科学の基礎																					
		スタートアップセミナー		問題探究セミナーI		問題探究セミナーII		専門演習						卒業研究演習I		卒業研究演習II							
		・アドバイザー教員制度																		卒業研究※			
グローバルに学び 実践する		グローバル・エキスパート・プログラム（グローバルEP）																					
基盤教育		外国語コミュニケーション科目（英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・韓国朝鮮語）																					
		学術基礎科目（人文科学分野・社会科学分野・自然科学分野）				情報リテラシー		健康運動科学実習		スポーツ実習		問題探究科目		自主学修プログラム									
さらに幅広く学ぶ		自由選択領域（他コース専門科目、他学類開放科目など）																					

※優秀な卒業研究に対して「飯塚賞」を授与しています

飯塚賞とは、飯塚毅氏の同窓会への寄付金及び氏の栄誉を永く記念する「飯塚基金」の運用益金をもって毎年度の優秀卒業生を表彰するものです。



幅広い教養と経済・経営の専門知識を身につけ グローバルに活躍する人材を育成します

学類長 メッセージ

Message

先行きが不透明な時代を 「しなやか」に渡る術を修得

経済経営学類は、1922年に創立された福島高等商業学校の伝統を引き継いでおり、令和4年に100周年を迎えました。この間に卒業した同窓生は2万5千名を超え、経済界のみならず、各界で活躍しています。カリキュラムは経済学コース、経営学コース、コース横断的なグローバルエキスパートプログラムを中核としています。また、入学時から所属するスタートアップセミナーや語学系科目など、少人数で学ぶ科目が豊富に準備されているのが特徴です。現在の経済・経営の動向は、情報技術の急速な進展を伴うグローバル化によって、これまで以上に不透明になってきています。学生の皆さんには、このような世の中を「しなやか」に渡ってゆく術を身につけた人材に育っていただきたいと思います。



経済経営学類長 井上 健 教授

教員紹介 ※2023年4月1日現在

経済学コース

荒 知宏 (国際経済学)
石川 大輔 (マクロ経済学)
井上 健 (統計学、計量経済学)
岩本 吉弘 (社会思想史)
大川 裕嗣 (西洋経済史、ドイツ農業史・社会経済史)
菊池 智裕 (労働経済、社会政策、社会保障)
熊沢 透 (産業組織論)
佐藤 英司 (経済学【近代経済学】)
佐藤 寿博 (開発経済学、アジア経済)
佐野 孝治 (アジア経済論、中国経済論)
朱 永浩 (経済地理学)
末吉 健治 (アメリカ経済論)
十河 利明 (環境経済学)
沼田 大輔 (地域経済学、地方財政論、環境経済学)
藤原 通 (労働過程論、労働社会学)
三家本 里実 (都市・地域計画、地域交通政策、観光政策)
吉田 樹

経営学コース

稲村 健太郎 (租税法)
岩井 秀樹 (人的資源管理論、組織行動論、コミュニティデザイン)
遠藤 明子 (マーケティング)
奥本 英樹 (ファイナンス)
奥山 修司 (管理会計、原価計算)
奥田 尚信 (組織行動論)
金 善熙 (会計学【財務諸表論、原価計算論】、監査論)
下山 誠 (財務会計、企業評価分析)
根建 晶寛 (組織論、非営利組織論)
野口 寛樹 (地域づくり、住居学、都市計画)
村上 早紀子 (経営戦略、国際経営論、ビジネスイノベーション論)
尹 卿烈

グローバル・エキスパート・プログラム

伊藤 俊介 (朝鮮近代史)
井本 亮 (日本語学、現代日本語文法、日本語教育)
吉高 伸明 (国際公共政策論、国際関係論)
クズネツォーフ・マリナ (社会論)
グンスケフォンケルン・マルティナ (外国語教育法)
佐々木 俊彦 (英文学、カルチュラル・スタディーズ)
手代木 有見 (中国近代思想史)
福富 晴之 (理論言語学、比較統語論)
マッカーズランド・フィリップ (英語教育法【異文化コミュニケーション】)
吉川 宏人 (十九世紀ロシア文学)

詳しい
経歴は
こちら



活動
PICK UP!

ERE (経済学検定試験)



学生有志が、ゼミの枠を超え学習組織を立ち上げ、ERE(経済学検定試験)の勉強会を開いています。EREとは、経済学の基礎知識と初歩的な応用能力のレベルを判定する全国規模の検定試験で、多くの大学が大学院試験で取り入れています。勉強会では、学生同士が議論を重ねて問題の理解を深め、ERE大学対抗戦でも成果を上げています。学生が主体なので、知識のみならず、自主性を身につけるよい機会となっています。また、公的機関や金融機関の方々からお話を伺う企画を立てるなど、活動の範囲を広げています。経済学に向きあうことを通して、知識を深め、社会経験を積む、絶好のチャンスです。

海外インターンシップと 「Work Experience Abroad I・II」

本学類では、年間を通じた教育プログラムとして海外インターンシップを提供しています。まずインターンシップに先立ち、身につけておくべき文化や技術をネイティブスピーカーの教員から英語で学ぶ授業があります(WEA I)。そして8月から9月の約2ヶ月間、米国テキサス州ヒューストン市役所でインターンシップに参加します。職場体験だけでなく、現地の大学(University of St. Thomas)で福島について発表するなどの機会もあります。帰国後は各自の体験を英語で報告する授業が用意されており、学びをさらに深めることができます(WEA II)。



まちづくりのためのフィールドワーク

地域経営モデルでは、机上の学習に留まらず、実際にフィールドに出向くことで地域課題に取り組む点が特徴です。村上ゼミでは、空間の再編集および利活用、コミュニティビジネスなど地方都市が抱える課題をキーワードにしながら、地域の住民の皆さんや、まちづくり会社をはじめとした地域組織との議論および連携により研究活動に励んでいます。



“会計人”を目指したプログラム

2019年度より開始した「会計エキスパート・プログラム」では、会計専門職や経理財務担当者、高校教諭や研究者など、多様な“会計人”を目指した主体的な学修を支援する体制を整えました。系統的な学修、所定の検定試験への合格、一部の大学院授業の履修などの基準を満たした学生に「会計エキスパート・プログラム修了証」を授与しています。学類棟1階には専用の自習室を設けているので、意識の高い仲間とともに緊張感を持って学修に取り組んでください!





経済学コース

経済理論モデル / グローバル経済モデル



主な科目

- ミクロ経済学
- 政治経済学
- 公共経済学
- 産業組織と規制の経済学
- 国際経済学
- 世界経済論
- 経済学史
- マクロ経済学
- 財政学
- 労働経済
- 計量経済学
- 国際関係論
- アメリカ経済論
- 日本経済史
- 入門金融論
- 経済政策
- 環境経済学
- 日本経済論
- 開発経済学
- アジア経済論
- 比較経済史

経済学コースでは、経済社会の課題はもちろん、

歴史と現在、そして未来を考えるために、各教員が連携、協力し合い、研究と教育を進めます。

学生の皆さんにとっても、科目が選びやすくなり、

経済社会をより多角的に理解できる環境が整っています。

経済理論モデル

「物価が下がってきている」「株価が上昇している」「人手不足が深刻になりつつある」といった経済事象について、その背景にある要因を探ったり、適切な対応方法を選択したりするためには、経済理論の理解が不可欠です。これまでに積み重ねられてきた経済理論をその歴史的な経緯も含めて体系的に理解し、現実の経済問題に適應することができる人材の育成を目指します。



グローバル経済モデル

Think Globally, Act Locally. グローバリゼーションが進む現代では、地域で活躍する場合でも、世界的規模で考え、分析することが必要です。国際経済学などグローバルな視野に立った経済学・経営学をはじめ、欧米やアジア地域を対象とした科目を学んだうえで、グローバル・エキスパート・プログラムで実践的語学力を身につけることで、グローバル人材育成を目指します。



経営学コース

地域経営モデル / 会計ファイナンスモデル



主な科目

- 経営戦略論
- 人的資源管理論
- 地域企業経営論
- 国際経営論
- 経営情報分析
- 中級簿記
- 原価計算
- 経営組織論
- マーケティング論
- 地域経済論
- 調査法
- 財務管理論
- 上級簿記
- 管理会計
- 組織行動論
- 消費者行動論
- 地域政策論
- 租税法
- 現代ファイナンス
- 財務諸表論
- コスト・マネジメント

経営学コースでは、非営利組織(自治体、NPOなど)も対象としながら、

より幅広い視点で経営現象をとらえます。

特に地域経済と経営、会計とファイナンス(金融)について、

基礎を修めながら垣根を超えて学ぶことができるのが特徴です。

地域経営モデル

少子高齢化や人口減少は現在の日本社会全体が抱える課題ですが、とりわけそれが著しいのが地方都市です。そこで地域経営モデルでは、いわば「課題先進地域」といえる地方都市をフィールドに、経営分野と地域経済分野について重点的に学びます。これによって、マネジメントと地域振興の視点を併せ持った人材の育成を目指します。



会計ファイナンスモデル

企業活動の結果を分析し、将来に向けて適切な経営意思決定を行うためには、会計情報を活用する知識の習得が不可欠です。会計ファイナンスモデルでは、外部報告のための財務会計、経営管理のための管理会計、財務管理のためのファイナンス手法を体系的に学習し、会計数値を経営行動に活用できる人材の育成を目指します。



在学生からのメッセージ

Students Message

〔 経済学コース 〕



経済経営学類 経済学コース 4年〔岩手県立不来方高等学校出身〕

高橋 音羽さん

高校で英語に力を入れてきたので、大学では英語＋アルファを学びたいと思い、テキサス州でのインターンシップもあると知り福島大学を選びました。基本的な経済学だけでなく地域の課題や、アジアやアメリカ経済など幅広く学べます。

3年のゼミでは、東南アジアの開発経済学を学びました。海外研修でシンガポールとマレーシアに行き、福島県産品の輸出可能性について探ってきました。マレーシアでは企業を訪問して福島県産品の現状についてお話を伺ったり、現地の大学生に日本食や日本への観光、福島原発事故についてどのくらい知っているかなどをインタビューしました。そこでも英語は役立ちましたし、＋アルファが学べていると思います。将来は、社会貢献ができる仕事で活躍する人材になりたいですね。

〔 経営学コース 〕



経済経営学類 経営学コース 3年〔栃木県立宇都宮南高等学校出身〕

小林 賢征さん

経済経営学類は2022年に創立100周年を迎えた伝統があり、OBも多く就職にも強いと考え福島に来ました。将来は企業の経理部門で働きたいので、会計に重点を置いて学んでいます。普通高校出身なので会計の知識はなかったのですが、リテラシーAで取った簿記の授業が大変わかりやすく、資格も取ることが出来ました。租税法のゼミで小学生に税金について教えるカルタを作り、市内の小学校の学童で試したりもしました。

入学当初はコロナ禍で授業がオンラインになったり、サークルもできない時期がありましたが、逆に勉強する時間がありました。会計のエキスパートを目指しながら、最終的には税理士になりたいと思っているので、福島大学での学びを土台にして、社会に出てから実戦経験を積んで勉強を続けたいと思います。

コース横断プログラム

グローバル・エキスパート・プログラム(グローバルEP)

中国、韓国、ロシア、ドイツ、米国出身の教員を擁する経済経営学類。異なる国籍、文化的背景を持つ人々の中で他者に共感しつつ、自らの周りの諸課題を地球規模で考える。これが経済経営学類の目指す国際性です。グローバルEPには、学生が海外に飛び立てる、また福島で外国人留学生と交流できる特色ある授業があります。少人数の英語ゼミに所属し、英語で発表する、議論するなど、実践的な英語力を磨いていきます。また日本語、英語とともに、欧州評議会が提案している複言語主義に基づき、英語以外の外国語を学び、三言語の運用能力の向上を目指します。身につけた語学力を武器に、留学、海外調査、海外インターンシップなどさまざまな異文化体験を積むことができます。

Step out of your comfort zone! 成長を望むなら「快適な空間から飛び出なさい」という意味です。このプログラムは、あなたがその一歩を踏み出す一助となるはずです。ぜひ福島で世界を感じ、世界とコミュニケーションしましょう。



Fukushima Workshop

世界各国の協定大学から短期で来日する留学生と、東日本大震災の被災地を訪問したり、市内の農家で桃狩りなどをしつつ交流を深めるFukushima Workshop(Fukushima Ambassadors Program)を開講しています。

ドイツ語実践演習／ロシア語実践演習

ドイツやロシアに渡航し、語学研修を受けます。同時に現地の小学校を訪問、幼児教育の現場を視察、少数民族の村を訪れるなど、さまざまな社会的・文化的なエクスカッション(小旅行)に参加します。

毎日英語

「毎日英語」として英語授業を毎日受講できます。ネイティブスピーカーの英語による授業も選べます。

Work Experience Abroad (WEA)

米国テキサス州の最大都市ヒューストンに2ヶ月間ホームステイし、現地の企業や市役所で実務研修を受けます。研修で使用する言語はもちろん英語です。研修期間が終了する頃には、英語力が飛躍的に向上すると評判です。

海外調査

中国、タイ、ベトナム、ミャンマーなどのアジア地域やドイツなどのヨーロッパ地域に渡航し、現地の企業活動や社会問題に関する調査を行い、同時に現地のさまざまな文化に触れることのできる授業です。

○調査・分析スキルズ

さまざまな意思決定の場において、経験に基づく判断のみでは対応できない状況が生じています。そこで、必要となるのが、データに基づく判断です。まずは、課題を正しく把握したうえで、その課題の解決に向けた計画を立てる必要があります。計画の中では、適切な調査のやり方、収集するデータの種類などについて丁寧に確認していくことが要求されます。調査の実施後、集まったデータを適切に処理し、そこから具体的な解決方法を見つけていきます。このようなデータに基づく意思決定を行うための方法を習得するために、「調査設計を身につけるための科目」「データの分析方法を身につけるための科目」の2種類の領域についてさまざまな科目を開講しています。また、それらの科目の中では、データの処理に不可欠となるコンピュータによる処理方法についても学んでいます。



○コーオプ演習／連携講義

企業や業界団体など、さまざまな外部組織と提携した実践的な科目を多数揃えています。演習形式の「コーオプ演習」と講義形式の「連携講義」があります。コーオプとは「cooperative(協同の)」のことで、外部組織と大学が協同運営する新しい演習形態です。短期のインターンシップでは得られない、実践的な課題解決を体験することができます。連携先には、アクセンチュア(コンサルティング会社)、自治体、NPOなどがあります。一方、連携講義は、連携先の外部組織が講義を担当するもので、現実のケースを通じて専門的な内容を学ぶことができます。租税法概論(東北税理士会)、証券市場論(野村證券)、財務諸表監査(日本公認会計士協会東北会)などがあります。



共生システム理工学類

Faculty of Symbiotic Systems Science



理学・工学・人文社会科学を融合した学びにより、
現代社会や地域の問題を「システム」的に解決できる
実践的経験を持つ「理工」系人材を育成します。

学類紹介MOVIEを
チェック!



■ 数理・情報科学コース

■ 生物環境コース

■ 経営システムコース

■ 地球環境コース

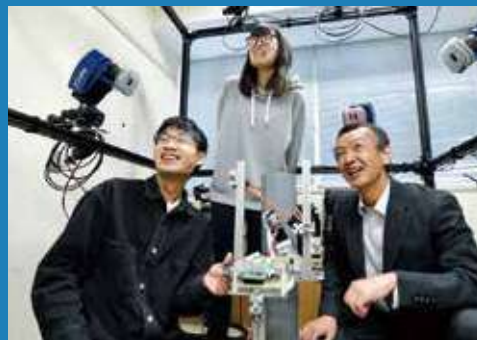
■ 物理・システム工学コース

■ 社会計画コース

■ 物質科学コース

■ 心理・生理コース

■ エネルギーコース



こんな人に学んでほしい

共生を科学する新しい教育・研究システムのもとで、
卒業までに次の4点を身につけたい学生を受け入れます。

- 幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- 論理的で的確な立案力と決断力
- 学際的・国際的に実践する力
- 積極的かつ持続的な貢献意識

SHINING GRADUATES



社会で
活躍する
卒業生

Interview

福島市小鳥の森 レンジャー NPO法人 野鳥の会ふくしま
共生システム理工学研究科 博士前期課程 環境システム分野 2015年修了

増淵 翔太さん

福島 naturally 生きものたちの魅力を伝えたい。

「福島市小鳥の森」では環境教育と環境保全を柱としており、小学校などの団体利用の対応や、小学校を訪問して小鳥や自然の話をしたり、来園される方向けのイベント企画や自然についてお伝えしています。

大学2年の時に福島市内の川で水生昆虫の調査をする授業があり、子どもの頃に昆虫好きだった気持ちにスイッチが入り、昆虫の研究をしている研究室に入りました。卒業研究では裏磐梯の湖沼群に生息する底生動物相、大学院ではその過程で確認された未記載種のカゲロウの形態学、生態学的研究を行いました。大学では先生方に恵まれ、ほかの分野の先生方との交流も刺激になりました。今でも研究室



の先生に声をかけていただき、福島県内の昆虫や鳥類に関する情報提供などのお手伝いをしています。

虫や鳥に興味を持ってきて、5歳の時からここに通ってくれている子が小学4年生になりました。これからも生きものの楽しさや魅力を伝えて、自然好きな人たちを増やしていきたいと思います。

卒業後の 主な進路

- 大学院進学(福島大学大学院、他大学大学院)
- 情報通信・ソフトウェア関連企業の技術者・研究者
- 家電・自動車・住宅関連企業や医療・福祉関連企業及び制御機器メーカーの技術者・研究者
- 化学・エネルギー関連企業の技術者・研究者
- 製造業・流通関連企業の技術者・研究者・技術経営管理者
- 水・環境・防災・建設関連企業の技術者・環境管理者・環境計量士

- 学芸員(科学館、博物館など)
- 国家・地方公務員(技術職 環境・土木・林業等、一般職)
- 中学・高校教員(理科・数学・情報・技術・工業)

カリキュラムの特長

異分野の専門家と協働できる人材を育成するために

1年次では数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミングなどを幅広く学び、2年次からは9つの専門コースに分かれて深く学びます。3年次後期からは研究室に配属され、各コースで学んだ知識を基に新しい知識を生み出す研究のプロセスを、教員や大学院生による指導・助言のもとで体験します。ここでは、自分と異なる分野の専門家と適切な討論を行えるようになることも重視されます。

取得できる
教員免許・資格

- 中学校教諭一種免許状
(理科/技術/数学 ※1)
- 高等学校教諭一種免許状
(理科/工業/情報/数学 ※1)
- 学芸員資格
- 公認心理師 ※2

※ 1 ※数学については他学類で開講されている授業科目の単位を修得することにより取得できる免許状。
※ 2 心理・生理コースに所属し、必要な科目の単位を修得したのち、
大学卒業後に公認心理師受験資格取得のカリキュラムを有する大学院への進学または認定施設での実務経験に従事することにより、
公認心理師の受験資格が得られます。実習先の受け入れ可能数を超える場合には選考することがあります。

資格試験受験の補助制度

福島大学共生システム理工学類後援会が、1～4年生を対象に行っている補助制度があります。

- 資格試験1種類につき3,000円を補助
(3,000円以下の場合は半額補助)
- 年度が変われば、同じ試験を再受験可能
- 種類が異なれば年間何回でも補助可能

1年次		2年次		3年次		4年次	
学びの目標		理工系の基礎科目を学ぶとともに、諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養う		コースを1つ選択して専門領域を深く学ぶ		より踏み込んだ学びを展開し、専門的な知識を得。知識・技能を深化させる	
専門教育		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター
1年次で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング基礎などの理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。		学類基礎科目 ・共生の科学 ・数学 ・物理学 ・化学 ・生物学 ・地球科学 ・プログラミング基礎		2年次の前期(第3セメスター)から専門領域名を冠した9つのコースの中から1つを選択して専門領域を深く学びます。		3年次の後期(第6セメスター)からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。	
		数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース		2年次よりコース所属 ・集合と位相I ・計算機システム論 ・経営工学 ・製品開発概論 ・材料力学 ・機構学 ・物理化学 ・有機化学 ・熱力学 ・基礎物性物理 ・生物多様性概論 ・生態学基礎 ・地質学概論 ・気象学 ・社会計画概論 ・サウンドスケープ ・心理学概論 ・心理学研究法 ・アルゴリズムとデータ構造I ・データベースシステム ・生産管理概論 ・循環型産業論 ・電気回路 ・計測工学 ・無機化学 ・生化学 ・化学工学 ・資源・エネルギー工学 ・環境微生物学 ・環境保全論 ・流域水文学 ・水循環システム学概論 ・環境計画論 ・都市計画概論 ・脳神経科学 ・生体システム実験(心理学実験)		3年次後期に研究室配属 《ゼミナール》演習・卒業研究 ・ネットワークシステム ・プログラミングⅢ ・経営システム演習I ・経営データの科学 など ・物理学実験 ・機械・電気工学実験 など ・化学実験I など ・環境衛生科学 ・機械・電気工学実験 など ・保全生物学実験 ・森林生態学 など ・地球環境科学実験 ・水循環システム学 など ・社会情報分析 ・社会計画演習I など ・基礎心理学I(学習・言語心理学) ・基礎心理学II(神経・生理心理学) など	
基礎教育		・スタートアップ科目 ・ライフマネジメント科目 外国語コミュニケーション科目					
教養領域	学術基礎科目	健康・運動科目	情報科目				
	外国語科目						
問題探究領域			キャリア設計科目				
		問題探究セミナー					
自由選択領域		問題探究科目	自主学修プログラム				
他学類の科目		海外演習					
指導体制		1年次～3年次前期までは、グループアドバイザー(教員)が生活と修学の指導を行います。3年次後期から研究室に配属され、研究室の指導教員が演習や卒業研究を指導します。					



横断的に複数の分野で学問のおもしろさを学んで

自分の目指す専門分野を絞り込み知識を増やす。

学類長 メッセージ

システム科学を 志向しよう

Message

カーボンニュートラル、グリーンリカバリー、グリーンウォッシュ、グレートアクセラレーション、プラネタリーバウンダリーズ、これらは地球環境に係わって見聞きする用語で、地球温暖化の問題に行き着きます。複雑で、単純には解決にたどり着けない21世紀の社会が抱える課題はこの他にもありますし、我々人類の様々な活動と関わりがあります。

共生システム理工学類では、このような21世紀的課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた理工系人材を育成することを教育目標としています。理工系人材に期待されているのは、データや論理に基づく丁寧な説明力と判断力であったり、卓越する技能や実践力です。皆さんは、21世紀的課題あるいは学問的興味にどのような専門性を備えて取り組みますか。専門性を磨くと共に、広い視野をもちシステムとして物事を捉える思考が諸課題の解決に欠かせません。

大学入学はゴールではなく、スタートです。皆さんと知的な創造活動を楽しみ、時には熱く、時には苦しくとも、最後までお付き合いします。



共生システム理工学類長 長橋 良隆 教授

教員紹介 ※2023年4月1日現在

数理・情報科学コース

内海 哲史（情報ネットワーク）
笠井 博則（非線形偏微分方程式論、応用数学）
神長 裕明（ソフトウェア工学）
篠田 伸夫（情報科学、情報教育）
中川 和重（非線形解析）
中村 勝一（データ工学、教育工学、HCI）
中山 明（オペレーションズ・リサーチ、応用数学）
藤本 勝成（非加法的集合関数、知能情報学）
三浦 一之（アルゴリズム論、グラフ理論）

経営システムコース

石岡 賢（技術経営、製品開発戦略、マーケティング戦略）
石川 友保（ロジスティクス、オペレーションズ・リサーチ）
寛 宗徳（経営工学、教育工学）
董 彦文（経営情報システム）
西嶋 大輔（環境システム分析、環境経済学）
樋口 良之（経営工学、資源・廃棄物に関わる計画、管理、評価）

物理・システム工学コース

岡沼 信一（電気工学）
衣川 潤（ロボット工学）
島田 邦雄（流体工学、エネルギー工学）
高橋 隆行（ロボット工学、制御工学）
田中 明（医用工学）
馬場 一晴（素粒子の宇宙論）
二見 亮弘（生体工学）
山口 克彦（物性物理学、放射線科学）

物質科学コース

猪俣 慎二（無機化学、有機金属化学）
大橋 弘範（物理化学、X線・線分光学）
大山大（合成化学、金属錯体化学）
杉森 大助（生物学）
高貝 慶隆（分析化学、分離化学、分子機能学）
高安 徹（有機化学、構造有機化学）
中村 和正（材料工学、材料物性、材料分析）

エネルギーコース

浅田 隆志（環境衛生科学、バイオマス資源学）
生田 博将（無機固体化学、固体電気化学）
佐藤 理夫（化学工学、製造・エネルギープロセス）

生物環境コース

兼子 伸吾（保全生態学、分子生態学）
木村 勝彦（植物生態学、年輪年代学）
黒沢 高秀（植物分類学、生態学、地域の植物相）
堀 忠顕（昆虫の比較形態学、地域の昆虫相・カニムシ相）
難波 謙二（環境微生物学）

地球環境コース

川越 清樹（河川工学、水文学、防災工学、環境影響評価）
柴崎 直明（地下水盆管理、水文地質学、応用地質学）
長橋 良隆（地質学、火山地質学、第四紀地質学）
横尾 善之（流域水文学、水資源工学）
吉田 龍平（気象学、応用気象学）

社会計画コース

川崎 興太（都市計画、まちづくり）
後藤 忍（環境計画、環境システム工学）
永幡 幸司（サウンドスケープ）

心理・生理コース

小山 純正（神経生理学、睡眠生理学）
高原 円（精神生理学、睡眠科学）
簡井 雄二（実験心理学、神経科学、災害心理学）

1 年次 基礎となる教育に力を入れ、 将来も考える

共生システム理工学類は、「共生」をテーマに現代社会や地域の問題をシステム科学的にとらえ、解決できる理工系人材の育成を目指しています。そのため1年次では、基盤教育に加え、数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング、共生の科学といった専門教育の基礎となる科目に力を入れます。幅広いジャンルの学問にふれ、実践的・体験的な学びを通して、自分の将来を見つめる視点も養います。

共生システム理工学類 履修基準表

	領域区分	科目区分	開設科目等	履修 年次	セメスター	1科目 単位数	卒業要件 必修	卒業要件 選必	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー 社会とデータ科学の基礎	1	1	2	2	／	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論 健康運動科学実習	1	1	2	2	／	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	1～	1	4	／	
		学術基礎科目	人文科学分野の科目 社会科学分野の科目 自然科学分野の科目	1～	1～	2	2	7	
	キャリア設計科目	キャリアモデル学習	2～	3～	2	2			
	健康・運動科目	ワーキングスキル スポーツ実習	2～	3～	1又は2	／			
	外国語科目	英語BⅠ・BⅡ	2～	3～	1	4			
		応用英語	1～	1～	1				
		英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1～	1～	1				
		英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1～	1～	1				
	情報科目	英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	2～	3～	1				
		情報科目	情報リテラシー	1～	1～	2	／		
		問題探究領域	問題探究科目		1～	1～	2		2
			自主学修プログラム		1～	1～	1又は2		／
	問題探究セミナー		問題探究セミナーⅠ	1	2	2	2		／
							小計		34
	専門教育	学類共通領域	学類共通科目		1	1,2	2	4	／
			学類基礎科目	学類基礎科目A 学類基礎科目B 学類基礎科目C	1	1,2	2	8	／
			1	1	2	／	4		
コース領域		学類専門科目	共生の科学Ⅲ	1	2	2	／	4	
		コース基礎科目（必修）		3	5	2	2	／	
		コース専門科目（選択必修）		2～	3～	2	16	／	
演習 卒業研究		コース実践科目	問題探究セミナーⅡを含む	2～	3～	2	／	24	
		演習	演習Ⅰ・演習Ⅱ	2～	3～	1又は2	6	4	
		卒業研究	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	3,4	6,7	2	4	／	
						小計	80		
自由選択 全体	自由選択領域					10			
総計						124			

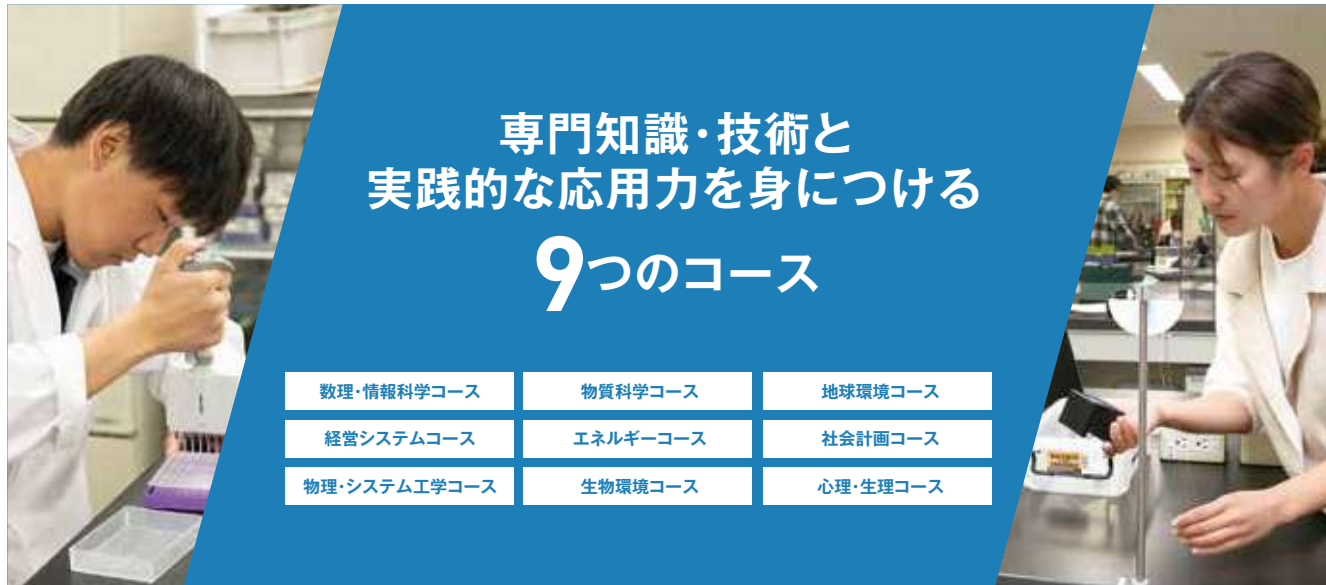
共生システム理工学類専用

放射線科学専修プログラム

- ☒ 自分の能力を伸ばしたいという意欲のある学生のために、共生システム理工学類では放射線科学専修プログラムを準備しました。これを修得するのは決して容易ではありませんが、ぜひチャレンジしてみてください。

本プログラムは、原子力発電所災害をきっかけとして関心が高まった放射線について、科学的に理解し対応することのできる人材の育成を目指したものです。このプログラムでは「放射線取扱主任者」資格レベルの放射線科学に関する専門領域科目について、単位取得を課しています。プログラム修得に必要な単位を修得することにより、「放射線科学専修プログラム修了」の認定を受けることができます。「第2種放射線取扱主任者」資格レベルの基礎を養うことを目的としており、3年次以降に同資格試験を受験することを推奨しています。そのため、プログラム参加者には正規の授業科目以外にも実力を養成するための研修会などへの参加を機会に応じて呼びかけます。また、より高度な「第1種放射線取扱主任者」資格に挑戦したい場合には別途に演習指導を行います。





専門知識・技術と 実践的な応用力を身につける 9つのコース

数理・情報科学コース	物質科学コース	地球環境コース
経営システムコース	エネルギーコース	社会計画コース
物理・システム工学コース	生物環境コース	心理・生理コース

数理・情報科学コース



数理科学・数学、情報科学領域の知識を体系的に学び、高度情報化社会におけるデータ分析やシステム構築に貢献できる人材を育成します。

現代の複雑な社会・自然現象を解明するためには、数学的モデル化、シミュレーション、分析が必要です。また、発展・変化の著しい高度情報化社会に対応するためには、情報システムの設計・開発・運用を行える実践的能力も求められています。本コースは、数学・数理科学と情報科学を見渡したカリキュラムを備え、いずれかを専門とする学生も隣接領域への視野と実践・応用力を養うための学習・研究を行います。

- ①さまざまな分野で利用される基礎的な数学の知識と運用能力の修得。
- ②多様な現象を、モデル化・抽象化・記号化・構造化・手続き化し、データの分析・活用を行う能力の修得。
- ③計算機やコンピューターネットワークの仕組みを理解し、ソフトウェアシステムを設計・実装・運用する能力の修得。

主な専門科目

- 基礎解析学Ⅰ～Ⅲ
- 線形写像と幾何Ⅰ・Ⅱ
- 離散数学
- 情報科学概論
- 計算機システム論
- プログラミングⅠ～Ⅲ
- データベースシステム
- ソフトウェア設計開発論 など

経営システムコース



経営の諸問題を体系的に整理し、個々の課題をシステムとして捉え、工学的手法を活用して解決策を提示できる人材を育成します。

企業等の経営効率化のために、工学的手法(IE)とマネジメント手法(MOT)を学びます。例えば、企業経営では、製品開発、生産、流通、サービス等の活動を、計画、実施、評価、改善、マネジメントします。現在直面していたり、将来起こる可能性のあるさまざまな経営諸問題に対して、俯瞰した確な解決策を提示できるように学習・研究します。

- ①企業経営の効率化に向けた経営工学(IE)と技術経営(MOT)に関連する幅広い基礎知識。
- ②経営システムの問題を発見する能力と、問題を論理的に解決する能力。
- ③企業が属する産業・社会の諸問題に対して工学的手法で解決策を導く実践力。

主な専門科目

- 経営工学
- 製品開発概論
- 生産管理概論
- 経営のデータ科学
- 循環型産業論
- 流通管理概論
- オペレーションズ・リサーチ
- 産業・社会調査法 など



物理・システム工学コース



物理や機械・電気工学に関する基礎知識の修得を基に、さまざまな分野で役立つ“技術”や“システム”の創出を担うエンジニアを育てます。

このコースでは物理や機械・電気・情報工学に関する基本的な知識の修得をベースとして、社会に役立つ新たな“技術”、“システム”の創出を担う研究者・開発者を育てます。学修・研究分野として、物理、機械、電気といった基本分野のほか、モデリングや数値シミュレーションを駆使して、サイバネティクス、福祉・医工学、知能ロボットなどの人と工学とが融合した分野も対象としています。

- ①物理を基本とする工学的知識の理解。
- ②物事・人・現象などをシステムとみなしてモデル化する方法の理解と応用。
- ③人の生活に役立つものづくりのための設計と製作技術の修得。

主な専門科目

- 材料力学
- 機構学
- 電気回路
- 計測工学
- 物理学実験
- 機械・電気工学実験
- 数理モデリング
- 量子力学 など



物質科学コース



化学を基盤とする物質・材料関連分野について、さまざまな講義や実験を通して体系的に学び、先進的「ものづくり」に貢献する人を育てます。

現代社会の高度な技術には、さまざまな先端材料が使用され、それらは化学技術によって支えられています。物質科学コースでは、化学を基盤とした物質科学や分子設計、バイオ等に関する学びができます。多くの化学実験を通じた実践的な教育や先端的な研究に取り組みます。また、産官学による連携研究も多く、先進的な化学系人材を育成します。

- ①化学技術そして化学工業を支える基盤的学問である化学の基礎知識の体系的な修得。
- ②化学の基礎とともに物質科学や材料工学の基礎も学び、社会における諸課題を多角的に理解・分析する能力の修得。
- ③社会における諸課題を解決・解明するための基本から応用までの化学実験技術の修得。

主な専門科目

- 物理化学
- 無機化学
- 分析化学
- 機器分析
- 有機化学
- 生化学
- 化学実験Ⅰ～Ⅲ など



エネルギーコース



持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育てるため、エネルギー資源の状況と省エネ・創エネ・蓄エネの技術を幅広く学びます。

原子力発電所事故は福島に大きな被害を与えました。地球温暖化を招く化石エネルギー資源に、過度に依存することも許されません。持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育てるため、本コースではエネルギー資源の状況と省エネ・創エネ・蓄エネの技術とを幅広く学び、エネルギーを切り口に科学技術・社会構造・経済構造の在り方を考えます。

- ①エネルギー関連技術の基礎知識。
- ②地球環境や地域産業を視野に入れて将来のエネルギーのあり方を考える力。
- ③解決策を提案し、自らの行動できる力。

主な専門科目

- 熱力学
- 基礎物性物理
- 化学工学
- 資源・エネルギー工学
- 環境衛生科学
- 機械・電気工学実験
- エネルギー資源調査Ⅰ・Ⅱ など



生物環境コース



生物学の基礎学習と、多様な実験・野外実習科目による実践で、生物保全や自然史について理解を深め、企業、自治体、教育現場で総合的に活躍できる人材を育成します。

生態学、形態学、発生学、分類学、遺伝学、微生物学など生物学の基礎を学び、多様な実験・野外実習科目で実践力をつけます。研究室では環境保全・生物保全などの応用にも取り組みます。環境や生物多様性の調査や保全、遺跡出土物の分析など、地域や社会への貢献を意識した教育・研究に力を入れるのもこのコースの特色です。

- ①さまざまな分野で利用される生物学・環境学の基礎的な知識。
- ②多様な生物やそれを取りまく自然環境を調査する実践力を、多彩で豊富な実験や野外実習で修得。
- ③環境保全・生物保全など社会への貢献を意識した調査・分析の経験。

- | | | |
|--------|-----------|--------------------|
| 主な専門科目 | ● 生態学基礎 | ● 保全遺伝学 |
| | ● 生物多様性概論 | ● 森林生態学 |
| | ● 環境微生物学 | ● 保全生物学実験 |
| | ● 環境保全論 | ● サイエンスライティング演習 など |



地球環境コース



地球科学とその応用分野を基礎から学び、複雑な自然現象を多面的に思考する素養を養います。自然災害や各種の環境問題へ実践的かつ技術的に対応できる人材を育成します。

地球誕生以来の長い時間を経てつくられてきた地球環境は、ここ数百年間の人間活動により急激に変化しています。このコースでは、地球環境を構成する地形・地質・気象・水循環などを基礎から学び、日本や世界で発生する自然災害の予測や防災、人間活動が地域や地球全体の環境に及ぼす影響の解明につながる研究へと発展させます。

- ①地球環境を構成する地形・地質・気象・水循環の理解。
- ②日本や世界で発生する自然災害の予測や防災対策への活用。
- ③人間活動と地球温暖化が地域や地球全体の環境に及ぼす影響の解明。

- | | | |
|--------|---------|---------------|
| 主な専門科目 | ● 地質学概論 | ● 地下水盆管理学 |
| | ● 水理学演習 | ● 地球環境科学実験 など |
| | ● 気象学 | |
| | ● 流域水文学 | |



社会計画コース



環境を構成する自然、社会、文化を総合的に学び、持続可能な社会の構築に向けた計画を立案・実行できる人材を育成します。

持続可能な社会の構築を目指して、文理の垣根を超えた総合的な視点から、計画的にアプローチする方法を学ぶコースです。環境を構成する自然、社会、文化の各側面から問題点を総合的に捉え、都市や農村の空間を効果的にデザイン・計画するとともに、行政・事業者・市民による協働の取り組みを進めていくための専門分野を探究します。

- ①環境問題や地域問題等の現代社会が抱える問題に関する基礎知識の修得。
- ②現代社会が抱える問題を総合的に捉えるための視点の獲得。
- ③持続可能な社会の構築に向けた問題解決能力の涵養。

- | | | |
|--------|----------|-----------------|
| 主な専門科目 | ● 社会計画概論 | ● 環境文化論 |
| | ● 社会情報分析 | ● サウンドスケープ |
| | ● 環境計画論 | ● 社会計画演習I・II など |
| | ● 都市計画論 | |



心理・生理コース



心理学や生理学を基礎から学び人間や動物の心や行動の理解とそのメカニズム解明を目指した専門的研究のエキスパートを育成します。

科学技術がいかに発展したとしても、それを支え、利用しているのは人間です。さまざまな視点から人間を理解し、それらの知見を科学技術に応用できる能力の修得をこのコースでは目指します。心理学、生理学、関連する学問分野を学習し、人間の心理・生理的仕組みを解明する研究や、それらを医療、介護、福祉、教育など専門性の高い領域で応用するための研究へと発展させます。

- ①人間の心の働きや脳・神経系の働きに関わる基礎的知識の修得。
- ②心や脳・神経系の働きを知るための研究法の理解。
- ③現実社会や科学技術におけるヒューマンファクタに関する諸問題について考えることができ、それらの問題を解決していくために必要な基礎能力の獲得。

- | | | |
|--------|---------------------|----------------------|
| 主な専門科目 | ● 心理学概論 | ● 脳神経科学 |
| | ● 心理学研究法 | ● 生体システム実験（心理学実験） など |
| | ● 基礎心理学I（学習・言語心理学） | |
| | ● 基礎心理学II（神経・生理心理学） | |

在学生からのメッセージ

数理・情報科学コース 4年 [宮城県白石高等学校出身]

十文字 快さん

共生システム理工学類では1年次で基礎科目を学び、2年から専門領域のコースに分かれます。僕は高校の時は大学で化学を学ぼうと考えていたのですが、入学後にほかの分野に触れ、数理・情報のほうに惹かれてこちらに進みました。やりたいことを吟味する時間があつたのは良かったと思っています。

3年の後期から藤本研究室に配属して、機械学習について学んでいます。4年では機械学習を使って、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた研究を行います。実際のデータを分析して研究ができることは、地域に根差した福島大学ならではの学びだと思います。

入学後に広がった知識から未来が生まれる



共生システム理工学研究科 物理・メカトロニクスコース 1年 [福島県立郡山東高等学校出身]

熊田 有華さん

小学校高学年の時に震災と原発事故があり、放射線について学びたいと思い福島大学を選びました。当時様々な情報が飛び交い、本当に正しい知識はどれなのだろうと悩みました。研究することで正しい知識を身に付け、それを伝えたいと思い学んでいます。

山口研究室の放射線の研究は、先輩たちから引き継がれてきたもので、現在行われている廃炉作業に関わる研究です。今後原子炉建屋内の燃料デブリの取り出しや保管をする際に、その放射線源の量や種類を推定する技術を開発しています。大学院でもこの研究を継続し、将来はそれを活かす専門性のある仕事に就き、廃炉作業に貢献できる技術を残したいですね。

正しい知識で議論し、伝えられる専門家に



食農学類

Faculty of Food and Agricultural Sciences



「農学専門教育」と「農学実践型教育」からなる
新たな農学教育により、食と農の課題に
主体的・創造的に取り組めるリーダーを育成します。

学類紹介MOVIEを
チェック!



■ 食品科学コース

■ 生産環境学コース

■ 農業生産学コース

■ 農業経営学コース

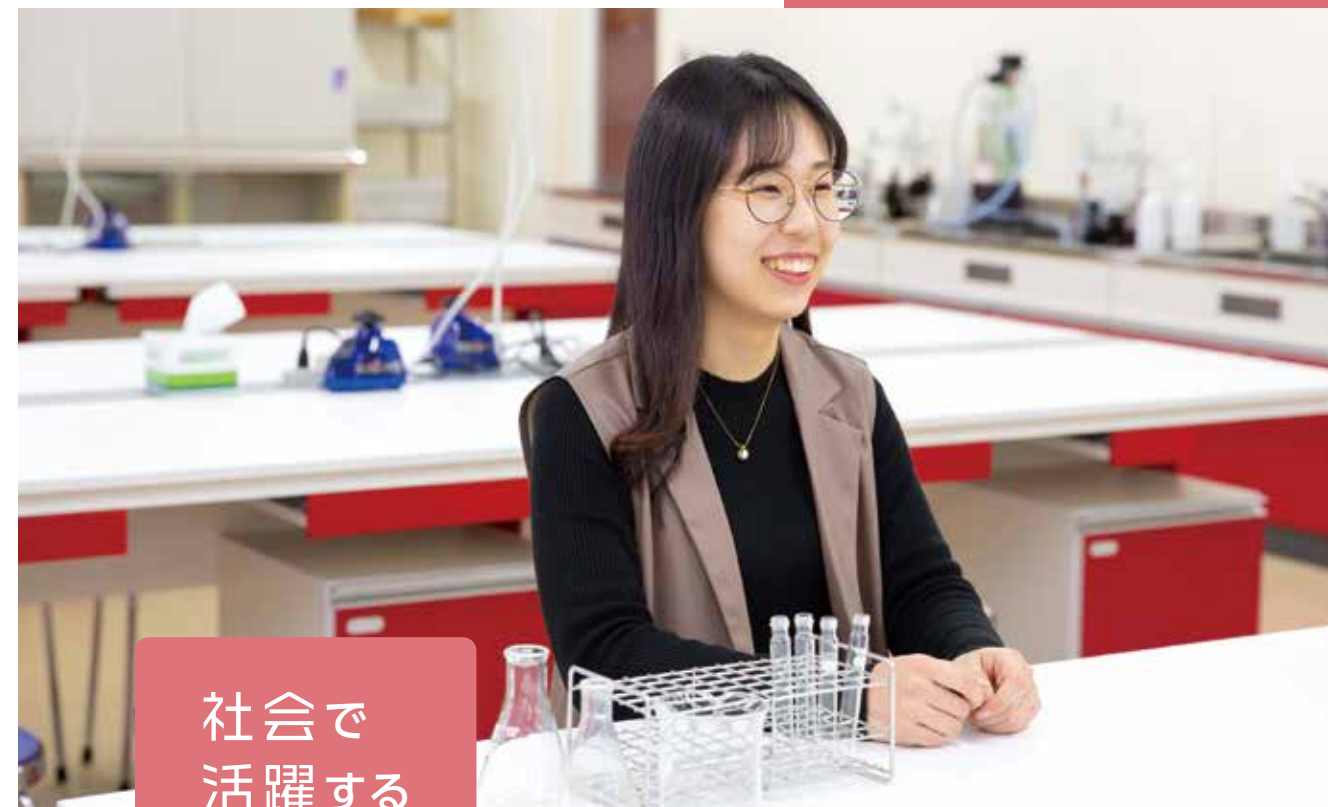
こんな人に学んでほしい

本学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、
行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す
意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと
考える学生を受け入れます。

- 農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- 異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- 温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力



SHINING GRADUATES



社会で
活躍する
卒業生

Interview

株式会社セントラル・フルーツ
食農学類 食品科学コース 2023年3月卒業

阪谷 うるさん

震災を経て進化していく福島県を、 農業の現場から学び発信する

高校で調理を学び、その材料を作る農業の現場を知りたいと思って
いた時にちょうど食農学類が開設されました。先輩もおらず不安も
ありましたが、新しいことにチャレンジするのが好きなので、一期生な
ら自分たちで自由に開拓できるかと思い飛び込みました。福島は自然
に溢れ、大学の農場だけでなく農家さんも近くにあるので、フィールド
ワークで様々な経験を積みました。食農実践演習では福島市の桃を
使った地域活性化に関わり、風評被害の払拭などを調査しました。コ
ロナの影響で授業では企業とのコラボなどはできませんでしたが、同
級生と「食農カフェサークル」を立ち上げ、福島の食材を使ったお弁
当を作ってイベントやマルシェに出店しました。



「食」は人の一生に絶対必要なものですし、そこに携われることをと
ても誇らしく思っています。就職先は食と農業の両方に関わることが
できる会社を選びました。大学で得た学びを活かし、食の楽しさや食
品ロスを減らすための食材の活かし方などをお客様に伝えていけれ
ばと思います。

卒業後の 主な進路

- 食品関連企業
- 農業生産法人
- 農林技術系公務員
- 高校教員(農業、理科)
- 農業・農村起業家
- バイオマス関連企業
- 医薬品メーカー
- 試験研究機関
- IT・エレクトロニクス産業
- 復興支援員
- 観光・宿泊企業
- 土木建設企業
- 流通企業 など

カリキュラムの特長

「農学専門教育」と「農学実践型教育」

「農学専門教育」では、有機的に結びついた「4つの専門コース」で教員と学生が密接に連携しながら共に学び、専門性と学際的な思考力を養います。「農学実践型教育」では福島県全域を教育のフィールドとして、地方自治体・農業関係組織と密接に連携しながら、地域が抱えている課題の解決を目指します。学生・教員全員が地域に通いながら、課題の発見から解決策の提案までを経験し、現場ニーズへの対応力や専門知識を応用する実践力を身につけます。

取得できる
教員免許・資格

- 高等学校教諭一種免許状(農業、理科※)
 - 食品衛生管理者(任用資格)
 - 食品衛生監視員(任用資格)
 - 食の6 次産業化プロデューサー
- 危険物取扱者(受験資格)
 - 自然再生士補
 - 環境再生医初級
 - ピオトープ管理士(受験科目一部免除)

※理科については他学類で開講されている授業の単位を取得する必要があります。

農学実践型プログラムの
サイトを開設!

ウェブサイトはこちらから▶



		1年次 		2年次 		3年次 		4年次 			
学びの目標		基礎教育と農業関連産業の基礎を身につける		グローバルな視点から専門をとらえる教養と農学の専門基礎を身につける		食料・農業の実践に関する専門知識・技術の習得と社会基盤の理解		ディプロマポリシーの達成			
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
課 程		教養・農学基礎課程			農学専門教育課程ー専門を基礎とした実践的農学ー						
					2年次後期よりコースの選択	食品科学コース			講 義		
						農業生産学コース			+		
						生産環境学コース			実 験		
						農業経営学コース			+		
専 門 教 育		学類共通専門基礎科目			コース専門科目						
		数理リテラシー ・基礎数学 ・化学 ・統計学 ・生物学 ・物理学 農学リテラシー ・食品科学概論 ・生産環境学概論 ・農業生産学概論 ・農業経営概論 ほか			世界の食料と農業			卒業研究科目 ・卒業研究基礎演習 ・卒業論文			
		・農場基礎実習Ⅰ (1年次前期) 学内及び周辺に設けた農場で、米・果樹・野菜などの栽培実習や収穫・貯蔵などの実習を実施			学類共通専門科目			研究室配属			
		・農場基礎実習Ⅱ (1年次後期)			・食農実践演習Ⅰ(2年次前期) 福島県内の地域概要や農業と食をめぐる課題等について学び、実践的な学習に向けた基礎事項の整理を実施			・卒業研究演習Ⅰ(前期) ・卒業研究演習Ⅱ(後期) 各研究室で関連領域の研究を行い、より高度な専門知識と実践力を修得			
		・食農実践演習Ⅱ(3年次通年) 4コース横断でチームを編成し、地域課題解決型プロジェクトに取り組んで実践力を養成			1年次から4年次まで切れ目なく演習・実習科目に取り組みます			専門知識と実践力を融合させます			
接続領域		・スタートアップセミナー ・社会とデータ科学の基礎 ・キャリア形成論 ・英語 ほか									
教養領域		・外国語(英語 ほか) ・情報リテラシー ほか									
問題探究領域											
自由選択		自らの興味・関心にしたがって、基盤教育及び学類内外の科目から選んで履修する									
		アドバイザー教員 クラス担任等のアドバイザー教員が定期的に面談し、履修や学修、生活、進路等について助言します。 1年次前期～2年次前期 クラス担任 2年次後期～3年次前期 コース担任 3年次後期～4年次 卒業研究指導教員									





食と農のリーダーに求められる

知識と技術、考え方を学ぶ4年間

食農学類は、よりよい社会の創造に向けて農学の専門性を活用し、新たなフードシステムの創出に貢献できる人材を養成します。日本やモンスーンアジア等の農林業と食生活を深く理解するために、設けた学びは「農学専門教育」と「農学実践型教育」の2つの柱からなる新たな農学教育。1年次から基礎科目、専門基礎科目を学び、2年次後期から4つのコースに所属して専門科目を学びます。特色のひとつは「実践的な農学の重視」であり、入学の直後から農場実習がスタートします。また、学際的な連携力を育みながら、専門性を深めていきます。それによって身につけた分野に固有の概念や思考法を、他分野の人々にわかりやすく伝える力も養います。2年次前期から3年次にかけては、県内各地で農学実践型教育を実施し、学生・教員の混成チームで取り組みます。これは、学際性の向上を意図して行われています。

学類長
メッセージ

Message

学際的な連携のパワーを醸成し、
食と農の課題克服につなげよう

本学類は「社会の具体的な課題に向き合う農学の原点」を大切にしており、それを象徴するのが1年次からスタートする農場などでの実習です。食の流れに沿ったコース編成も特徴で、川上の生産環境学、川中の農業生産学、川下の食品科学、そして流れをつなぐ農業経営学の4コースがあります。2年次の後期から所属する専門コースでは、国際的にも最先端の知識と手法を学びますが、その内容を専門外の人々に分かりやすく伝えることも大切です。それが食と農をめぐる学際的な連携のパワーを生み、課題の克服につながるからです。在学中に、広がり柔軟性のある視野を獲得しましょう。大学院で学びを深めることもできます。



食農学類長 荒井 聡 教授



1年次 入学後すぐに始まる「農場基礎実習」

基礎教育と農業関連産業の基礎を学ぶ

福島ブランド農業

福島のもも(あかつき)、岩瀬キュウリ、南郷トマト、伊達のあんぼ柿、奥会津金山赤力ボチャ。福島県には、長い年月をかけてブランドを築いてきた農産物や食品が数多く存在します。震災と原子力災害に立ち向かい、乗り越えようとするなかで、新たにブランディングを図る挑戦も各地で始まっています。福島県が誇る主要品目や各地の実践事例を学びながら、これからの「福島ブランド農業」の課題と方向を一緒に考えてみましょう。



震災農村復興論

東日本大震災と原子力災害の発災から、復興をめぐる行政、政策、制度が大きな転換点を迎えています。この授業では、放射能の基礎的な知識を修得した上で、福島の原子力災害を自然・社会・経済など多角的観点から学びます。また、残された課題を検討するとともに、被災地域並びに我が国や国際社会に対して、食農科学が果たすべき役割について考えます。

教員紹介 ※2023年4月1日現在

詳しい経歴はこちら



食品科学コース

松田 幹 (食品機能学Ⅰ)
平 修 (食品機能学Ⅱ)
尾形 慎 (食品素材科学)
吉永 和明 (食品加工学Ⅰ)
熊谷 武久 (食品加工学Ⅱ)
升本 早枝子 (食品保蔵学)
渡部 潤 (発酵・醸造学Ⅰ)
藤井 力 (発酵・醸造学Ⅱ)
西村 順子 (食品安全学)

農業生産学コース

高橋 秀和 (作物育種学)
新田 洋司 (作物学概論)
渡邊 芳倫 (環境保全型農業論)
深山 陽子 (蔬菜・花き園芸学)
高田 大輔 (果樹園芸学)
篠田 徹郎 (応用昆虫学)
岡野 夕香里 (植物病理学)
大瀬 健嗣 (土壌科学)
二瓶 直登 (植物栄養学)
石川 尚人 (飼料資源学)

生産環境学コース

金子 信博 (森林科学)
福島 慶太郎 (森林生態系管理学)
望月 翔太 (森林保全学)
藤野 正也 (森林利用学)
石井 秀樹 (里山管理論)
神宮 宇寛 (農村計画学)
申 文浩 (環境水利学)
原田 茂樹 (土壌物理学)
牧 雅康 (農業リモートセンシング)
窪田 陽介 (スマート農業論)

農業経営学コース

荒井 聡 (農業経営学)
原田 英美 (農産物流通論)
河野 恵伸 (食品マーケティング論)
則藤 孝志 (フードシステム論)
高山 太輔 (農業経済学)
小山 良太 (協同組合学)
高野 真広 (農業政策学)
林 薫平 (農林資源経済論)

2年次 後期からはじまる「農学専門教育」

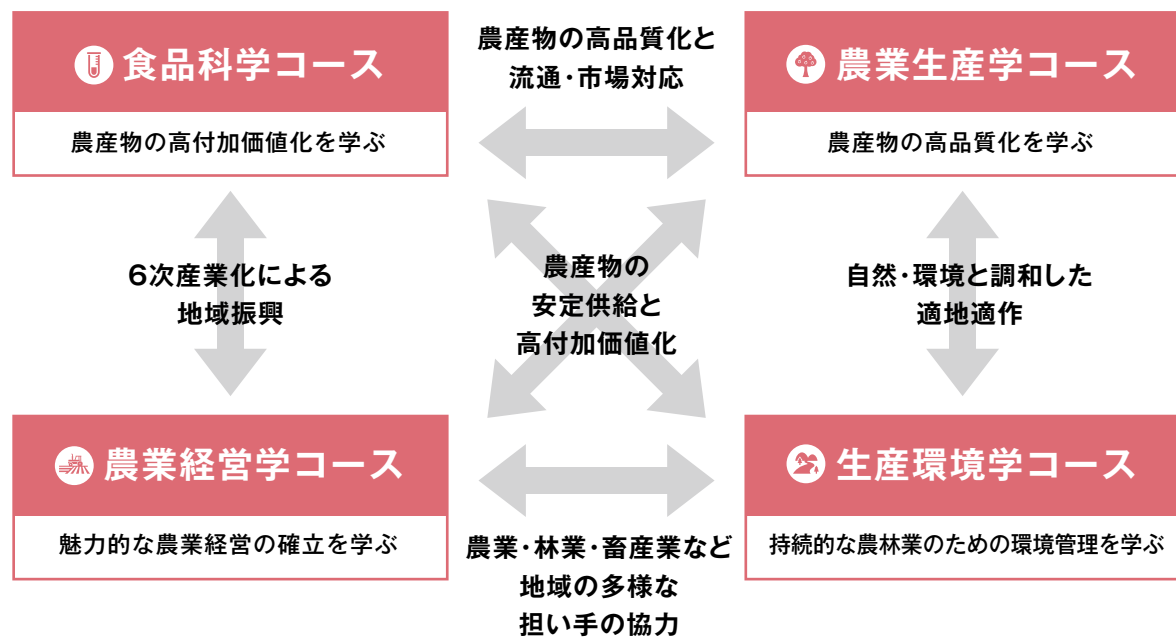


農学専門教育

4領域を学び食と農のプロになる

✓ 多角的に学べる

フードチェーンの上流にあたる「生産環境学」、中流の「農業生産学」、下流の「食品科学」、そして全体を見通す「農業経営学」という、4つの履修コースから専門的に学びます。専門知識を身につけるだけでなく、各コースが有機的に結びついた教育を実施。近年重要視されている「消費者視点で考える農産物生産」など、専門分野を超えた学際的な思考力を養います。



食品科学コース



- 食品機能学I・II
- 食品分析学
- 食品素材科学
- 食品加工学I・II
- 食品保蔵学
- 発酵・醸造学I・II
- 食品安全学

食品の栄養素や機能を分析するための専門的な知識と技能を身につけるコースです。併せて安全性やおいしさなどに優れた食品の製造を理解し、新商品開発に挑戦できる人材や、発酵や醸造学の学びを通して地域の食の伝統的な強みを活かせる人材の育成を目指します。

特徴的な科目

食品加工学II

食品加工により、安全性、保存性、栄養性、健康機能性、嗜好性、利便性などが向上し、付加価値が生まれます。本講義では食品の加工工程による変化を科学的に学びます。



食品分析学

食品分析学では、一般成分分析法、機器分析法について最新の食品研究の動向や福島県内外での事例などを交えて解説を行うことで、多成分不均一素材としての食品の適切な評価、最適な制御法を学び、将来各人がそれぞれの現場で活用できる基礎知識の修得を目指します。



農業生産学コース



- 作物学概論
- 作物育種学
- 環境保全型農業論
- 蔬菜・花き園芸学
- 果樹園芸学
- 応用昆虫学
- 植物病理学
- 土壌科学
- 植物栄養学
- 飼料資源学

作物栽培に関する最新技術や知見を駆使し、作物生産、食料生産、栽培資源利用などの農業生産に関わる諸問題を解決する専門知識と技術を身につけます。その上で新品種の開発と既存品種の見直し、栽培技術の革新、病害虫の農業被害管理といった技能の修得を目指します。

特徴的な科目

応用昆虫学

昆虫は、地上で最も繁栄した動物群で、農業を始め人間生活と深く関わっています。本講座では、昆虫の生理・生態の基礎、主要作物害虫の生態・被害、様々な防除法、環境保全型の害虫管理法等について学びます。



果樹園芸学

福島を代表する果樹に関して、「福島の飛躍」を目指し、樹体生理に基づいた栽培方法の解析、ICT/AI技術の導入、海外輸出に関連した流通技術、「復興」をキーワードに放射性Csの果樹園における動態に関して学びます。



生産環境学コース



- 森林科学
- 森林生態系管理学
- 森林保全学
- 森林利用学
- 里山管理論
- 農村計画学
- 環境水文学
- 土壌物理学
- 農業リモートセンシング
- スマート農業論

生産環境の保全と活用に対する専門知識や技術を身につけるために、森林・農地・水環境等の生産資源と生産活動を管理・運用するシステムを学びます。また本学類以外のコース科目の学びを通して、多角的視野から生産環境を探索し、保全と活用を実践できる人材の育成を目指します。

特徴的な科目

森林科学

森林は生態系の一部であるとともに、歴史的に人が大きく関わって現在の姿があります。木材資源、生物多様性の保全、地球環境問題、放射性物質による汚染、及び地域の農業との関係について実例に基づき学びます。



農業リモートセンシング

リモートセンシングは、宇宙や空から非破壊・非接触で地表面の状態を測ることができます。農業リモートセンシングでは、この技術の原理と実例を基に農業分野での活用方法、特にドローンを用いた方法について学びます。



農業経営学コース



- 農業経営学
- 農産物流通論
- 食品マーケティング論
- フードシステム論
- 農業経済学
- 協同組合学
- 農業政策学
- 農林資源経済論

フィールドワークを重視した農業経営学を軸に、生産から加工・流通を経て消費に至るフードシステムに関わる問題を解決する知識と技能を身につけます。また他コースの科目を履修することで得られる多角的な視点で、今後の地域農村社会の現場を担える人材の育成を目指します。

特徴的な科目

農業経営学

市場ニーズに対応した農業経営のあり方・経営戦略を、地域の事例も踏まえ考えていきます。農産物の市場・販売戦略、農場の規模と集約度、作物選択の理論と財務諸表に習熟し、農業経営者に必要な能力を涵養します。



農林資源経済論

森林や里山の資源を循環利用することにより集落や地域経済の活性化をどう実現するか理論面・実践面から学びます。「森は農の恋人」の考え方や、震災・原発事故の影響からの「里山の経済」立て直しの課題を考えます。



2 年次前期 ~ 3 年次通年 「農学実践型教育」

福島県全体がキャンパス

学生・教員・地域の人々がタッグを組んで、7つの自治体にて行う「食農実践演習」科目。足繁く現地を訪れて、課題の解決に向けて学びを深めるカリキュラムです。この演習のもっとも肝心な部分は、食品科学・農業生産学・生産環境学・農業経営学という4つの履修コースから学生・教員が集まり、専門コースの混成部隊としてチームが編成されます。コースの異なるチームメイトと協力しながら、月に何度か地域に通い、課題を分析し、解決策を提案します。実践性・貢献性を重んじるとともに、学際的な交流を大切にするプログラムで、これが農学実践型教育にほかなりません。また、本学類の専任教員が総員で取り組むのも、実践型教育にかける熱意の表れ。地域社会に貢献しながら、将来に広く役立つ学際性・実践力を育みます。



プロジェクト実施地域



【地域課題・キーワードの例】

- ▶ **6次産業化** ワイン・日本酒、発酵食品（納豆・味噌など）、機能性食品、医福食農連携
- ▶ **先端農業の推進** スマート農業とICT（情報通信技術）活用、GAP認証、魅力的な農業の事業モデル構築
- ▶ **福島ブランドの復興** 県特産品のブランディング（米・畜産・園芸）、風評払拭、地産地消マルシェ
- ▶ **地域再生** 里山再生、循環型農業、菜の花で地域づくり、バイオマス活用と地方創生

01 現場に向き合って、課題を分析&解決策を提案

「農学栄えて農業減ぶ」という言葉にも表現されているように、日本の農は、学問と現場がかけ離れてしまいがちでした。本学類では、現場が抱えている課題を解決する「農学・食品科学の原点」に立ち返り、学生自身が地域に通い、課題の発見から解決策の提案までを経験。学んだ専門知識を応用する実践力を身につけます。



02 4コースの学生・教員と地域の人々が連携

4つの履修コースの学生・教員を組み合わせた混成チームが、地域の人々と連携して各プロジェクトに挑戦。それぞれの専門知識を発揮し合うことで、地域が直面する課題に複合的に対応します。大切なのは、相手に分かるように専門知識を伝えられるコミュニケーション能力。専門の枠を超えて協力し合える学際性を養います。



03 すべては課題解決のためあらゆる知・技・人を結集

福島県内の地域課題に取り組むなかで、時には「他県の技術を取り入れるべき」というケースもあるでしょう。課題解決のために必要であれば、先進的な国・地域を視察したり、他県から先端技術の開発者を招いたり、関連分野の学会に参加したりすることも。県境・国境を越えた活動が、グローバルな視野・能力を育みます。



04 日本の将来的な課題を先取りしているのが福島

農林業の担い手不足の解消から、食品の安全性の確保まで、今後の日本が直面する課題を先取りしているのが、震災後の福島県です。「農学実践型教育」では被災地の復興に貢献できるだけでなく、その成果を全国や世界に発信したり、卒業後に出身県などで経験を活かしたりすれば、広く社会に貢献することができます。



在学生からのメッセージ

Students Message



食農学類 2年 [福島県立須賀川桐陽高等学校出身]

深谷 咲里愛さん

元々生物の授業が好きで、特に微生物が農業や発酵食に使われていることを知り、農業に興味を持ちました。食農学類は農学だけでなく食品についても学べること、1年の時から実習があるカリキュラムに魅力を感じました。米や夏野菜を作ったり、樹木観察で木や虫を観察する授業もあり、その体験がとても新鮮です。

東日本大震災を経験して、原発事故による農作物の風評被害をなくす取り組みや、知識だけでなく先生方が経験してきたことを聞けるので、とても説得力のある授業です。入学した時は食品科学コース志望でしたが、4つのコースの概論を聞いて全部に魅力を感じてしまい、何を学ぼうか迷っています。



食品科学コース 4年 [学校法人高田学苑高田高等学校出身]

岡田 圭史さん

自分たちはコロナで出来ませんでした、1年の時に学内や近くの農場で米や野菜を作る実習があったり、新しい学類なので施設がきれいで、分析機器なども最新のものが揃っているのが研究環境が整っています。また2〜3年では地域に通い課題の解決に取り組む「食農実践演習」があり、自分は飯舘村で活動しました。

研究室では、食用油を何度も過熱すると発生する有害物質3-MCPDを出来るだけ低減するにはどうしたらいいかを研究しています。先生の人柄、そして研究が充実しているので、来年は大学院に進んで同じ研究を続けようと思っています。食農学類は先生方が多種多様で面白く、自分に合った先生と出会えます。

大学院には地域デザイン科学研究科、共生システム理工学研究科、食農科学研究科、教職実践研究科の4つの研究科をおき、高度な教育研究活動を展開。各研究科の専門性を活かした高度専門職業人・研究者を育成しています。また、社会人にも門戸を開き、社会人特別入試、昼夜開講制、長期履修制度、土日集中開講などを導入することで、スキルアップ、修士号、博士号取得などに意欲的な社会人のニーズにも対応します。東日本大震災以降、「福島」の使命として、災害復興、食と農の問題、再生可能エネルギーなどに対応したプログラムを設けることで、地域社会にとどまることなく、グローバルな視点で、世界に起こり得る諸課題に先進的に取り組みます。

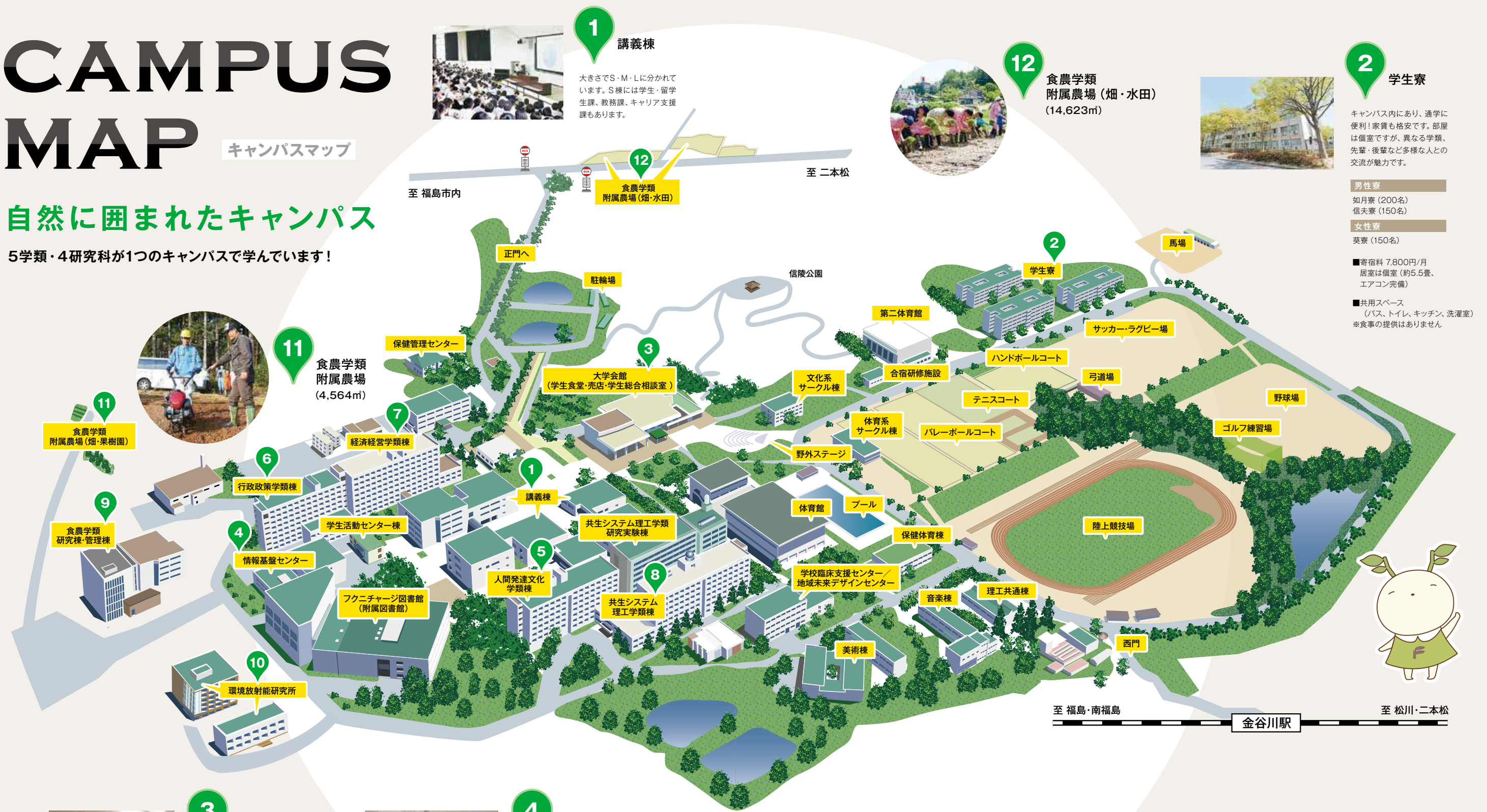


CAMPUS MAP

キャンパスマップ

自然に囲まれたキャンパス

5学類・4研究科が1つのキャンパスで学んでいます！



1 講義棟

大きさをS・M・Lに分かれています。S棟には学生・留学生課、教務課、キャリア支援課もあります。

12 食農学類 附属農場 (畑・水田) (14,623m²)

2 学生寮

キャンパス内にあり、通学に便利！家賃も格安です。部屋は個室ですが、異なる学類、先輩・後輩など多様な人との交流が魅力です。

男性寮
如月寮 (200名)
信夫寮 (150名)
女性寮
葵寮 (150名)

■寄宿料 7,800円/月
居室は個室 (約5.5畳、エアコン完備)

■共用スペース
(バス、トイレ、キッチン、洗濯室)
※食事の提供はありません

11 食農学類 附属農場 (畑・果樹園)

9 食農学類 研究棟・管理棟

3 学生総合相談室

大学生活で出会う様々な悩みや相談に対して、専門のカウンセラー (臨床心理士) 及び本学職員が対応しています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

4 情報基盤センター

学内のネットワークに関することや、パソコン等の情報システムに関する技術的なサポートを行っています。

5 人間発達文化学類棟

6 行政政策学類棟

7 経済経営学類棟

8 共生システム理工学類棟

9 食農学類 研究棟・管理棟

10 環境放射能研究所

☆福島大学は、福島日産自動車株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としています。

フクニチャージ 図書館（附属図書館）

自分流の使い方ができる図書館

2015年に新館が完成した附属図書館。広くて明るい、大きな図書館に生まれ変わりました。従来からの静かに本を読み、勉強する場所をはじめ、さまざまなスタイルで学習ができるラーニングcommons「アリアcommons」が設置されています。会話をしながら、グループ学習などでもできるようになりました。イスや机を動かすことができるスペースもあり、自分好みの学習スタイルを見つけたり、目的や気分で場所を使い分けることもできる図書館です。約100万冊の図書館資料や、電子資源などを活用しながら、大学での学びを深めることができます。



3つの ラーニングcommons (アリアcommons)

1～3階の各フロアにある会話が可能な学習スペース。3つそれぞれに特徴があり、一人でもグループでも、自分にあったスタイルで学習できます。



個人・グループで使える学習室

4名まで利用できる個室「クラスタディールーム」と5名以上で予約できるプロジェクト・大型スクリーンがある「リーフセミナーーム」が利用可能。



教育研究資料室

小中高の教科書、教員採用試験の過去問題などが揃っています。教員を目指すなら利用は必須。



震災関連資料コーナー

東日本大震災に関連した災害・復興・原発・ボランティアなどの資料があり、研究や学習での利用の他、個人の防災等にも役立てることができます。

年間スケジュール



学生食堂

生活スタイルに合わせて2つの食堂を使い分け。食堂で、学内で、自宅で、より自由に食事ができます。

おすすめ！食堂メニュー

食堂 Dining ReaF (リーフ)



数量限定の定食から丼や麺も豊富に取り揃えています
好きなメインディッシュ、惣菜、サラダを組み合わせて選べるコーナーもあります。



1F 食堂 Dining ReaF (リーフ)

授業がある期間 平日 9:30～19:00／土曜 11:00～14:00 日祝閉店
※大学の長期休暇期間 平日・土曜 11:00～14:00

人気メニュー

Quick Lunch グリーン



1年を通してほかほかのお弁当が食べられ、夏には冷たい麺も登場！
テイクアウトもイートインもどちらもOK！

〈 Menu Ranking 〉



1位 | 牛焼肉丼 2位 | 台湾混ぜうどん 3位 | チーズデミハンバーグ丼



2F Quick Lunch グリーン

授業がある期間 平日 11:00～14:00 土日祝日閉店

福島大学生協

福島大学生協は、新入生の入学準備や住まいの斡旋から、就職活動や卒業まで大学生活のサポートを行っています。

福島大生協購買店「Shop Re;act」

大学会館1階にある購買店では飲料、お菓子から日用品、文具など大学生活に必要なものを取り揃えています。店内にあるサービスカウンターは、自動車学校の斡旋や資格取得、オリジナル講座の相談もできる複合窓口です。

【営業時間】 平日／9:30-19:00 土曜／11:00-14:00 ※日曜・祝日閉店
(変更になる場合があります)



10 Oct.

11 Nov.

12 Dec.

1 Jan.

2 Feb.

3 Mar.





福大生が語る

福大キャンパスライフ

教科書に書かれた知識を学ぶ高校までとは違い、大学は主体的に学びを深める場所
新しい学問や一生の師、そして友と出会い、世界が広がっていきます。
勉強にサークルに、これからの可能性は無限大。

フィールドに飛び出し 専門分野の学びを深めよう

塚原さん 数理自然科学コースで、龍口先生のゼミで「和算」の研究をしています。ある授業で先生が和算に触れてくださったのですが、現在、小中高で習う洋数学が日本に伝来する前の和算魅力を感じました。今は教員採用試験に向けて勉強中です。

埴さん 経営コースで経済学の科目を学びながら、佐野先生の開発経済学のゼミに属しています。大学入学前から国際交流に興味があり、このゼミでは2週間程度海外でのフィールドワークに行きます。自分たちはマレーシアで、福島県産品がどのように輸入されているかを調査してきました。また先生の人脈で「ルワンダの教育を考える会」とも交流しています。福島大学は海外の方とふれあう機会が割と多いと思います。

照井さん 共生システム理工学類では1年次で理工系科目を広く学び、2年次でコースに分かれ、3年次後期からゼミに所属します。自分は地球温暖化や再生可能エネルギーに興味があるので、エネルギーコースに属しています。福島は再生可能エネルギーの利用が盛んなので、水力発電や風力発電などの現場を見に行ったりしています。



海外でフィールドワークをする醍醐味



自然豊かな環境が
福島大学の魅力

勉強もイベントも 全力投球で楽しむ二刀流

埴さん 福大祭は10月最終週の土日開催です。実行委員会は1年生中心で、前年に担当した2年生がそのサポートに入ります。4月に委員会メンバーを募集して、5月から準備を始めます。小委員会が8つあり、1年生だけで150人くらいの大所帯になります。当日の模擬店担当やステージ発表担当だけでなく、学祭前の3日間にスポーツフェスティバルがあるので、その委員会もあります。大学が5日間休みになるので、サークルに入っていないと旅行に行っちゃう学生もいますね(笑)。

塚原さん 新入生歓迎実行委員会のメインイベントは、4月中旬のスポーツ大会です。主にサークル単位で参加してもらって、バレーボール、バドミントン、サッカーをやります。この時期はサークルに入った1年生がまだ馴染めていないと思うので、サークル内での親睦を深める企画ですね。コロナ前は3月後半に、入学予定の方々とキャンパス内の合宿研修施設で交流会を開いて、そこでスポーツ大会への参加を呼び掛けていました。この3年間開催できなかったのが、自分たちも4年生になって初めての開催でした。

照井さん 学生ジャーナリストは大学の広報強化を目的とした団体で、学生ならではの目線で大学広報を行っています。公式マスコットキャラクター「めばえ

ちゃん」の運営や企画を考えるめばえ班、twitterとInstagramのアカウントを運用するSNS班、めばえちゃんの撮影会や卒業式・入学式の写真を公式の広報にアップする写真班、放送部と連携して「めばえのたね」という学内ラジオを放送する放送班、そして今は活動休止中ですが、大学の話題を英語で発信する翻訳班があり、自分は写真班に所属しています。



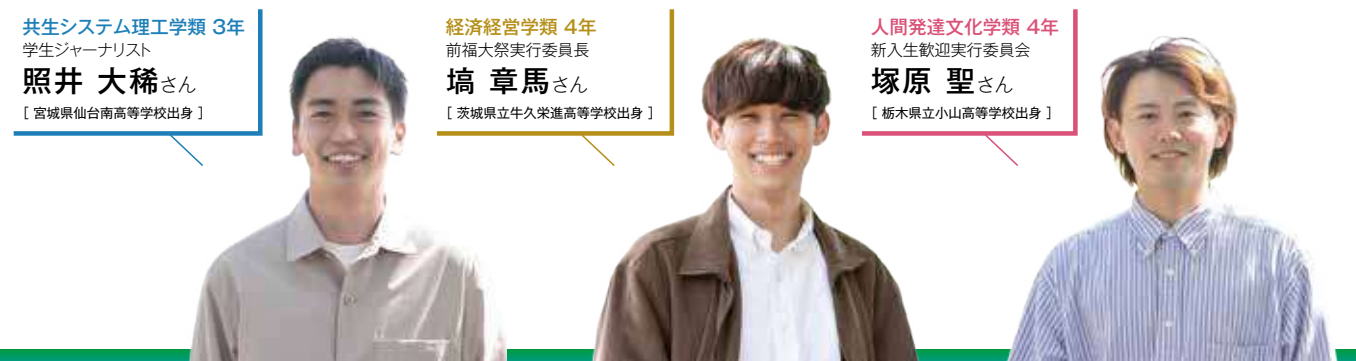
様々な分野を
幅広く学べる楽しさ

コロナ禍でも負けない！ 手探りで続けた活動

埴さん 学祭は、本当は1年生と2年生だけで運営するのですが、昨年は引継ぎが上手くいかないということで自分たち3年生も残る形になりました。その3年生(今の4年生)が今年の新入生歓迎委員会の役員になっています。学祭は昨年から通常開催できましたが、一昨年は親御さんも一般の方々も呼べない学内のみの開催でした。食品の提供を伴う模擬店も出せませんでした。ステージなどに出演するお子さんを見たいという親御さんたちの意見を受けて、YouTubeでライブ配信を行うなどのハイブリッド開催になりました。

塚原さん 新歓のほうも2年も3年も開催できないと、引継ぎが大変でした。今年の新入生歓迎のスポーツ大会は4年ぶりだったわけですが、昨年やる予定だったのに引継ぎが難しく、右往左往しているうちに5月になってしまい、そんなに遅くては意味がないということで開催しませんでした。今年の開催も、経験のある先輩たちに当時の話を聞いたり、学校側とも連絡を取り合うなど、準備が大変でした。でも、大学デビューって大事じゃないですか。入学してすぐの時は、同じ学類や授業でしか友だちができないと思いますが、サークルに入っていればもっと広がるし、スポーツ大会を開催することで、サークル同士のかけ橋にもなることができたと思います。

照井さん 学生ジャーナリストは2020年7月に発足したので、コロナ禍の中でずっと活動してきました。全体で60人弱で、新入生歓迎会は全体でできましたが、その後はほかの班の人との交流が少なかったですね。本当は班同士で連携しながら活動したかったのですが規制されてしまい、そこが大変でした。会議はZoomを使って開催したり、5班の班長が会議を持って情報共有したりしていました。昨年くらいから規制が解消されてきたので、写真班ではめばえちゃんのマスコットを持って、アクアマリンふくしまなどに写真を撮りに行ったりしています。それを「めばえ旅」としてInstagramにアップできるようになりましたので、今後はこれまでの分も活動していきたいと思います。



共生システム理工学類 3年
学生ジャーナリスト
照井 大稀さん
〔宮城県仙台南高等学校出身〕

経済経営学類 4年
前福大祭実行委員長
埴 章馬さん
〔茨城県立牛久米高等学校出身〕

人間発達文化学類 4年
新入生歓迎実行委員会
塚原 聖さん
〔栃木県立小山高等学校出身〕



福島大学だからできることが みんなを待っています

埴さん やはり授業で、2011年の東日本大震災当時のことやその後の福島の取り組みなどを学べるので、そこがいいと思います。ゼミのフィールドワークでマレーシアに行った時も、福島県産品の購入に当たって原発事故の影響はあるか聞いたりしました。特に米の価格を調べたのですが、ヒアリングしたところ原発事故はもう気にしてはいないけれど、2011年に福島の米の価格が下がり、それが今もそのままの価格で流通していました。日本のほかのブランド米は高く販売されているので、福島でももっとブランド力を高めていかなければという今後の課題が見えました。

福島大学は幅広い学問が学べますし、大学の学祭は高校とは規模が全然違います。私たちと一緒に青春を全力で楽しみましょう!

照井さん 自分の学類では、最初から専門を決めずに理工系科目を全部学ぶので、入学した段階ではまだどの分野をやりたいか決まっていなくてもじっくり決められますし、新たに興味を惹かれるものに出会えるかもしれません。広く学べるということが、福島大学の魅力ですね。

これから入学してくる皆さんは、中学と高校でコロナ禍を経験してきたわけですが、これからは普通の学び、普通の大学生活が送れるようになると思います。学祭なども開催されますので、これから今までの分も楽しんでください。福島大学いいな、行きたいなと思ったら、ぜひ来て欲しいです。

塚原さん 自分は栃木の出身なので、東京などに比べて自然が豊かだし、広いキャンパスでスポーツ大会などができるのがいいですね。近場の河川敷でバーベキューなんかもできますし。コロナ禍で東京の大学ではオンライン授業が長かったそうですが、自分たちは1年の後期からは対面になって、友だちもすぐできたので、この密にならない環境は大事です(笑)。

震災や復興について、福島大学でなければ学べないことがありますし、まだまだ青春できるぞという感じで大学生活を楽しめると思います。まず最初に、私たち新入生歓迎実行委員会が皆さんを待っています。

STUDENT'S LIFE

福島大学生のキャンパスライフをのぞいてみました！

実家通学

月々の生活費 | ■ 家賃 0円 ■ 食費 10,000円（昼食代）

充実しています

勉強も学内での活動も

そして両親に支えられて

熱い先生と友人たち、

経済経営学類 2年

町田 綾さん

福島県立福島高等学校出身

両親が他県から福島大学に来て、ここで出会って結婚し、そのまま福島市に住んでいるので、ここは私のルーツみたいな場所だなと小学生の頃から思っていました。大学生になったら一人暮らししたいという気持ちもありましたが、家に帰れば誰かがいて、冬でも暖かい部屋が迎えてくれるのは精神的にとっても助けられますね。でも友だちを見ていると、一人暮らしは自由でいいなとも思います。急に友だちとご飯に行く時に連絡しないといけないし、終電が23時なので私だけ先に帰るのはちょっと寂しいですね(笑)。

生協の新入生アドバイザーのアルバイトと学生委員会に入っています。アドバイザーは私も入学する時にお世話になったのですが、先輩方が堂々としていて、あんなふうになりたいと思って始めました。学生委員会では新入生に生協の使い方を説明したり、交流会を企画しています。生協がより使いやすくなる活動をしているので、どちらもやりがいがあります。

My Favorite! -お気に入り-

「音楽を聞くことが大好き！」

通学中はずっとイヤフォンを付けて、アップテンポの洋楽を聞いてテンション上げてます。ちょっと辛いとか、頑張らなきゃという時は特に大事♪



2nd Grade Timetable [2年生後期の時間割]

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1限	入門金融論	—	英語BI	経済政策	経営組織論
2限	統計学概論	ミクロ経済学II	—	経済学史	英語BII
3限	—	—	—	マーケティング論	専門演習
4限	—	—	—	公共経済学	専門演習
5限	マクロ経済学II	—	—	地域経済論	—

福島大学の魅力！

学生が熱心なところというか、友だちも先生もみんな熱を持って日々過ごしているなど感じています。将来の目標に対してですが、「これがやりたい」ということに向かってみんな一生懸命。日々お互い刺激し合い、高め合い、尊敬し合いながら日常生活を送るって最高じゃないですか？そんな環境や、先生や仲間たちに魅力を感じています。

ひとり暮らし

月々の生活費 | ■ 家賃 38,000円 ■ 食費 ミールプラン利用

食事のバランスも

自分で考えて生活管理

スポーツを通して地域を楽しく

人間発達文化学類 2年

川越 椋太さん

富山県立大門高等学校出身

大学の近くのアパートで一人暮らしをしています。大変だろうなとは思っていましたが、やっぱり大変でした(笑)。高校まで陸上部で走り高跳びをやっていた、実家にいた時も洗濯は自分でしたのでそれは苦にならないのですが、自炊は買い物から片付けまであるわけです。僕は片付けが苦手なのでよくシンクに溜めてしまいます。バランスの良い食事や、朝ごはんをしっかり食べるよう気をつけているのですが、一人暮らしに慣れてくるうちに怠けてしまうこともありますね。だからお昼は学食でちゃんと食べています。

スポーツ企画や、学校体育と地域スポーツが協力していく活動に興味があります。今も「学生団体わだち」で、福島市や本宮市などで地域の方々や保護者と協力しながら地域のスポーツ企画も行なっています。3年からはスポーツ社会学のゼミに所属して、先生が研究されているスポーツと農業などを掛け合わせた生活スタイルや仕事について学びたいと思っています。

My Favorite! -お気に入り-

「写真や動画にハマっています。」



高校時代に貯めたお小遣いやお年玉に1年生の時にアルバイトを頑張った貯金を合わせて、ソニーの一眼レフカメラを買いました。景色を撮ることが多いです。

1Day Schedule -私の1日-

7:40	起床	できるだけ余裕をもって起床してその日の準備をします。
8:40	講義	主に教育やスポーツに関する講義が多いです。
11:50	昼食	学食で友達と食べています。
13:00	講義または勉強	図書館をよく利用しています。
16:30	アルバイト	生協で新入生アドバイザーをしています。
18:30	夕食	学食で食べるかテイクアウトをして食べます。
19:30	帰宅	1時間程度ランニングをすることが多いです。
20:30	入浴	ランニングでの汗を流します。
21:00	自由	課題・勉強をするかYouTubeを見る時間にします。
24:00	就寝	次の日の準備をしてからベッドに入るようにしています。

福島大学の魅力！

ひとつのキャンパスに様々な学類があり、文系理系がすべて揃っていること。学生アドバイザーの活動中に、在学生に話しかけることもたまにあり、そこから仲良くなることもあるのですが、本当にいろいろな人がいるんです。それが刺激になって面白いですね。学類の垣根を越えて人と出会えるということが魅力だと思います。

▶▶ クラブ・サークル活動の紹介

Student Clubs and Societies

#春から福島大学

Four members of the Triathlon Club are posing outdoors. The two individuals in the center are wearing triathlon suits; the one on the left has 'ENDO JPN' and 'AIZUMI' on it, and the one on the right has 'KONDO JPN' and 'AIZUMI' on it. The two individuals on the sides are wearing casual clothing. The background shows a grassy area with trees and a cloudy sky. Overlaid on the bottom right are social media icons for Instagram and Twitter, along with two QR codes.

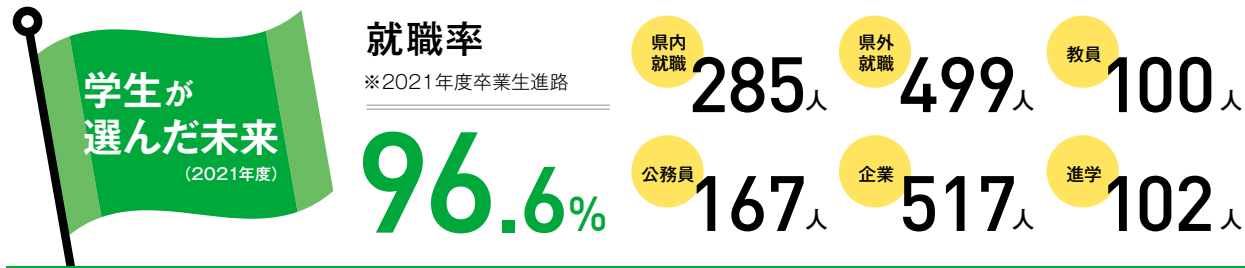


- 馬術部
- バドミントン部
- 福島大学トライアスロン部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

就職・進路支援

福島大学では、1年次から将来の進路を考える時間を設けています。例えば、1・2年次にキャリア形成論、キャリアモデル学習、ワーキングスキルを開講。基本的な職業観とモラルを身につけ、自らの進路選択と大学での学びとを関連づけて考えることができる教育を行っています。キャリアセンターは、その学び、考えたことが進路決定につながるように、学生のサポートとして、さまざまな事業を実施しています。

進路
就職



SUPPORT 1

就職・進路相談

自分の将来を真剣に考えれば考えるほど、答えがわからなくなったり、迷いが生じたり。就職するまでには、誰もが不安を感じるものです。そんな時は、キャリア相談員に話してください。どんなに小さな悩みでも、相談に応じます。

[相談日]
月曜～金曜 10:00～17:00



SUPPORT 3

キャリアセンターの利用

キャリアセンターには、会社案内が揃っており、先輩方が残してくれた就職試験報告書などと合わせて、さまざまな資料の閲覧ができます。このほか、公務員・教員採用試験関係資料、就職に関するガイドブックの貸し出しも行っています。



SUPPORT 5

合同企業説明会

民間企業への就職を目指す学類3年次及び大学院1年次生を対象に、本学主催の合同企業説明会を開催しています。福島県内外から多数の企業が出展。絶好の情報収集の機会となっています。



SUPPORT 2

各種就職ガイダンス

開催される就職ガイダンスは、年間約40件。講演会や説明会などを通して、就職活動に必要な知識や情報の提供を行うなど、がんばる学生に対して、多彩なサポートを行っています。

1・2年生

主に3年生向けに行われるガイダンスに、見学者として参加することができます。

3・4年生

就活スタートアップ講座、業界研究講座、教員関係、公務員関係、インターンシップ対策講座、SPI説明会・webテスト、エントリーシート作成講座、面接対策講座、グループディスカッション対策講座、マナー講座ほか

キャリア相談員による実践型就職ミニセミナーの開催やゼミなどへの出張就職セミナーの実施

SUPPORT 4

業界研究セミナー

主に就職活動が本格化する3年次を対象に、複数の企業を招いて業界研究セミナーを開催しています。参加社数は限られますが、合同企業説明会よりも早いタイミングで業界や企業を知ることができる機会となっています。



SUPPORT 6

保護者の皆様へのサポート

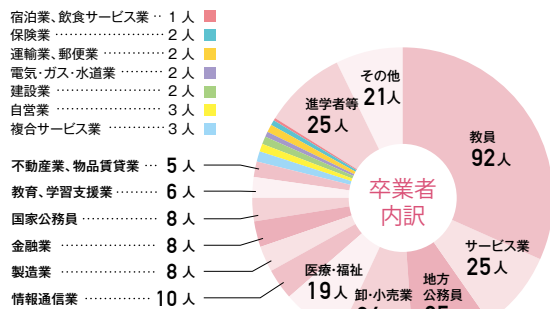
毎年開催されている大学祭の時期に、「保護者のための就職セミナー」を実施して、就職活動の環境や、親の関わり方などについて、理解を深める機会にいただいています。また、保護者宛てに各種情報提供も行っています。



進路状況

人間発達文化学類

卒業生 291人 ●就職者: 245人 ●進学者等: 25人 ●その他: 21人

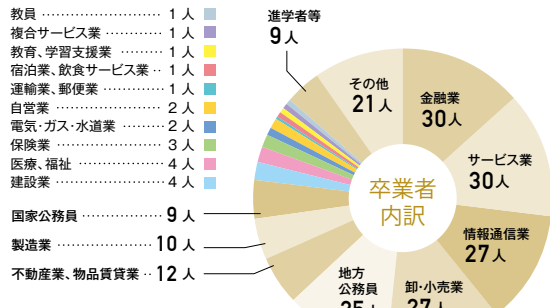


就職先一例

【公立学校教員】北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、新潟県、山梨県、仙台市、横浜市、新潟市
【私立学校教員】郡山サベリオ学園中学校、福島成蹊学園、会津若松ザベリオ学園、熊田学園認定こども園のみな
【保育士】福島市、郡山市、本宮市、秋田市、文京区、会津美里町（保育教諭）、登米市（保育教諭）
【公務員】東北総合通信局、国税庁、仙台国税局、福島県庁、法務省仙台矯正管内法務教育、青森労働局、福島労働局、東北農政局、福島県、茨城県、福島市、郡山市、伊達市、本宮市、会津美里町、仙台市、北上市、足利市、那須塩原市、木更津市、弘前市（消防）、山形県（警察）
【企業】共同エンジニアリング（株）、（株）クボタ、（株）伊藤園、光村印刷（株）、小野食品（株）、東北電力（株）、（株）SRA東北、（株）テレビユー福島、（株）福島民報社、JR東日本（株）、（株）ダイユーエイト、（株）ヨークベニマル、（株）葉王堂、（株）足利銀行、（株）USEN-NEXT HOLDINGS、福島コンピュータシステム（株）、（株）ネクサス放課後等デイサービスベストキッズ須賀川、（株）創英コーポレーション、（福）郡山市社会福祉協議会、（福）児童養護施設青葉学園、（福）仙台市社会福祉協議会、（公財）水戸市スポーツ振興協会、社会保険労務士法人TMC、（株）第四北越銀行、（株）東邦銀行、（株）東北銀行、第四北越証券（株）、（株）かんぽ生命保険、JA共済連秋田、（一社）F-WORLD、（株）ECC、（株）向学舎グループ、福島大学、カーナキッズスクール、スマートキッズ（株）、（一財）太田総合病院、（福）ナザリ園、（福）わたり福祉会、JA福島厚生連、ふくしま未来農業協同組合、JA全農、JA福島中央会、（一財）秋田県総合公社

経済経営学類

卒業生 220人 ●就職者: 190人 ●進学者等: 9人 ●その他: 21人



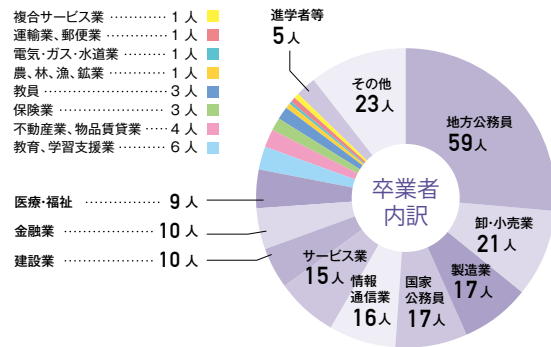
就職先一例

【公務員】法務省法務局、東北財務局、仙台国税局、関東信越国税局、農林水産省東北農政局、厚生労働省、宮城労働局、福島労働局、福島県、茨城県、長野県、福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、白河市、模手市、山形市、東根市、石巻市、仙台市、大崎市民病院、ひたちなか市、鹿嶋市、笠間市、特別区、壬生町、福島県（警察）
【企業】（株）ユアテック、YKK AP（株）、キオクシア岩手（株）、セコム工業（株）、（株）三万石、東北電力（株）、（株）NTTコム、（株）NTT東日本東北、（株）SJC、（株）エフコム、（株）テレビユー山形、（株）ドコモCS東北、（株）マクロミル、JR北海道（株）、DCMホームマック（株）、イオン東北（株）、ウエルシア薬局（株）、セビオ（株）、トヨタカローラ福島（株）、（株）スズキ自販宮城、（株）ヨークベニマル、（株）福島マツダ渋谷レックス（株）、ひまわり信用金庫、（株）SBJ銀行、（株）ゆうちょ銀行、（株）岩手銀行、（株）七十七銀行、（株）商工組合中央金庫、（株）常備銀行、（株）大東銀行、（株）東邦銀行、（株）日本政策金融公庫、（株）福島銀行、（株）北都銀行、（株）北日本銀行、銚子商工信用組合、社の都信用金庫、福島県信用保証協会、福島信用金庫、損害保険ジャパン（株）、JA全農、J&T環境（株）、（株）船井総合研究所、（株）大和総研、（株）帝国データバンク、第一生命保険（株）、明治安田生命保険相互会社、伊藤忠ハウジング（株）、伊藤忠都市開発（株）、（株）トヨタレンタリース宮城、（株）長谷工アーベスト、（株）長谷工コミュニティ、青山コーポレーション（株）、日本マクドナルド（株）、日本食研ホールディングス（株）、（株）福島県農協協賛センター、キントリルジャパン・テクノロジーサービス合同会社、（株）USEN-NEXT HOLDINGS、東海東京フィナンシャル・ホールディングス（株）、浜瀬民雄施設士事務所、（有）オーケー（会計事務所OK）、（有）フォルコム、（有）田中経営管理センター、有限責任監査法人トーマツ、旭化成アミダス（株）、（株）みらい印刷研、（株）星野リゾート、（公社）茨城県農林振興公社、社会保険労務士法人TMC、税理士法人内田会計

※進路データは2021（令和3）年度卒業生実績

行政政策学類

卒業生 222人 ●就職者: 194人 ●進学者等: 5人 ●その他: 23人

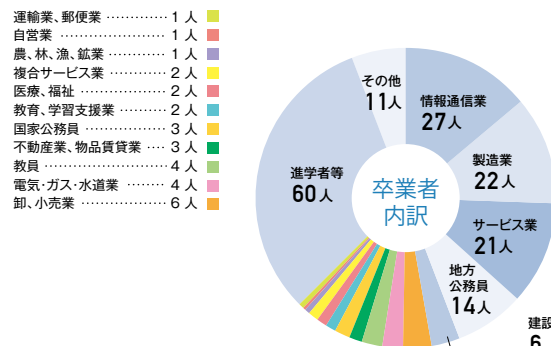


就職先一例

【公務員】総務省、宮城労働局、仙台出入国在留管理局、山形労働局、財務専門官、福島労働局、東北農政局、東北地方整備局、東北運輸局、陸上自衛隊、福島県、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、新潟県、長野県、和歌山県、福島市、郡山市、会津若松市、伊達市、須賀川市、南相馬市、仙北市、花巻市、山形市、那須塩原市、大田原市、水戸市、日立市、静岡市、様似町、東川町、河北町、茂木町、川内村、泉崎村、福島県（警察）、福島市（消防）
【企業】北本アグリ（株）、三井ホーム（株）、ムネカタ（株）、（株）SUBARU、（株）デンロコーポレーション、（株）富士薬品、東開工業（株）、凸版印刷（株）、東部瓦斯（株）、アンドロボティクス（株）、（株）東京商工リサーチ、リコージャパン（株）、（株）ケースホールディングス、（株）ダイユーエイト、（公財）湯浅報恩会、寿泉堂綜合病院、社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院、ALSOK北関東綜合警備保障（株）、RIZAPグループ（株）、（株）東京海上日動パトナース東北、三井不動産リアルティ東北（株）、（独）労働者健康安全機構、福島県市町村職員共済組合、会津つばし農業協同組合、（株）ヨークベニマル、（株）葉王堂、（株）七十七銀行、（株）東邦銀行、（株）福島銀行、NOSAIとちぎ、NOSAI福島、（株）トヨタレンタリース福島、大東建託リーシング（株）、自治医科大学、大阪大学、（一財）太田総合病院、JA福島厚生連、日本工営（株）、NECソリューションイノベータ（株）、（株）エス・シー・シー（シティ情報ふくしま）、（株）コメリ、（株）ジンス、（株）スズキ自販静岡、（株）ハシドラッグ、（株）ヨドバシカメラ、（株）福島マツダ、福島トヨタ自動車（株）、福島県南酒販（株）、（株）山形銀行、桐生信用金庫、ベスト学院（株）、（株）インソース、（株）河合塾進学研究社、（株）ソクイ

共生システム理工学類

卒業生 190人 ●就職者: 119人 ●進学者等: 60人 ●その他: 11人



就職先一例

【公務員】法務省出入国在留管理庁、防衛省、福島県、栃木県、郡山市、いわき市、会津若松市、玉川村、笠間市、横浜市、山形県（警察）
【公立学校教員】青森県、茨城県
【企業】（株）トマル、セコムエンジニアリング（株）、（株）オノヤ、（株）大成技術コンサルタント、五洋建設（株）、積水ハウス（株）、東北ボーリング（株）、MGCエレクトロテクノ（株）、アナスト岩田（株）、キョクシア岩手（株）、サン工業（株）、スズキ（株）、セイコムNPC（株）、セコム工業（株）、フクダ電子（株）、レオン自動車（株）、（株）キトー、（株）ダイアック、（株）デンソー岩手、（株）ファゾテック、（株）明電舎、（株）廣興堂、新光電気工業（株）、竹田設計工業（株）、南部化成（株）、日本信号（株）、日本電産（株）、ENEOSグローバルエナジー（株）、東北電力（株）、NECネットエスアイ（株）、NECネットインベーション（株）、NECプラットフォームズ（株）、REGAIN GROUP（株）、アドソル日進（株）、サイバーコム（株）、データコム（株）、テクノマインド（株）、ラディックス（株）、（株）KSK、（株）NTT東日本東北、（株）アイ・エス・ビー、（株）ロケットスタジオ、（株）東日本技術研究所、（株）東日本計算センター、日本航空（株）、リコージャパン（株）、（株）エフコム、（株）福島県中央計算センター、（株）福島情報処理センター、三井情報（株）、三菱電機ITソリューションズ（株）、（株）大都技研、（株）復建技術コンサルタント、三井共同建設コンサルタント（株）、（株）オークローンマーケティング、三菱電機情報ネットワーク（株）、（株）ディーアンドエムホールディングス、（株）NTTデータ・フィナンシャルコア、アライドテレシスホールディングス（株）、FPTジャパンホールディングス（株）、NECソリューションイノベータ（株）、三菱電機プラントエンジニアリング（株）、（株）システナ、（株）カンセキ、（株）レッドバロン、藤井産業（株）、（株）カタチス、（株）メイクス、大東建託リーシング（株）、（株）仙台進学プラザ、郡山俊英スクール、ふくしま未来農業協同組合、農業協同組合JAかつの、東京電力ホールディングス（株）

入試データ

2023年度 入学試験統計

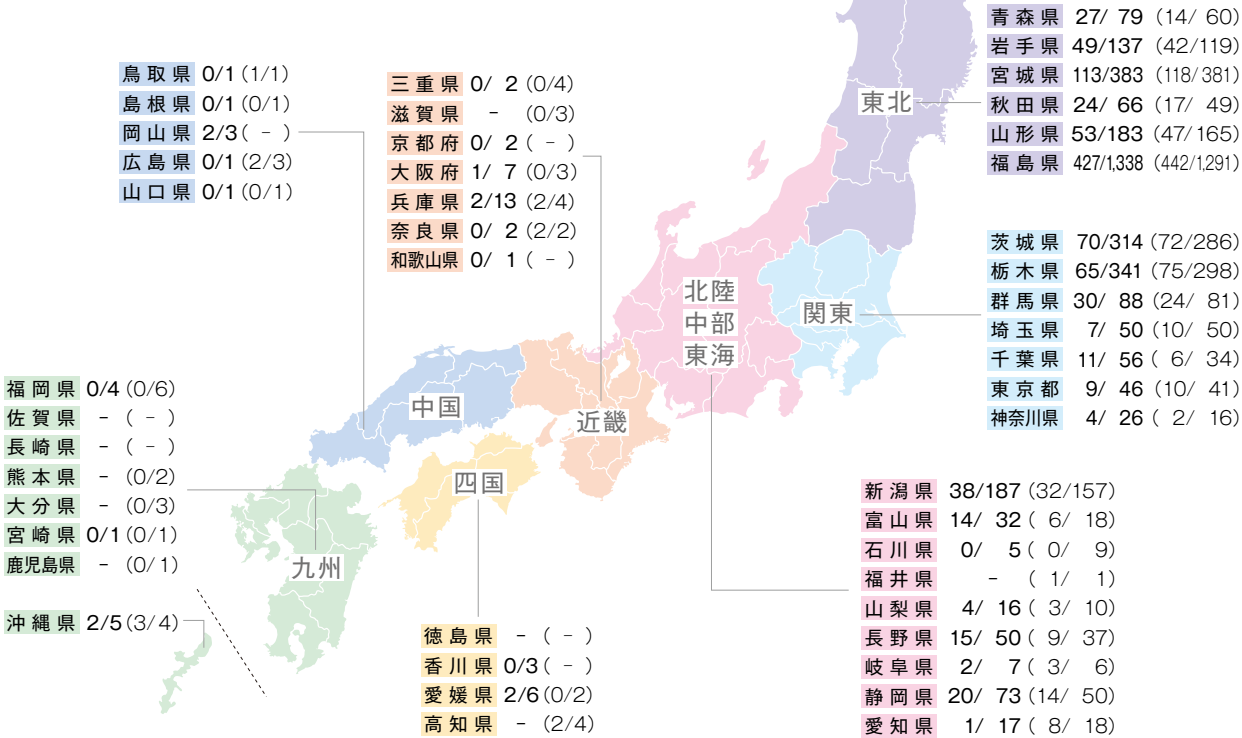
学 類	入試種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
人間発達文化学類	一般選抜(前期)	154	338	278	185	169
	一般選抜(後期)	12	276	64	31	28
	学校推薦型Ⅱ (共通テスト課す)	74	120	119	68	68
	総合型選抜	20	43	43	20	20
	私費外国人	若干名	1	1	0	0
	小計	260	778	505	304	285
行政政策学類	一般選抜(前期)	108	416	390	115	108
	一般選抜(後期)	35	380	139	49	41
	学校推薦型Ⅰ	42	85	85	43	43
	総合型(夜間主)	20	38	37	22	22
	私費外国人	若干名	3	3	3	1
	小計	205	922	654	232	215
経済経営学類	一般選抜(前期)	114	161	153	138	122
	一般選抜(後期)	40	242	60	60	45
	学校推薦型Ⅰ(A)	25	45	45	25	25
	学校推薦型Ⅰ(B)	25	46	46	25	25
	総合型選抜 (共通テスト課す)	11	9	9	6	6
	私費外国人	5	9	6	3	3
	小計	220	512	319	257	226

学 類	入試種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
共生システム理工学類	一般選抜(前期)	70	276	258	93	86
	一般選抜(後期)	42	667	186	45	37
	学校推薦型Ⅰ	23	35	35	23	23
	総合型選抜	25	33	33	24	24
	私費外国人	若干名	13	11	5	3
	小計	160	1,024	523	190	173
食農学類	一般選抜(前期)	60	111	108	70	63
	一般選抜(後期)	20	219	52	26	23
	総合型選抜	20	39	39	23	23
	私費外国人	若干名	2	2	2	0
	小計	100	371	201	121	109
	合計	945	3,607	2,202	1,104	1,008

※政府派遣留学生4名は含まない

志願者・入学者の都道府県別分布

＊都道府県名 入学者数/志願者数 () 前年度



学費・奨学金

入学料	282,000 円 夜間主 / 141,000 円	授業料	年額 535,800 円 夜間主 / 年額 267,900 円
-----	------------------------------	-----	------------------------------------

納入方法	入学手続前に所定払込用紙により金融機関で振り込み、入学手続時に納入書(大学提出用)を提出。	納入方法	入学後、前期分と後期分に分けて、年額の2分の1相当額をそれぞれ4月、10月に学生本人指定口座から引き落とし。
------	---	------	--

※入学時及び在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな入学料・授業料が適用されます。
※入学時には、入学料のほかに別途修学関係経費、各種会費が必要になります(学類によって金額は異なります)。

学費免除について

学類生	大学院生
国の修学支援新制度により、日本学生支援機構の給付奨学生となった方(非課税世帯またはそれに準ずる世帯の方)は支援区分により入学料及び授業料が免除となります。(第Ⅰ区分:全額免除、第Ⅱ区分:2/3免除、第Ⅲ区分:1/3免除)※日本学生支援機構給付奨学金は、入学の前年度に高校に申込を行ってください。または入学後、すぐに学生・留学生課へ申込を行ってください。また、修学支援新制度の対象とならない方については、入学料及び授業料の徴収を一定の期日まで猶予する制度があります。	経済的理由により入学料及び授業料の納入が困難な方に対し、家計基準に応じ学費を減免します。また学類生同様、学費の徴収を猶予する制度があります。博士後期課程の学業優秀者に対しては、選考のうえ授業料を免除する制度があります。

奨学制度

〈日本学生支援機構奨学〉

給付奨学金	高等教育の修学支援新制度により、日本学生支援機構が、対象となる学生へ奨学金を給付します。支援区分と通学区分により給付月額が決まります。
貸与奨学金	無利子の第一種奨学金と利息のつく第二種奨学金があります。第一種奨学金の貸与条件である学業成績と家計の困窮度は、第二種奨学金よりも厳しく設定されています。

〔日本学生支援機構給付奨学金〕の場合

奨学金の種類	金額/月(国立大学の場合)
自宅外通学	第Ⅰ区分 66,700 円
	第Ⅱ区分 44,500 円
	第Ⅲ区分 22,300 円
自宅通学	第Ⅰ区分 29,200 円
	第Ⅱ区分 19,500 円
	第Ⅲ区分 9,800 円

〈しのぶ育英奨学金 福島大学独自の給付型奨学金〉

● 本学に1年以上在学の学類生が対象です。 ● 4~5名程度を選抜し、毎月1人5万円 で1年間(総額60万円) 支給します。 ● 返還する必要はありません。

〈その他の奨学金〉

都道府県市町村、各種団体の制度もあります。

入学者選抜要項・各募集要項等の請求方法

入学者選抜要項発表は 7 月中旬 予定 です。各種詳細はウェブサイトをご確認ください▶
<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/seikyu.html>



受験生応援サイトにてWebオープンキャンパス開催

Webオープンキャンパス

各種詳細はウェブサイトをご確認ください▶



<https://www.fukushima-u.ac.jp/examination/>

- 動画で見る福島大学
- 福島大学のイトコロ
- 福大生から高校生へのメッセージ
- サークル活動紹介
- フォトギャラリー
- 360° パノラマビュー
- 学生生活(年間スケジュール)
- オンライン個別相談会(随時受付中) など